

Epson ePOS SDK for iOS

ユーザーズマニュアル

機能

使い方

API リファレンス

機器仕様

サンプルプログラム

活用ガイド

付録

ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- ・本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- ・本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON、EXCEED YOUR VISION、ESC/POS は、セイコーホームテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc.

The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.

iTunes® and Xcode® are trademarks of Apple Inc. registered in the US and other countries.

IOS® は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーホームテクノロジーズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

ESC/POS® コマンドシステム

エプソンは、独自の POS プリンターコマンドシステム、ESC/POS により、業界のイニシアチブをとってきました。ESC/POS は特許取得済みのものを含む数多くの独自のコマンドを持ち、高い拡張性で多才な POS システムの構築を実現します。ほとんどのエプソン POS プリンターとディスプレイに互換性を持つ他、この独自の制御システムにはフレキシビリティーもあるため、将来アップグレードが行いやすくなります。その機能と利便性は世界中で評価されています。

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。



ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

Epson ePOS SDK for iOS を利用したアプリケーション開発に必要な情報を提供します。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

第 1 章	機能
第 2 章	使い方
第 3 章	API リファレンス
第 4 章	機器仕様
第 5 章	サンプルプログラム
第 6 章	活用ガイド
付録	オープンソースソフトウェアライセンス

もくじ

■ 安全のために	3
記号の意味	3
■ 使用制限	3
■ 本書について	3
本書の目的	3
本書の構成	3
■ もくじ	4

機能 9

■ Epson ePOS SDK for iOS でのアプリケーション開発	9
Bluetooth® モデル	9
ネットワークモデル	10
TM インテリジェントプリンターモデル	10
■ Epson ePOS SDK for iOS の開発環境	11
■ アプリケーションソフトの動作環境	11
対象プリンター	11
サポート周辺機器	12
■ ダウンロードコンテンツ	13
■ Web コンテンツ	13
■ 制限事項	13

使い方 14

■ プリンターとの接続	14
■ Epson ePOS SDK for iOS の組み込み方法	14
■ プログラミングガイド	16
プログラミングフロー	16
設定用の命令バッファーの有効範囲	22
ステータス	22

API リファレンス 23

■ ePOS SDK API 一覧	23
Epos2Printer クラス	23
Epos2LineDisplay クラス	25
Epos2Keyboard クラス	26
Epos2BarcodeScanner クラス	27
Epos2SimpleSerial クラス	27
Epos2CommBox クラス	27
クラス共通 API	28
Epos2Discovery クラス	28

Epos2Log クラス	28
Epos2BluetoothConnection クラス	28
EasySelect クラス	28
EasySelectInfo クラス	29
■ Epos2Printer クラス	30
initWithPrinterSeries.....	30
connect.....	32
disconnect.....	34
startMonitor	35
stopMonitor	36
getStatus.....	37
sendData.....	39
beginTransaction	40
endTransaction	41
requestPrintJobStatus	42
clearCommandBuffer	43
addTextAlign.....	44
addLineSpace.....	45
addTextRotate	46
addText.....	47
addTextLang	48
addTextFont	49
addTextSmooth	50
addTextSize	51
addTextStyle.....	52
addHPosition	54
addFeedUnit.....	55
addFeedLine	56
addImage	57
addLogo	60
addBarcode	61
addSymbol	66
addHLine	71
addVLineBegin	73
addVLineEnd	75
addPageBegin	76
addPageEnd	77
addPageArea	78
addPageDirection	80
addPagePosition	81
addPageLine	83
addPageRectangle	85
addCut	87
addPulse	88
addSound	90
addFeedPosition	92
addLayout	93
addCommand	97
forceRecover	98
forcePulse	99
forceStopSound	101
forceCommand	102
forceReset	103
setStatusChangeEventDelegate	104
setReceiveEventDelegate	106
interval	108

■ Epos2LineDisplay クラス	109
initWithDisplayModel	109
connect	110
disconnect	112
getStatus	113
sendData	114
clearCommandBuffer	115
addInitialize	116
addCreateWindow	117
addDestroyWindow	119
addSetCurrentWindow	120
addClearCurrentWindow	121
addSetCursorPosition	122
addMoveCursorPosition	123
addSetCursorType	124
addText	125
addReverseText	127
addMarqueeText	129
addSetBlink	131
addSetBrightness	132
addShowClock	133
addCommand	134
setReceiveEventDelegate	135
■ Epos2Keyboard クラス	137
init	137
connect	138
disconnect	140
getStatus	141
setPrefix	142
getPrefix	143
setKeyPressEventDelegate	144
setReadStringEventDelegate	145
■ Epos2BarcodeScanner クラス	146
init	146
connect	147
disconnect	149
getStatus	150
setScanEventDelegate	151
■ Epos2SimpleSerial クラス	152
init	152
connect	153
disconnect	155
getStatus	156
sendCommand	157
setReceiveEventDelegate	158
■ Epos2CommBox クラス	159
init	159
connect	160
disconnect	162
getStatus	163
getCommHistory	164
sendMessage	166
setReceiveEventDelegate	168
■ クラス共通 API	169

getAdmin.....	169
getLocation.....	170
setConnectionEventDelegate	171
■ Epos2Discovery クラス.....	173
start	173
stop	176
■ Epos2Log クラス.....	177
setLogSettings.....	177
SdkVersion	179
■ Epos2BluetoothConnection クラス.....	180
connectDevice	180
disconnectDevice	181
■ EasySelect クラス	182
parseNFC	182
parseQR.....	184
createQR.....	185
parseBeacon.....	186
■ EasySelectInfo クラス.....	187
deviceType	187
printerName	187
macAddress.....	187
target.....	187
■ Status 一覧	188
Error Status と対処方法	188
Callback Code と対処方法	190
Printer Status と対処方法	192
■ Key Code 一覧	194

機器仕様.....	196
■ クラス別対応プリンター	196
■ サポート API 一覧	198
Printer クラス	198
■ プリンター別サポート情報	204
TM-m10.....	204
TM-m30.....	207
TM-P20.....	210
TM-P60II (Peeler).....	213
TM-P80.....	216
TM-T20.....	219
TM-T20II.....	221
TM-T70.....	223
TM-T70II.....	225
TM-T88V.....	227
TM-T88VI.....	229
TM-T90II.....	232
TM-T70-i.....	234
TM-T70II-DT	236
TM-T88V-i.....	238

TM-T88V-DT	240
TM-T88IV	242
TM-T90	244
TM-T90KP	246
TM-L90	248
■ ファームウェアバージョンによる使用制限	250

サンプルプログラム 251

■ 機能	251
ePOS2Printer	251
ePOS2Discovery	251
ePOS2LineDisplay	252
ePOS2Keyboard	252
ePOS2BarcodeScanner	252
ePOS2SimpleSerial	252
ePOS2CommBox	253
ePOS2EasySelection	253
■ 使用環境	254
■ インストール手順	254

活用ガイド 255

■ プリンターを検索するには	255
■ 常時監視するには	256
■ 一台のプリンターを複数のモバイル端末から使用するには	258
■ トランザクションを指定するには	259
■ ネットワークを自動で再接続するには	260
■ アプリケーション間でデータを送受信するには	261
■迂回印刷するには	263
■ QR コードを使ってプリンターを選択するには	265
■ NFC タグを使ってプリンターを選択するには	267

付録 269

■ オープンソースソフトウェアライセンス	269
サンプルプログラム	269
ライブラリー	269

機能

Epson ePOS SDK for iOS は、iOS アプリケーションソフト開発用の SDK です。Epson ePOS SDK for iOS を使用すると、シンプルなコードでプリンターを制御できます。また、TM インテリジェントプリンターでは、本体に接続したカスタマーディスプレイやバーコードスキャナーなどの周辺機器、ネットワーク接続した TM プリンターを制御できます。さらに、スプーラー機能やコミュニケーションボックスなどの TM インテリジェントプリンター独自機能を使用したアプリケーションソフトも開発できます。

本書ではプリンターを以下のように総称します。

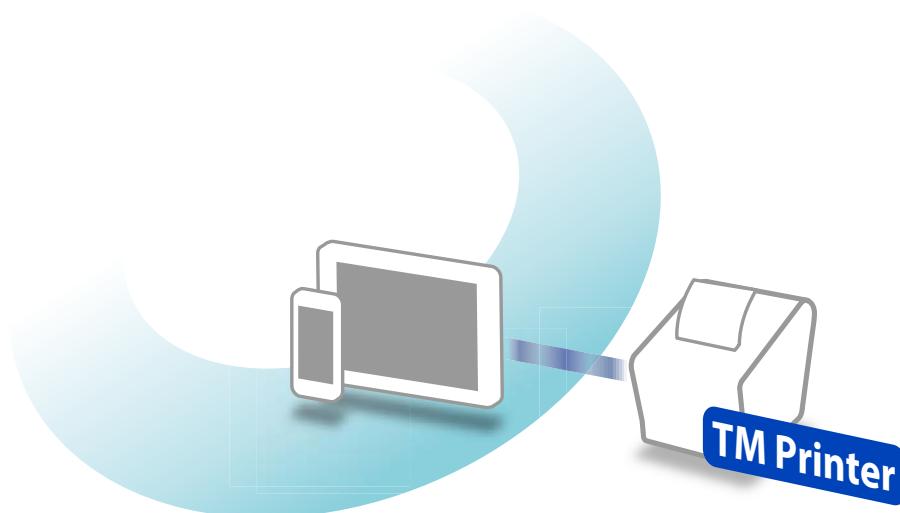
総称	説明
TM プリンター	レシートプリンターのスタンダードモデルとモバイルモデルプリンター
TM インテリジェントプリンター	TM-DT シリーズと TM-i シリーズプリンター
ネットワークプリンター	TM プリンターで、TM インテリジェントプリンター経由でのみ制御できるプリンター

Epson ePOS SDK for iOS でのアプリケーション開発

Epson ePOS SDK for iOS で開発できるアプリケーションソフトのシステム構成は、以下の通りです。
システムの構築方法は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

Bluetooth® モデル

スマートデバイスと TM プリンターを *Bluetooth* 通信で接続するシステムです。

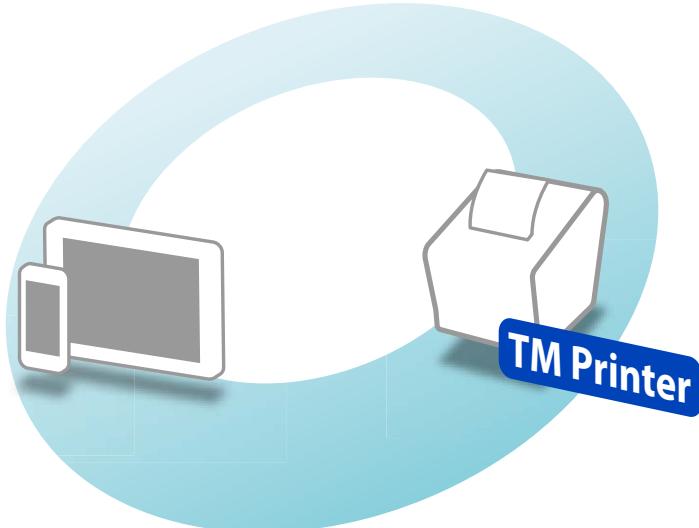


Bluetooth 通信を使用するアプリケーションソフトを App Store に登録する場合、エプソンから Apple 社に事前申請が必要になります。App Store に登録するアプリケーションソフトごとに、以下の URL から申請してください。

<https://c4b.epson-biz.com/ais/J/>

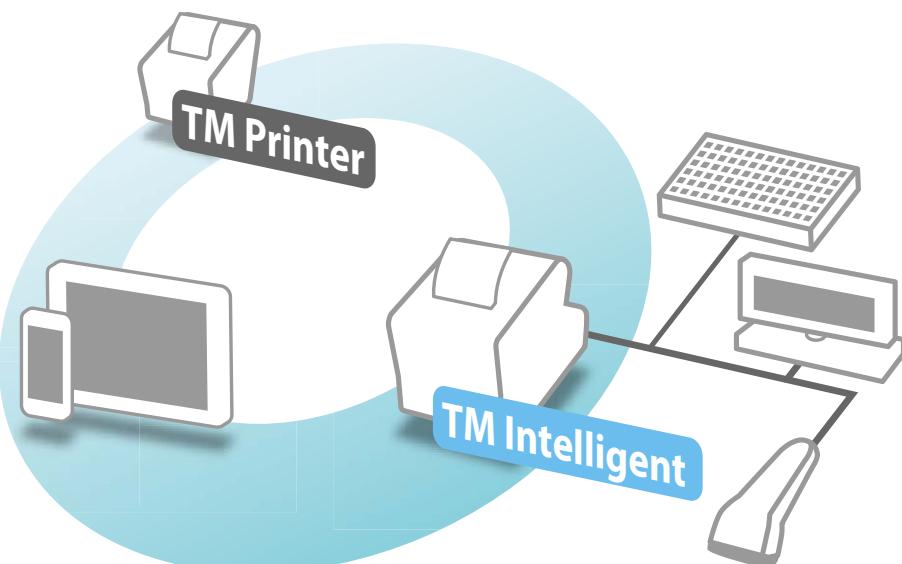
ネットワークモデル

スマートデバイスと TM プリンターをネットワーク（有線 LAN、無線 LAN）で接続するシステムです。複数の TM プリンターを制御することができます。



TM インテリジェントプリンターモデル

スマートデバイスと TM インテリジェントプリンターをネットワーク（有線 LAN、無線 LAN）で接続するシステムです。TM インテリジェントプリンターに接続された周辺機器や複数の TM プリンターを制御することができます。



TM インテリジェントプリンターで制御できる周辺機器や TM プリンターは、TM-i フームウェア、TM-DT ソフトウェアのバージョンにより異なります。使用する周辺機器や TM プリンターは、EPSON TMNet WebConfig を用いて TM インテリジェントプリンターに登録する必要があります。

詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

Epson ePOS SDK for iOS の開発環境

Epson ePOS SDK for iOS を使用したアプリケーションソフトの開発は、最新版の Xcode を使用してください。



Epson ePOS SDK for iOS は、Bitcode に対応しています。

アプリケーションソフトの動作環境

Epson ePOS SDK for iOS を使用して開発するアプリケーションソフトの動作環境は、以下の通りです。

対象となるスマートデバイスの最新情報は、Epson ePOS SDK for iOS パッケージの README.jp.txt を参照してください。



NFC 機能は、iOS11 以降の CoreNFC による NFC NDEF タグの読み込みが可能な端末で対応しています。

対象プリンター

アプリケーションソフトから制御できるプリンターは、以下の通りです。

TM プリンター

使用できるインターフェイスは TM プリンターによって異なります。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参考してください。

- TM-m10
- TM-m30
- TM-P20
- TM-P60II
- TM-P80
- TM-T20
- TM-T20II
- TM-T70
- TM-T70II
- TM-T88V
- TM-T88VI
- TM-T90II

TM インテリジェントプリンター

- TM-T70-i (TM-i ファームウェア Ver.4.0 以降)
- TM-T70II-DT
- TM-T88V-i (TM-i ファームウェア Ver.4.0 以降)
- TM-T88V-DT

サポート周辺機器

TM インテリジェントプリンター経由で以下の周辺機器制御をサポートしています。



使用できる周辺機器は、TM インテリジェントプリンターによって異なります。
各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

□ プリンター

以下の TM プリンターの Wi-Fi モデル

- TM-P20
- TM-P60II
- TM-P80

UB-E02/UB-E03/UB-E04/UB-R03/UB-R04 のいずれかを搭載した、以下の TM プリンター



プリンターに搭載されているインターフェイスは、ステータスシート印刷から確認できます。
各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

- TM-T20II
- TM-T70
- TM-T70II
- TM-T88IV
- TM-T88V
- TM-T90
- TM-T90II
- TM-T90KP
- TM-L90

以下の TM インテリジェントプリンター

- TM-T70-i (TM-i フームウェア Ver.4.0 以降)
- TM-T70II-DT (TM-DT ソフトウェア Ver.4.0 以降)
- TM-T88V-i (TM-i フームウェア Ver.4.0 以降)
- TM-T88V-DT (TM-DT ソフトウェア Ver.4.0 以降)

□ カスタマーディスプレイ

- DM-D30
- DM-D110

□ 標準 HID デバイス

- キーボードデバイス
- バーコードスキャナー

□ シリアル通信デバイス

ダウンロードコンテンツ

Epson ePOS SDK for iOS パッケージには、以下のファイルが含まれています。

ファイル名	説明
ePOS2.h	クラス定義、エラー値 / デバイスタイプの定数定義を含むヘッダーファイルです。
libepos2.a	機能実行用ライブラリーです。 (armv6, armv7, armv7s, arm64, i386, x86_64 に対応)
ePOSEasySelect.h	簡単にプリンターを選択するためのヘッダーファイルです。
libposeeasyselect.a	簡単にプリンターを選択する機能用のライブラリーです。
ePOS2_Sample_iOS.zip	サンプルプログラムファイルです。
README.jp.txt	日本語版 README ファイルです。
README.en.txt	英語版 README ファイルです。
EULA.jp.txt	日本語版 SOFTWARE LICENSE AGREEMENT を記載しています。
EULA.en.txt	英語版 SOFTWARE LICENSE AGREEMENT を記載しています。
ePOS_SDK_iOS_um_ja_revx.pdf	日本語版ユーザーズマニュアルです。
ePOS_SDK_iOS_um_en_revx.pdf	英語版ユーザーズマニュアルです。
ePOS_SDK_iOS_Migration_Guide_ja_revx.pdf	日本語版マイグレーションガイドです。ePOS-Print SDK、ePOS-Device SDK からの移行方法を説明しています。
ePOS_SDK_iOS_Migration_Guide_en_revx.pdf	英語版マイグレーションガイドです。

Web コンテンツ

下記サイトにて、Web リファレンスを公開しています。

<https://reference.epson-biz.com/pos/reference/>

制限事項

- 2次元バーコードリーダーを使用する場合、日本語などのマルチバイト文字は正しく取得できません。
- 2次元バーコードのデータに ASCII 制御コード (0x00 ~ 0x1F) が含まれる場合、制御コードは取得できません。
- 同じアプリケーション内で同時にオープンできるデバイスポート数は 16 個です。
- *Bluetooth* 接続でプリンターとの通信中に端末がスリープ状態になると、通信が切断されます。
- *Bluetooth* 接続の場合、製品が印刷できないときに印刷データを送ると、iOS の仕様によっては、その印刷データが削除される場合があります。製品が以下のような状態では印刷できません。
 - ロール紙カバーが開いている
 - 用紙なし
 - 印刷済みラベル剥離待ち

使い方

Epson ePOS SDK for iOS の組み込みと、Epson ePOS SDK for iOS を使用した基本的なプログラミング方法を説明します。

プリンターとの接続

構築するシステム構成に合わせて、スマートデバイスとプリンターを接続します。

詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

Epson ePOS SDK for iOS の組み込み方法



Xcode は以下の URL から入手してください。
<https://developer.apple.com/>

- 1** Xcode で新しいプロジェクトを作成します。
- 2** 提供された以下の Objective-C ヘッダーを、Xcode の [Project Navigator] の対象プロジェクトの任意の階層に配置します。
 - ePOS2.h
 - ePOSEasySelect.h
- 3** 提供された以下のスタティックライブラリーを、Xcode の [Project Navigator] の対象プロジェクトの任意の階層にドラッグします。
 - libepos2.a
 - libposeeasyselect.a
- 4** [Project Navigator] から、ルートにある Project ファイルを選択します。
- 5** [Targets] の [Build Phase] を選択します。
- 6** [Link Binary With Libraries] を展開し、[+] をクリックします。
- 7** “libxml2.2.*” “ExternalAccessory.framework” を選択し、[Add] をクリックします。



開発するアプリケーションの機能に合わせて、以下の .framework もインポートしてください。

- iBeacon 機能 : CoreLocation.framework
- NFC 機能 : CoreNFC.framework

8 使用したいアプリケーションソフトの *.m ソースファイルで、Objective-C ヘッダーのインポート定義を記載します。下記を参照してください。

```
#import "ePOS2.h"
#import "ePOSEeasySelect.h"
```

9 ExternalAccessory.framework を以下の手順で組み込みます。

protocol name を以下の手順で設定します。

1. Project Navigator から xxxx.plist を選択（ファイル名は、Project 名 -info になる）します。
2. ポップアップメニューより Add Row を選択します。
3. Supported external accessory protocols を選択します。
4. 手順 3 で追加した項目を展開します。
5. Item 0 の Value として com.epson.escpos と入力します。

Key	Type	Value
Localization native development region	String	en
Bundle display name	String	\${PRODUCT_NAME}
Executable file	String	\${EXECUTABLE_NAME}
Bundle identifier	String	test.\${PRODUCT_NAME}Identifier
InfoDictionary version	String	6.0
Bundle name	String	\${PRODUCT_NAME}
Bundle OS Type code	String	APPL
Bundle versions string, short	String	1.0
Bundle creator OS Type code	String	????
Bundle version	String	1.0
Application requires iPhone environment	Boolean	YES
► Required device capabilities	Array	(1 item)
► Supported interface orientations	Array	(3 items)
▼ Supported external accessory protocols	Array	(1 item)
Item 0	String	com.epson.escpos

プログラミングガイド

Epson ePOS SDK for iOS を使用した基本的なプログラミング方法を説明します。

プログラミングフロー

開発するアプリケーションソフトで制御するプリンターや周辺機器別に、プログラミングフローを説明します。

- プリンターを制御する
- カスタマーディスプレイを制御する
- キーボード、バーコードスキャナーを制御する

プリンターを制御する

TM プリンターや TM インテリジェントプリンターの本体プリンター、TM インテリジェントプリンターとネットワークで繋がった TM プリンターを制御し、レシート印刷するプログラミング方法を説明します。

1. プリンターの選択（クラスの初期化）



2. 印刷データの作成（データのバッファリング）



3. 印刷データの送信（デバイスと接続 / 通信 / 印刷 / 切断）

プリンターの選択(クラスの初期化)

Epos2Printer クラスを初期化し、制御するプリンターを選択します。

```
Epos2Printer *printer = nil;
printer = [[Epos2Printer alloc] initWithPrinterSeries:EPOS2_TM_T88
lang:EPOS2_MODEL_ANK];
if (printer == nil) {
    // エラーメッセージ表示
}
```

応答ドキュメント受信イベントのコールバックメソッドを登録します。

```
[printer setReceiveEventDelegate:self];
```

印刷データの作成(データのバッファリング)

Epos2Printer クラスの addXXX 系の API を使用して、印刷データを作成します。

```
int result = EPOS2_SUCCESS;
result = [printer addTextAlign:EPOS2_ALIGN_CENTER];
result = [printer addText:@"Hello World"];
if (result != EPOS2_SUCCESS) {
    // エラーメッセージ表示
}
```

印刷データの送信(デバイスと接続 / 通信 / 印刷 / 切断)

作成した印刷データを送るプリンターと接続します。

```
int result = EPOS2_SUCCESS;
result = [printer connect:@"TCP:192.168.192.168", timeout:EPOS2_PARAM_DEFAULT];
result = [printer beginTransaction];
if (result != EPOS2_SUCCESS) {
    // エラーメッセージ表示
}
```

印刷処理を行い、印刷結果を取得します。

コールバックメソッド内で、コマンド送信などの API を実行しないでください。

```
Epos2PrinterStatusInfo *status = nil;
status = [printer getStatus];
if (status.getConnection && status.getOnline) {
    result = [printer sendData:EPOS2_PARAM_DEFAULT];
} else{
    // エラーメッセージ表示
    // 切断処理
}

- (void)onPtrReceive:(Epos2Printer *)printerObj code:(int)code
status:(Epos2PrinterStatusInfo *)status printJobId:(NSString *)printJobId
{
if (code == EPOS2_CODE_SUCCESS) {
    // 成功メッセージ表示
}
else {
    // エラーメッセージ表示
}
// 切断処理
}
```

プリンターと切断します。

```
int result = EPOS2_SUCCESS;
result = [printer endTransaction];
result = [printer disconnect];
```

命令バッファーをクリアし、プリンターの制御を終了します。

```
[printer clearCommandBuffer];
[printer setReceiveEventDelegate:nil];
printer = nil;
```

カスタマーディスプレイを制御する

カスタマーディスプレイを制御し、ディスプレイにテキストを表示するプログラミング方法を説明します。

1. デバイスの選択（クラスの初期化）



2. 表示データの作成（データのバッファリング）



3. 表示データの送信（デバイスと接続 / 通信 / 表示 / 切断）

デバイスの選択(クラスの初期化)

Epos2LineDisplay クラスを初期化し、カスタマーディスプレイと接続します。

```
Epos2Display *display = nil;
display = [[Epos2Display alloc] initWithDisplayModel:EPOS2_DM_D30]
if (display == nil) {
    // エラーメッセージ表示
}
```

応答ドキュメント受信イベントのコールバックメソッドを登録します。

```
[display setReceiveEventDelegate:self];
```

表示データの作成(データのバッファリング)

Epos2LineDisplay クラスの addXXX 系の API を使用して、表示データを作成します。

以下の例では、“Hello World” と表示するデータを作成しています。

```
int result = EPOS2_SUCCESS;
result = [display addText:@"Hello World"];
if (result != EPOS2_SUCCESS) {
    // エラーメッセージ表示
}
```

表示データの送信(デバイスと接続 / 通信 / 表示 / 切断)

作成した表示データを送るカスタマーディスプレイと接続します。

```
int result = EPOS2_SUCCESS;
result = [display connect:@":TCP:192.168.192.168", timeout:EPOS2_PARAM_DEFAULT];
if (result != EPOS2_SUCCESS) {
    // エラーメッセージ表示
}
```

ディスプレイ表示処理を行い、表示結果を取得します。

```
Epos2DisplayStatusInfo *status = nil;
status = [display getStatus];
if (status.connection && status.online) {
    result = [display sendData];
} else{
    // エラーメッセージ表示
    // 切断処理
}

- (void) onDispReceive:(Epos2LineDisplay *)displayObj code:(int)code
{
if (code == EPOS2_CODE_SUCCESS) {
    // 成功メッセージ表示
}
else {
    // エラーメッセージ表示
}
    // 切断処理
}
```

カスタマーディスプレイと切断します。

```
int result = EPOS2_SUCCESS;
result = [display disconnect];
if (result != EPOS2_CODE_SUCCESS) {
    // エラーメッセージ表示
}
```

命令バッファーをクリアし、カスタマーディスプレイの制御を終了します。

```
[display clearCommandBuffer];
[display setReceiveEventDelegate:nil];
display = nil;
```

キーボード、バーコードスキャナーを制御する

キーボードやバーコードスキャナーを制御し、入力データを受信するプログラミング方法を説明します。

以下の説明では、キーボードを制御する場合のプログラミングフローを説明します。

1. デバイスの接続



2. データ受信



3. デバイスとの切断

デバイスの接続

Epos2Keyboard クラスを初期化してキーボードと接続し、入力データを受信するコールバックメソッドを登録します。

```
// 初期化処理
EPOS2Keyboard keyboard_ = [[EPOS2Keyboard alloc] init];

if (keyboard_ == nil) {
    // エラーメッセージ表示
}

[keyboard_ setReadStringEventDelegate:self];

// 接続処理
int result = EPOS2_SUCCESS;

result = [keyboard_ connect:@":TCP:192.168.192.168[local_keyboard]"
timeout:EPOS2_PARAM_DEFAULT];
if (result != EPOS2_SUCCESS) {
    // エラーメッセージ表示
    // 切断処理
}
```

データ受信

キー押下イベントのコールバックメソッドを作成します。

```
// 受信処理
-(void)onKbdKeyPress:(EPOS2Keyboard *)keyboardObj keyCode:(int)keyCode ascii:(NSString *)
*ascii
{
    switch (keyCode) {
        case EPOS2_VK_RETURN:
            // Return キーが押された時の処理
            break;

        default:
            // 各キーが押された時の処理
            break;
    }
}
```

デバイスとの切断

通信を切断し、キーボードからの入力データ受信を終了します。

```
// 切断処理
int result = [keyboard_ disconnect];

if (result != EPOS2_SUCCESS) {
    // エラーメッセージ
}

// 終了処理
[keyboard_ setReadStringEventDelegate:nil];
keyboard_ = nil;
```

設定用の命令バッファーの有効範囲

設定用に使用される Epos2Printer クラスの addXXX の有効範囲は、addXXX 設定後、sendData が実行されるまでです。設定した値は、sendData の実行ごとに初期化されます。以下を参考にしてください。

```
[printer addText:@"Hello World!\n"];
[printer addTextFont:EPOS2_FONT_B];
[printer addText:@"Hello World!\n"];
[printer addText:@"Hello World!\n"];
[printer sendData:EPOS2_PARAM_DEFAULT];
[printer clearCommandBuffer];
[printer addText:@"Hello World!\n"];
[printer sendData:EPOS2_PARAM_DEFAULT];
[printer clearCommandBuffer];
```

赤字：フォント A

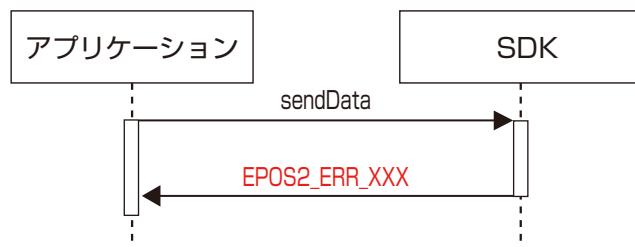
緑字：フォント B

ステータス

Epson ePOS SDK for iOS には、以下のステータスが定義されています。

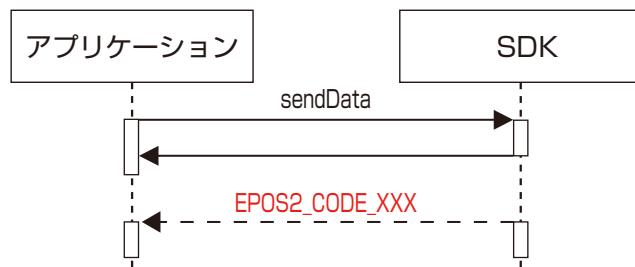
□ エラーステータス

各クラスのデバイスに対するデータ送信の結果です。API の戻り値として、すぐに結果が通知されます。詳細は、[Error Status と対処方法](#)を参照してください。



□ コールバックコード

`sendData` 実行後のデバイスの処理結果です。印刷完了イベント (`onPtrReceive / onDispReceive`) で通知されます。詳細は、[Callback Code と対処方法](#)を参照してください。



□ プリンターステータス

印刷データ送信時のプリンターの状態です。プリンターステータスは、`sendData` の実行時に取得します。詳細は、[Printer Status と対処方法](#)を参照してください。

API リファレンス

本章では、Epson ePOS SDK for iOS で用意されている API について説明しています。

ePOS SDK API 一覧

Epson ePOS SDK for iOS には、以下のクラスが用意されています。



- プリントや周辺機器によって、使用可能な API やパラメーターが異なります。
[クラス別対応プリンター](#)を参照してください。
- Epos2Printer クラスの持つ API とプリンターごとの対応一覧は、[サポート API 一覧](#)を参照してください。

- [Epos2Printer クラス](#)
- [Epos2LineDisplay クラス](#)
- [Epos2Keyboard クラス](#)
- [Epos2BarcodeScanner クラス](#)
- [Epos2SimpleSerial クラス](#)
- [Epos2CommBox クラス](#)
- [クラス共通 API](#)
- [Epos2Discovery クラス](#)
- [Epos2Log クラス](#)
- [Epos2BluetoothConnection クラス](#)
- [EasySelect クラス](#)
- [EasySelectInfo クラス](#)

Epos2Printer クラス

プリンターへの印刷を制御します。

印字モードには、スタンダードモードとページモードがあります。

- スタンダードモード
1 行単位で印字する印字モードです。文字サイズ、画像、バーコードなどの高さに合わせて改行量が調整されるため、印字量によって用紙の長さが変化するレシート印刷に適しています。
- ページモード
印字領域を設定して印字データ（文字 / 画像 / バーコード等）を展開し、一括印字する印字モードです。
ページモードでの処理を行う際は、[addPageBegin](#) でページモード処理を開始し、[addPageEnd](#) でページモード処理を終了してください。

API		説明	スタンダードモード	ページモード
初期化	initWithPrinterSeries	Epos2Printer クラス初期化	-	-
通信経路	connect	プリンターと接続	-	-
	disconnect	プリンターと切断	-	-

API		説明	スタンダードモード	ページモード
状態監視	startMonitor	ステータスイベントの通知を有効化	✓	✓
	stopMonitor	ステータスイベントの通知を無効化	✓	✓
状態取得	getStatus	接続プリンターの状態を取得	✓	✓
送信	sendData	プリンターにコマンドを送信	✓	✓
トランザクション	beginTransaction	トランザクションの開始	✓	✓
	endTransaction	トランザクションの終了	✓	✓
印刷ジョブ	requestPrintJobStatus	印刷結果を取得	✓	✓
バッファークリア	clearCommandBuffer	命令バッファーをクリア	✓	✓
テキスト	addTextAlign	位置揃え設定を命令バッファーに追加	✓	-
	addLineSpace	改行量設定を命令バッファーに追加	✓	✓
	addTextRotate	倒立印字設定を命令バッファーに追加	✓	-
	addText	文字印字を命令バッファーに追加	✓	✓
	addTextLang	言語設定を命令バッファーに追加	✓	✓
	addTextFont	文字フォント設定を命令バッファーに追加	✓	✓
	addTextSmooth	文字スムージング設定を命令バッファーに追加	✓	✓
	addTextSize	文字倍率設定を命令バッファーに追加	✓	✓
	addTextStyle	文字装飾設定を命令バッファーに追加	✓	✓
紙送り	addFeedUnit	ドット単位の紙送りを命令バッファーに追加	✓	✓
	addFeedLine	行単位の紙送りを命令バッファーに追加	✓	✓
グラフィック	addImage	ラスターイメージ印字を命令バッファーに追加	✓	✓
	addLogo	NV ロゴ印字を命令バッファーに追加	✓	✓
バーコード	addBarcode	バーコード印字を命令バッファーに追加	✓	✓
	addSymbol	2次元シンボル印字を命令バッファーに追加	✓	✓
罫線	addHLine	横罫線印字を命令バッファーに追加	✓	-
	addVLineBegin	縦罫線開始を命令バッファーに追加	✓	-
	addVLineEnd	縦罫線終了を命令バッファーに追加	✓	-

API		説明	スタンダードモード	ページモード
ページモード	addPageBegin	ページモード開始を命令バッファーに追加	✓	-
	addPageEnd	ページモード終了を命令バッファーに追加	-	✓
	addPageArea	ページモード印字領域設定を命令バッファーに追加	-	✓
	addPageDirection	ページモード印字方向設定を命令バッファーに追加	-	✓
	addPagePosition	ページモード印字位置設定を命令バッファーに追加	-	✓
	addPageLine	ページモード直線描画を命令バッファーに追加	-	✓
	addPageRectangle	ページモード四角形描画を命令	-	✓
カット	addCut	用紙カットを命令バッファーに追加	✓	-
ドロアー	addPulse	ドロアーキックを命令バッファーに追加	✓	-
ブザー	addSound	ブザー鳴動を命令バッファーに追加	✓	-
ラベル紙 / ブラック マーク紙	addFeedPosition	紙送りを命令バッファーに追加	✓	-
	addLayout	用紙レイアウトの設定を命令バッファーに追加	✓	-
コマンド	addCommand	コマンドを命令バッファーに追加	✓	✓

API		説明
強制送信	forceRecover	強制送信関数
	forcePulse	
	forceStopSound	
	forceCommand	
	forceReset	
結果受信	setStatusChangeEventDelegate	イベントのコールバックメソッドを登録
	setReceiveEventDelegate	
監視間隔	interval	ステータス監視間隔

Epos2LineDisplay クラス

カスタマーディスプレイへの文字表示を制御します。

API		説明
初期化	initWithDisplayModel	Epos2LineDisplay クラス初期化
通信経路	connect	カスタマーディスプレイと接続
	disconnect	カスタマーディスプレイと切断

API		説明
状態取得	getStatus	接続デバイスの状態を取得
送信	sendData	カスタマーディスプレイにコマンドを送信
バッファークリア	clearCommandBuffer	命令バッファーをクリア
リセット	addInitialze	カスタマーディスプレイを初期化
ウィンドウ	addCreateWindow	命令バッファーへ実行処理を追加
	addDestroyWindow	
	addSetCurrentWindow	
	addClearCurrentWindow	
カーソル	addSetCursorPosition	
	addMoveCursorPosition	
	addSetCursorType	
テキスト表示	addText	
	addReverseText	
	addMarqueeText	
表示促成	addSetBlink	
	addSetBrightness	
時計	addShowClock	
コマンド送信	addCommand	
結果受信	setReceiveEventDelegate	イベントのコールバックメソッドを登録

Epos2Keyboard クラス

キーボードによる文字入力を制御します。

API		説明
初期化	init	Epos2Keyboard クラス初期化
通信経路	connect	キーボードと接続
	disconnect	キーボードと切断
状態取得	getStatus	接続デバイスの状態を取得
文字列設定	setPrefix	連続した文字列として扱う条件の設定
文字列設定取得	getPrefix	設定している接頭辞の取得
キー検出	setKeyPressEventDelegate	イベントのコールバックメソッドを登録
文字列検出	setReadStringEventDelegate	

Epos2BarcodeScanner クラス

バーコードスキャナーによるバーコード読み取りを制御します。

API		説明
初期化	init	Epos2BarcodeScanner クラス初期化
通信経路	connect	バーコードスキャナーと接続
	disconnect	バーコードスキャナーと切断
状態取得	getStatus	接続デバイスの状態を取得
入力データ受信	setScanEventDelegate	イベントのコールバックメソッドを登録

Epos2SimpleSerial クラス

プリンターとデバイスのシリアル通信を制御します。

API		説明
初期化	init	Epos2SimpleSerial クラス初期化
通信経路	connect	シリアルと接続
	disconnect	シリアルと切断
状態取得	getStatus	接続デバイスの状態を取得
コマンド送信	sendCommand	任意コマンドを送信
入力データ受信	setReceiveEventDelegate	イベントのコールバックメソッドを登録

Epos2CommBox クラス

コミュニケーションボックスを使用したデータ送受信を制御します。

API		説明
初期化	init	Epos2CommBox クラス初期化
通信経路	connect	コミュニケーションボックスと接続
	disconnect	コミュニケーションボックスと切断
状態取得	getStatus	接続デバイスの状態を取得
送信履歴	getCommHistory	メッセージ送信履歴を取得
送信	sendMessage	メッセージをコミュニケーションボックスに送信
受信	setReceiveEventDelegate	イベントのコールバックメソッドを登録

クラス共通 API

各クラス共通で使用できる API クラスです。

API		説明
管理情報	getAdmin	管理者情報の取得
	getLocation	設置場所情報の取得
再接続	setConnectionEventDelegate	イベントのコールバックメソッドを登録

Epos2Discovery クラス

デバイス検索機能を制御します。

API		説明
開始	start	デバイス検索を開始
終了	stop	デバイス検索を終了

Epos2Log クラス

ログ出力機能を制御します。

API		説明
ログ	setLogSettings	ログ出力機能の設定
バージョン取得	SdkVersion	Epson ePOS SDK のバージョン取得

Epos2BluetoothConnection クラス

Bluetooth® デバイスとのペアリング接続を制御します。

API		説明
Bluetooth® 通信経路	connectDevice	Bluetooth® 接続を確立
	disconnectDevice	Bluetooth® 接続を切断

EasySelect クラス

EasySelect クラスと EasySelectInfo クラスは、NFC タグや QR コード、iBeacon データを使ってプリンターを選択するための API とメンバー変数です。

EasySelect クラスは、NFC タグや QR コード、iBeacon データを解析します。

API		説明
NFC タグ解析	parseNFC	NFC タグデータの解析
QR コード解析	parseQR	QR コードデータの解析

API		説明
QR コード作成	createQR	parseQR で解析可能な QR コードデータの作成
プリンター情報解析	parseBeacon	iBeacon データの解析

EasySelectInfo クラス

`parseNFC` や `parseQR`、`parseBeacon` を使って解析されたデータを格納するクラスです。このメンバー変数の内容に基づいて、`connect` API を呼び出すことでプリンターと接続できます。

メンバー変数		説明
プリンター種類	deviceType	プリンターの種類を格納
プリンターナ	printerName	プリンターナを格納
MAC アドレス / BD アドレス	macAddress	MAC アドレスまたは BD アドレスを格納
ターゲット情報	target	ターゲット情報を格納

Epos2Printer クラス

initWithPrinterSeries

Epos2Printer クラスを初期化します。

構文

```
- (id) initWithPrinterSeries:(int)printerSeries lang:(int)lang;
```

パラメーター

printerSeries

対象のプリンターの機種名を指定します。

設定値	説明
EPOS2_TM_M10	TM-m10
EPOS2_TM_M30	TM-m30
EPOS2_TM_P20	TM-P20
EPOS2_TM_P60II	TM-P60II (Peeler)
EPOS2_TM_P80	TM-P80
EPOS2_TM_T20	TM-T20, TM-T20II
EPOS2_TM_T70	TM-T70, TM-T70-i, TM-T70II, TM-T70II-DT
EPOS2_TM_T88	TM-T88IV, TM-T88V, TM-T88VI, TM-T88V-i, TM-T88V-DT
EPOS2_TM_T90	TM-T90, TM-T90II
EPOS2_TM_T90KP	TM-T90KP
EPOS2_TM_L90	TM-L90

lang

プリンターの言語仕様を指定します。

設定値	説明
EPOS2_MODEL_JAPANESE	日本語モデル

戻り値

処理に成功した場合、初期化済の Epos2Printer クラスインスタンスが返ります。

処理に失敗した場合、nil が返ります。処理に失敗する原因には、以下の要因があります。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが指定された。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_MEMORY	メモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_UNSUPPORTED	サポートしていない機種名または言語仕様が指定された。

connect

プリンターとの通信を開始します。

構文

```
- (int) connect:(NSString *)target timeout:(long)timeout;
```

パラメーター

target

接続先を文字列で指定します。

以下の構文の文字列で指定します。

TM プリンターと接続する場合

<接続形式>:<識別子>

TM インテリジェントプリンターと接続する場合

TM インテリジェントプリンター経由でネットワークプリンターと接続する場合

<接続形式>:<識別子>[<デバイス ID>]

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバイス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス プリンターホスト名 	"TCP:192.168.192.168" "TCP:192.168.192.168[local_printer]"
Bluetooth® デバイス	"BT"	BD アドレス	"BT:00:22:15:7D:70:9C"

timeout

プリンターと通信確立するための最大待ち時間 (msec 単位) を指定します。

設定値	説明
1000 ~ 300000 の整数	エラーを返すまでの最大待ち時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (15000) を指定

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	オープンに失敗した。
EPOS2_ERR_TIMEOUT	指定時間内にデバイスと通信できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	既に通信されている状態で、再度通信開始しようとした。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_NOT_FOUND	プリンターが見つからない。
EPOS2_ERR_IN_USE	デバイスが使用中。
EPOS2_ERR_TYPE_INVALID	デバイスの種類が違う。

補足説明

- プリンターとの通信が不要になった場合、必ず [disconnect](#) を呼び出し、プリンターとの通信を終了してください。
- マルチスレッドで複数のプリンターと接続して運用する場合、本 API の処理が終わるまで他のプリンターに本 API や [disconnect](#) を実行できません。本 API の終了を待ってから実行してください。
- プリンターステータスは、Epos2Printer クラスで登録したイベントに通知されます。
詳細は、2 章「プログラミングフロー」を参照してください。
6 章「一台のプリンターを複数のモバイル端末から使用するには」を参照してください。
- デバイス ID は、プリンターや周辺機器を TM インテリジェントプリンターへ登録する際に設定する任意の文字列です。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
- プリンターの IP アドレスを DHCP に設定している場合、識別子に MAC アドレスまたはプリンターホスト名を指定してください。
- TM-DT シリーズでは、MAC アドレスを指定できません。
- 識別子にプリンターホスト名を指定する場合、DNS サーバーからプリンターホスト名が検索可能な環境で使用してください。
- Bluetooth® 通信を使用する場合には、connect を呼び出す前にペアリングしてください。
- プロジェクトの設定によっては、アプリケーションがバックグラウンドに回ると Bluetooth® 通信が切断される場合があります。
- TM インテリジェントプリンターの場合、本 API は、TM インテリジェントプリンターと周辺機器の接続状態に関わらず、成功します。

disconnect

プリンターとの通信を終了します。

構文

- (int) disconnect;

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信されていない状態で、通信を終了しようとした。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_DISCONNECT	デバイスの切断に失敗した。

startMonitor

プリンターのステータスイベントの通知を有効化します。

`interval` プロパティーで指定した間隔でプリンターステータスを取得、更新し、`setStatusChangeEventDelegate` に登録したコールバック関数へ通知します。

構文

- (int) startMonitor;

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

補足説明

本 API はプリンターとの通信開始後（`connect` API 実行後）に使用してください。

stopMonitor

ステータスイベントを無効化します。

構文

```
- (int)stopMonitor;
```

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

getStatus

現在のステータス情報を取得します。

構文

- (PrinterStatusInfo *)getStatus;

戻り値

現在の状態が PrinterStatusInfo 型として返ります。

オブジェクトにはメンバーとして以下のステータス情報が格納されます。

状態	ステータス	説明
connection : 接続状態	EPOS2_TRUE	接続中
	EPOS2_FALSE	状態が不明
online : オンライン状態	EPOS2_TRUE	オンライン
	EPOS2_FALSE	オフライン
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
coverOpen : カバー状態	EPOS2_TRUE	カバーが開いている
	EPOS2_FALSE	カバーが閉じている
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
paper : 用紙状態	EPOS2_PAPER_OK	用紙あり
	EPOS2_PAPER_NEAR_END	ニアエンド
	EPOS2_PAPER_EMPTY	用紙なし
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
paperFeed : 紙送り	EPOS2_TRUE	紙送り中
	EPOS2_FALSE	停止中
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
panelSwitch : パネルスイッチ (Feed ボタン) 状態	EPOS2_SWITCH_ON	押している
	EPOS2_SWITCH_OFF	押していない
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
drawer : バッテリー残量によるオフライン状態 (TM-P シリーズ)	EPOS2_DRAWER_HIGH	バッテリー残量が少ないためオフライン状態
	EPOS2_DRAWER_LOW	オフライン状態ではない
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
drawer : ドローアキックコネクター 3 番ピン状態 (TM-P シリーズ 以外)	EPOS2_DRAWER_HIGH	High 状態
	EPOS2_DRAWER_LOW	Low 状態
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明

状態	ステータス	説明
errorStatus : エラー状態	EPOS2_NO_ERR	正常
	EPOS2_MECHANICAL_ERR	メカニカルエラー発生
	EPOS2_AUTOCUTTER_ERR	オートカッターエラー発生
	EPOS2_UNRECOVER_ERR	復帰不可能エラー発生
	EPOS2_AUTORECOVER_ERR	自動復帰エラー発生
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
autoRecoverError : 自動復帰エラー状態	EPOS2_HEAD_OVERHEAT	ヘッド高温エラー
	EPOS2_MOTOR_OVERHEAT	モータードライバー IC 高温エラー
	EPOS2_BATTERY_OVERHEAT	バッテリー高温エラー
	EPOS2_WRONG_PAPER	用紙エラー
	EPOS2_COVER_OPEN	カバーが開いている
	EPOS2_UNKNOWN	状態不明
buzzer : 内蔵ブザー鳴動状態	EPOS2_TRUE	鳴動中
	EPOS2_FALSE	停止中
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
buzzer : 外付けオプション ブザー鳴動状態	EPOS2_TRUE	常時
adapter : AC アダプター接続状態	EPOS2_TRUE	接続中
	EPOS2_FALSE	切断中
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明
batteryLevel : バッテリー残量	EPOS2_BATTERY_LEVEL_6	バッテリー残量 6
	EPOS2_BATTERY_LEVEL_5	バッテリー残量 5
	EPOS2_BATTERY_LEVEL_4	バッテリー残量 4
	EPOS2_BATTERY_LEVEL_3	バッテリー残量 3
	EPOS2_BATTERY_LEVEL_2	バッテリー残量 2
	EPOS2_BATTERY_LEVEL_1	バッテリー残量 1 (ニアエンド)
	EPOS2_BATTERY_LEVEL_0	バッテリー残量 0 (リアルエンド)
	EPOS2_UNKNOWN	状態が不明

補足説明

- 通信不可状態で本 API が呼び出された場合、接続状態以外のプリンターステータスは全て EPOS2_UNKNOWN が格納されます。
- ステータス用オブジェクトは、本 API 実行時のステータスが入り、更新は行いません。
- コールバック関数内で本関数を実行した場合、nil が返ります。

sendData

印刷コマンドを送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2Printer クラスの [setReceiveEventDelegate API](#) で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

add 系 API (例 [addText](#)) でバッファリングしたデータを送信します。

構文

- (int) sendData:(long)timeout;

パラメーター

timeout

印刷完了までのタイムアウト時間を msec 単位で指定します。

設定値	説明
5000 ~ 600000 の整数	タイムアウト時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (10000) を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	印刷コマンドがバッファリングされていない。 通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

補足説明

Bluetooth® 接続の場合、オフライン状態が検出できずタイムアウトエラーになることがあります。

6 章「一台のプリンターを複数のモバイル端末から使用するには」を参照してください。

beginTransaction

トランザクションを開始します。

トランザクションは、一枚のレシートや、一枚のクーポンなど、ひとまとめの印刷内容を示します。

本 API を呼び出した後、[endTransaction](#) でトランザクションを終了するまでをひとまとめの印刷内容として扱います。

構文

- (int) **beginTransaction;**

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。 既に本関数によりトランザクションが開始されていた。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

endTransaction

トランザクションを終了します。

トランザクションは、一枚のレシートや、一枚のクーポンなど、ひとまとめの印刷内容を示します。

[beginTransaction](#) を呼び出した後、本 API でトランザクションを終了するまでをひとまとめの印刷内容として扱います。

構文

```
- (int) endTransaction;
```

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。 トランザクションが開始されていない状態で、本 API が呼び出された。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

requestPrintJobStatus

指定した印刷ジョブ ID の印刷結果を取得します。

構文

```
- (int) requestPrintJobStatus:(NSString*)printJobId;
```

パラメーター

printJobId

印刷ジョブ ID を指定します。

使用可能な文字は 1 ~ 30 文字の英数字、アンダースコア、ハイフン、ピリオドです。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_CONNECT	通信エラー。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。

補足説明

- 本 API の結果は、Epos2Printer クラスの [setReceiveEventDelegate](#) API で設定したコールバックメソッドへ通知されます。
- 同じ印刷ジョブ ID で、複数の印刷処理を実行した場合、一番新しいジョブのステータスを取得します。

clearCommandBuffer

命令バッファーをクリアします。

構文

```
- (int) clearCommandBuffer;
```

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。

addTextAlign

位置揃え設定を命令バッファーに追加します。

構文

- (int) addTextAlign:(int)align;

パラメーター

align

位置揃えを指定します。

設定値	説明
EPOS2_ALIGN_LEFT (初期値)	左揃え
EPOS2_ALIGN_CENTER	中央揃え
EPOS2_ALIGN_RIGHT	右揃え
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（左揃え）を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 本 API は「行の先頭」で使用してください。先頭以外で使用した場合、無効になります。
- 本 API の設定は、バーコード / 2 次元シンボルにも適用されます。
- 印字モードがページモードで位置揃え設定をする場合、本 API ではなく、[addPagePosition](#) API で設定してください。

addLineSpace

改行量設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addLineSpace:(long)linespc;
```

パラメーター

linespc

改行量（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 255 の整数	改行量（ドット単位）

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addTextRotate

倒立印字設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addTextRotate:(int)rotate;
```

パラメーター

rotate

倒立印字の有無を指定します。

設定値	説明
EPOS2_TRUE	倒立印字を指定
EPOS2_FALSE (初期値)	倒立印字を解除
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（倒立印字解除）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 本 API は「行の先頭」で使用してください。先頭以外で使用した場合、無効になります。
- 本 API の設定は、バーコード /2 次元シンボルにも適用されます。
- 印字モードがページモードで倒立印字を設定する場合、本 API ではなく、[addPageDirection API](#) で設定してください。

addText

文字の印字を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addText:(NSString *)data;
```

パラメーター

data

印字する文字列を指定します。

水平タブ / 改行は、以下のエスケープシーケンスを使用します。

文字列	説明
\t	水平タブ (HT)
\n	改行 (LF)
\\	バックスラッシュ

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- テキストの印字後、テキスト以外を印字する場合、改行または紙送りを実行してください。
末尾が改行で終わっていない行は、未確定データとして次の [sendData](#) で破棄されます。
- ページモードでは、文字のベースラインドットを基準に現在の印字位置へ印字文字を展開します。

addTextLang

言語設定を命令バッファーに追加します。

本 API で指定された言語情報に従って、[addText](#) API で指定された文字列をエンコードします。

構文

- (int) addTextLang:(int)lang;

パラメーター

lang

対象言語を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LANG_EN (初期値)	英語 (ANSI 仕様)
EPOS2_LANG_JA	日本語
EPOS2_LANG_ZH_CN	簡体字中国語
EPOS2_LANG_ZH_TW	繁体字中国語
EPOS2_LANG_KO	韓国語
EPOS2_LANG_TH	タイ語 (南アジア仕様)
EPOS2_LANG_VI	ベトナム語 (南アジア仕様)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (英語) を選択する

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 本 API は、[addText](#) API を呼び出す前に呼び出す API です。
- 印字可能言語は、使用するプリンターの文字仕様に依存します。各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

addTextFont

文字のフォント設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addTextFont:(int)font;
```

パラメーター

font

フォントを指定します。

設定値	説明
EPOS2_FONT_A (初期値)	フォントA
EPOS2_FONT_B	フォントB
EPOS2_FONT_C	フォントC
EPOS2_FONT_D	フォントD
EPOS2_FONT_E	フォントE
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（フォント A）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addTextSmooth

スムージング設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addTextSmooth:(int)smooth;
```

パラメーター

smooth

スムージングの有無を指定します。

設定値	説明
EPOS2_TRUE	スムージングを指定
EPOS2_FALSE (初期値)	スムージングを解除
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（スムージング解除）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addTextSize

文字の倍率設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addTextSize:(long)width height:(long)height;
```

パラメーター

width

文字の横倍率を指定します。

設定値	説明
1 ~ 8 の整数	横方向の倍率を指定（初期値：1）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（1）を指定
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

height

文字の縦倍率を指定します。

設定値	説明
1 ~ 8 の整数	縦方向の倍率を指定（初期値：1）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（1）を指定
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

全てのパラメーターに EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED を指定した場合、EPOS2_ERR_PARAM を返します。

addTextStyle

文字の装飾設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addTextStyle:(int)reverse ul:(int)ul em:(int)em
color:(int)color;
```

パラメーター

reverse

白黒反転文字を指定します。

設定値	説明
EPOS2_TRUE	白黒反転文字を指定
EPOS2_FALSE (初期値)	白黒反転文字を解除
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（白黒反転文字を解除）を選択

ul

アンダーラインを指定します。

設定値	説明
EPOS2_TRUE	アンダーラインを指定
EPOS2_FALSE (初期値)	アンダーラインを解除
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（アンダーラインを解除）を選択

em

太字を指定します。

設定値	説明
EPOS2_TRUE	太字を指定
EPOS2_FALSE (初期値)	太字を解除
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（太字を解除）を選択

color

色を指定します。

設定値	説明
EPOS2_COLOR_NONE	非印字

設定値	説明
EPOS2_COLOR_1 (初期値)	第1色
EPOS2_COLOR_2	第2色
EPOS2_COLOR_3	第3色
EPOS2_COLOR_4	第4色
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（第1色）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

全てのパラメーターに EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED を指定した場合、EPOS2_ERR_PARAM を返します。

addHPosition

横方向の印字開始位置を命令バッファーに追加します。

構文

- (int) addHPosition:(long)x;

パラメーター

x

横方向の印字開始位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横方向の印字開始位置（ドット単位）

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 本 API により、プリンターは『行の先頭』ではない状態になります。
xに0を指定した場合でも『行の先頭』ではない状態になります。
- 本 API 実行後、[addTextAlign](#)、[addTextRotate](#) は使用できません。

addFeedUnit

ドット単位の紙送りを命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addFeedUnit:(long)unit;
```

パラメーター

unit

紙送り量（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 255 の整数	紙送り量（ドット単位）

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

本 API により、プリンターは『行の先頭』状態になります。

addFeedLine

行単位の紙送りを命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addFeedLine:(long)line;
```

パラメーター

line

紙送り量（行単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 255 の整数	紙送り量（行単位）

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

本 API により、プリンターは『行の先頭』状態になります。

addImage

ラスターイメージの印字を命令バッファーに追加します。

UIImage クラスのグラフィックを印字します。

UIImage クラスのグラフィックのうち、指定範囲を mode、halftone、brightness パラメーターで二値化し、ラスターイメージデータに変換します。

compress パラメーターの設定にしたがって、圧縮送信または非圧縮送信を設定します。

画像の 1 ピクセルがプリンターの 1 ドットに相当します。透明色が含まれている場合、画像の背景を白とみなします。

構文

```
- (int) addImage:(UIImage *)data x:(long)x y:(long)y
width:(long)width height:(long)height color:(int)color
mode:(int)mode halftone:(int)halftone
brightness:(double)brightness compress:(int)compress;
```

パラメーター

data

UIImage クラスのインスタンスを指定します。

x

印字範囲の横方向の開始位置（ピクセル単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65534 の整数	印字範囲の横方向の開始位置（ピクセル単位）

y

印字範囲の縦方向の開始位置（ピクセル単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65534 の整数	印字範囲の縦方向の開始位置（ピクセル単位）

width

印字範囲の幅（ピクセル単位）を指定します。

設定値	説明
1 ~ 65535 の整数	印字範囲の幅（ピクセル単位）

height

印字範囲の高さ（ピクセル単位）を指定します。

設定値	説明
1 ~ 65535 の整数	印字範囲の高さ（ピクセル単位）

color

色を指定します。

設定値	説明
EPOS2_COLOR_NONE	非印字
EPOS2_COLOR_1	第1色
EPOS2_COLOR_2	第2色
EPOS2_COLOR_3	第3色
EPOS2_COLOR_4	第4色
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値(第1色)を選択

mode

カラー mode を指定します。

設定値	説明
EPOS2_MODE_MONO	モノクロ(2階調)
EPOS2_MODE_GRAY16	多階調(16階調)
EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY	モノクロ(2階調)倍密度
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値(モノクロ(2階調))を選択

halftone

ハーフトーン処理方法を指定します。

設定値	説明
EPOS2_HALFTONE_DITHER	ディザ(グラフィックのみの印刷に適している。)
EPOS2_HALFTONE_ERROR_DIFFUSION	誤差拡散(文字とグラフィックが混在する印刷に適している。)
EPOS2_HALFTONE_THRESHOLD	しきい値(文字のみの印刷に適している。)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値(ディザ)を選択

モノクロ(2階調)印刷の場合のみ有効です。

brightness

明るさ補正值を指定します。

設定値	説明
0.1 ~ 10.0 の実数	明るさ補正值(ガンマ値)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	規定値(1.0)

明るさ補正值に1.0以外を指定した場合は、処理時間が遅くなります。

compress

圧縮処理の有無を指定します。

圧縮処理すると、印刷画像の白スジを防止できます。

プリンターと Bluetooth[®] 通信で接続している場合に効果があります。

設定値	説明
EPOS2_COMPRESS_DEFLATE	画像を圧縮する。
EPOS2_COMPRESS_NONE	画像を非圧縮する。
EPOS2_COMPRESS_AUTO	圧縮、非圧縮を内部で自動設定する。
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (圧縮、非圧縮を内部で自動設定する)

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- x/yパラメーターとwidth/heightパラメーターで指定された領域がdataパラメーターで指定した画像のサイズに収まっていない場合、戻り値に EPOS2_ERR_PARAM が返されます。
- compress は、下記プリンターの Bluetooth[®] モデルでのみ指定できます。該当プリンター以外は、EPOS2_COMPRESS_AUTO を指定してください。

モデル	ファームウェアバージョン
TM-m10	制限なし
TM-m30	制限なし
TM-P20	制限なし
TM-P60II (Peeler)	6.14 ESC/POS 以降
TM-P80	制限なし
TM-T20II	制限なし
TM-T70II	制限なし
TM-T88V	制限なし
TM-T88VI	制限なし

- 透過画像を印字する場合、印字速度が遅くなる場合があります。
- ページモードでは多階調印字、画像圧縮をサポートしていません。これらを指定した場合は何も印字しません。
- プリンターに合わせた適切な画像サイズを指定してください。大きな画像を指定した場合、API 上は成功しますが、印刷されないことがあります。

addLogo

NV ロゴの印字を命令バッファーに追加します。
プリンターの NV メモリーに登録されているロゴを印字します。

構文

- (int) addLogo:(long)key1 key2:(long)key2;

パラメーター

key1

NV ロゴのキーコード 1 を指定します。

設定値	説明
1 ~ 255 の整数	NV ロゴのキーコード 1

key2

NV ロゴのキーコード 2 を指定します。

設定値	説明
1 ~ 255 の整数	NV ロゴのキーコード 2

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- NV ロゴの登録方法は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
- ページモードでは多階調印字をサポートしていません。スタンダードモードでのみ多階調グラフィックスの印字が可能です。
- 本 API で指定する NV ロゴは、事前にバッファリングした [addTextStyle](#) の色設定で印刷されます。

addBarcode

バーコード印字を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addBarcode:(NSString *)data type:(int)type hri:(int)hri
font:(int)font width:(long)width height:(long)height;
```

パラメーター

data

バーコードデータを文字列で指定します。

type で指定するバーコードの規格に従った文字列を指定してください。

種類	説明
UPC-A	11 行の数字を指定した場合、チェックデジットを自動的に付加します。 12 行の数字を指定した場合、12 行目をチェックデジットとして処理しますが、チェックデジットの検算は行いません。
UPC-E	最初の桁に 0 を指定してください。 2 ~ 6 行目にメーカーコードを指定してください。 7 ~ 11 行目にアイテムコードを右詰めで指定してください。 アイテムコードの行数はメーカーコードにより異なります。 使用しない桁は 0 を指定してください。11 行の数字を指定した場合、チェックデジットを自動的に付加します。 12 行の数字を指定した場合、12 行目をチェックデジットとして処理しますが、チェックデジットの検算は行いません。
EAN13	12 行の数字を指定した場合、チェックデジットを自動的に付加します。
JAN13	13 行の数字を指定した場合、13 行目をチェックデジットとして処理しますが、チェックデジットの検算は行いません。
EAN8	7 行の数字を指定した場合、チェックデジットを自動的に付加します。8 行の数字を指定した場合、8 行目をチェックデジットとして処理しますが、チェックデジットの検算は行いません。
JAN8	7 行の数字を指定した場合、チェックデジットを自動的に付加します。8 行の数字を指定した場合、8 行目をチェックデジットとして処理しますが、チェックデジットの検算は行いません。
CODE39	先頭の文字が * の場合、この文字をスタートキャラクターとして処理します。 それ以外の場合、スタートキャラクターを自動的に付加します。

種類	説明
ITF	スタートコードおよびストップコードを自動的に付加します。 チェックデジットの付加および検算は行いません。
CODABAR	スタートキャラクター (A ~ D, a ~ d) を指定してください。 ストップキャラクター (A ~ D, a ~ d) を指定してください。 チェックデジットの付加および検算は行いません。
CODE93	スタートキャラクターおよびストップキャラクターを自動的に付加します。 チェックデジットを計算して自動的に付加します。
CODE128	スタートキャラクター (CODE A, CODE B, CODE C) を指定してください。 ストップキャラクターを自動的に付加します。 チェックデジットを計算して自動的に付加します。 以下の文字をエンコードするには、文字 { で始まる 2 文字を指定してください。 FNC1 : {1 FNC2 : {2 FNC3 : {3 FNC4 : {4 CODE A : {A CODE B : {B CODE C : {C SHIFT : {S { : {{

種類	説明
GS1-128	<p>スタートキャラクター、FNC1、チェックデジット、トップキャラクターを自動的に付加します。ただし、データの区切りを示す FNC1 は付加しません。</p> <p>アプリケーション識別子 (AI) とそれに続くデータのチェックデジットを計算して自動的に付加するには、チェックデジットの位置に文字 * を指定します。</p> <p>アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲むことができます。</p> <p>括弧は HRI の印字文字として使用し、データとしてエンコードしません。</p> <p>空白は HRI の印字文字として使用し、データとしてエンコードしません。</p> <p>以下の文字をエンコードするには、文字 { で始まる 2 文字を指定してください。</p> <pre>FNC1 : {1 FNC3 : {3 (: {{(}): {}) *: {*}* {: {}}}</pre>
GS1 DataBar Omnidirectional	アプリケーション識別子 (AI) とチェックデジットを除く 13 衔の商品識別番号 (GTIN) を指定してください。
GS1 DataBar Truncated	
GS1 DataBar Limited	
GS1 DataBar Expanded	<p>アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲むことができます。</p> <p>括弧は HRI の印字文字として使用し、データとしてエンコードしません。</p> <p>以下の文字をエンコードするには、文字 { で始まる 2 文字を 指定してください。</p> <pre>FNC1 : {1 (: {{(}): {})}</pre>

文字列で表現できないバイナリーデータを指定する場合、以下のエスケープシーケンスで指定します。

文字列	説明
\xnn	コントロールコード
\\"	バックスラッシュ

type

バーコードの種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_BARCODE_UPC_A	UPC-A

設定値	説明
EPOS2_BARCODE_UPC_E	UPC-E
EPOS2_BARCODE_EAN13	EAN13
EPOS2_BARCODE_JAN13	JAN13
EPOS2_BARCODE_EAN8	EAN8
EPOS2_BARCODE_JAN8	JAN8
EPOS2_BARCODE_CODE39	CODE39
EPOS2_BARCODE_ITF	ITF
EPOS2_BARCODE_CODABAR	CODABAR
EPOS2_BARCODE_CODE93	CODE93
EPOS2_BARCODE_CODE128	CODE128
EPOS2_BARCODE_GS1_128	GS1-128
EPOS2_BARCODE_GS1_DATABAR_OMNIDIRECTIONAL	GS1 DataBar Omnidirectional
EPOS2_BARCODE_GS1_DATABAR_TRUNCATED	GS1 DataBar Truncated
EPOS2_BARCODE_GS1_DATABAR_LIMITED	GS1 DataBar Limited
EPOS2_BARCODE_GS1_DATABAR_EXPANDED	GS1 DataBar Expanded

hri

HRI の位置を指定します。

設定値	説明
EPOS2_HRI_NONE (初期値)	印字しない
EPOS2_HRI_ABOVE	バーコードの上
EPOS2_HRI_BELOW	バーコードの下
EPOS2_HRI_BOTH	バーコードの上と下の両方
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（印字しない）を選択
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

font

HRI フォントを指定します。

設定値	説明
EPOS2_FONT_A (初期値)	フォント A
EPOS2_FONT_B	フォント B
EPOS2_FONT_C	フォント C
EPOS2_FONT_D	フォント D
EPOS2_FONT_E	フォント E

設定値	説明
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（フォント A）を選択
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

width

1 モジュールの幅をドット単位で指定します。

設定値	説明
2 ~ 6 の整数	1 モジュールの幅（ドット単位）
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

height

バーコードの高さをドット単位で指定します。

設定値	説明
1 ~ 255 の整数	バーコードの高さ（ドット単位）
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 本 API は、「行の先頭」で使用してください。
- data で指定したバーコードデータが、type で指定するバーコード規格に従っていない場合、戻り値にエラーを返さず、バーコードは印刷されません。

addSymbol

2次元シンボル印字を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addSymbol:(NSString *)data type:(int)type
level:(int)level width:(long)width height:(long)height
size:(long)size;
```

パラメーター

data

2次元シンボルデータを文字列で指定します。

type で指定する 2次元シンボルの規格に従った文字列を指定してください。

種類	説明
Standard PDF417	文字列を UTF-8 に変換後、エスケープシーケンスの処理を行い、エンコードします。
Truncated PDF417	データ領域の最大コードワード数は 928 個、1 段あたりのデータ領域の最大コードワード数は 30 個、最大段数は 90 段です。
QR Code Model 1	文字列をシフト JIS に変換後、エスケープシーケンスの処理を行い、データの種類を以下の中から選択してエンコードします。数字 : 0 ~ 9 英数字 : 0 ~ 9, A ~ Z, スペース , \$, %, *, +, -, ., /, :
QR Code Model 2	漢字 : シフト JIS で表現できる漢字 8 ビットバイトデータ : 0x00 ~ 0xff
QR Code Micro	

種類	説明
MaxiCode Mode 2	文字列を UTF-8 に変換後、エスケープシーケンスの処理を行い、エンコードします。
MaxiCode Mode 3	モード 2 およびモード 3 の場合、最初のデータ <code>]0>\x1e01\x1ddy</code> (yy は 2 衔の数字) の場合、これをメッセージヘッダーとして処理し、次のデータからプライマリメッセージとして処理します。
MaxiCode Mode 4	それ以外の場合、最初のデータからプライマリメッセージとして処理します。
MaxiCode Mode 5	モード 2 の場合、プライマリメッセージを以下の形式で指定してください。 郵便コード (1 ~ 9 衔の数字) GS:(\x1d) ISO 国名コード (1 ~ 3 衔の数字) GS:(\x1d) サービスクラスコード (1 ~ 3 衔の数字)
MaxiCode Mode 6	モード 3 の場合、プライマリメッセージを以下の形式で指定してください。 郵便コード (1 ~ 6 個のコードセット A で変換可能なデータ) GS(\x1d) ISO 国名コード (1 ~ 3 衔の数字) GS(\x1d) サービスクラスコード (1 ~ 3 衔の数字)
GS1 DataBar Stacked	文字列を UTF-8 に変換後、エスケープシーケンスの処理を行い、エンコードします。
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional	アプリケーション識別子 (AI) とチェックデジットを除く 13 衔の商品識別番号 (GTIN) を指定してください。
GS1 DataBar Expanded Stacked	文字列を UTF-8 に変換後、エスケープシーケンスの処理を行い、エンコードします。 アプリケーション識別子 (AI) を括弧で囲むことができます。 括弧は HRI の印字文字として使用し、データとしてエンコードしません。 以下の文字をエンコードするには、文字 { で始まる 2 文字を指定してください。 <code>FNC1 : {1 (: {() : {})}</code>
Aztec Code	文字列を UTF-8 に変換後、エスケープシーケンスの処理を行い、エンコードします。
DataMatrix	文字列を UTF-8 に変換後、エスケープシーケンスの処理を行い、エンコードします。

文字列で表現できないバイナリーデータを指定する場合、以下のエスケープシーケンスで指定します。

文字列	説明
<code>\xnn</code>	コントロールコード
<code>\\"</code>	バックスラッシュ

type

2次元シンボルの種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD	Standard PDF417
EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED	Truncated PDF417
EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1	QR Code Model 1
EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2	QR Code Model 2
EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MICRO	QR Code Micro
EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2	MaxiCode Mode 2
EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3	MaxiCode Mode 3
EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4	MaxiCode Mode 4
EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5	MaxiCode Mode 5
EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6	MaxiCode Mode 6
EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED	GS1 DataBar Stacked
EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_OMNIDIRECTIONAL	GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED	GS1 DataBar Expanded Stacked
EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_FULLRANGE	Aztec Code Full-Range モード
EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_COMPACT	Aztec Code Compact モード
EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_SQUARE	DataMatrix 正方形
EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_8	DataMatrix 長方形、行数 8
EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_12	DataMatrix 長方形、行数 12
EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_16	DataMatrix 長方形、行数 16

level

エラー訂正レベルを指定します。

2次元シンボルの種類に合わせて選択してください。

MaxiCode, 2次元 GS1 DataBar, DataMatrix の場合、EPOS2_PARAM_DEFAULT を選択します。

PDF417

設定値	説明
EPOS2_LEVEL_0	エラー訂正レベル 0
EPOS2_LEVEL_1	エラー訂正レベル 1
EPOS2_LEVEL_2	エラー訂正レベル 2
EPOS2_LEVEL_3	エラー訂正レベル 3
EPOS2_LEVEL_4	エラー訂正レベル 4

設定値	説明
EPOS2_LEVEL_5	エラー訂正レベル 5
EPOS2_LEVEL_6	エラー訂正レベル 6
EPOS2_LEVEL_7	エラー訂正レベル 7
EPOS2_LEVEL_8	エラー訂正レベル 8
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（エラー訂正レベル 1）を選択
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

□ QR Code

設定値	説明
EPOS2_LEVEL_L	エラー訂正レベル L
EPOS2_LEVEL_M	エラー訂正レベル M
EPOS2_LEVEL_Q	エラー訂正レベル Q
EPOS2_LEVEL_H	エラー訂正レベル H
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（エラー訂正レベル M）を選択
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

□ Aztec Code

設定値	説明
5～95 の整数	エラー訂正レベル（パーセント単位）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（エラー訂正レベル 23）
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

width

モジュールの幅を指定します。

1～255 の整数值で指定可能です。

EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED を指定した場合、設定を変更しません。

2次元シンボルの種類によって範囲が変更されます。

2次元シンボルの種類	有効な値	初期値
PDF417	2～8	3
QR Code	3～16	3
MaxiCode	1～255（無視されます）	
2次元 GS1 DataBar	2～8	2
Aztec Code	2～16	3
DataMatrix	2～16	3

height

モジュールの高さを指定します。

1～255 の整数值で指定可能です。

EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED を指定した場合、設定を変更しません。

2次元シンボルの種類によって範囲が変更されます。

2次元シンボルの種類	有効な値	初期値
PDF417	2～8 (widthに対する倍率)	3
QR Code		
MaxiCode		
2次元 GS1 DataBar	1～255 (無視されます)	
Aztec Code		
DataMatrix		

QR Code/MaxiCode/2次元 GS1 DataBar/Aztec Code/DataMatrix は無視されます。

size

2次元シンボルの最大サイズを指定します。

0～65535 の整数値で指定可能です。

EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED を指定した場合、設定を変更しません。

2次元シンボルの種類によって範囲が変更されます。

2次元シンボルの種類	初期値	説明
PDF417	0 (自動)	1段あたりのコードワード数を指定
QR Code	0～65535 (無視されます)	
MaxiCode	0～65535 (無視されます)	
2次元 GS1 DataBar	Expanded Stacked	0 (自動) 2次元シンボルの最大幅を指定 (106以上)
	その他	0～65535 (無視されます)
Aztec Code	0～65535 (無視されます)	
DataMatrix	0～65535 (無視されます)	

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 本 API は、「行の先頭」で使用してください。
- data で指定した 2次元シンボルデータが、type で指定する 2次元シンボルの種類に従っていない場合、戻り値にエラーを返さず、2次元シンボルは印刷されません。

addHLine

横罫線印字を命令バッファーに追加します。

横罫線の描画をします。

構文

- (int) addHLine:(long)x1 x2:(long)x2 lineStyle:(int)lineStyle;

パラメーター

x1

横罫線の描画開始位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横罫線の描画開始位置（ドット単位）

x2

横罫線の描画終了位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横罫線の描画終了位置（ドット単位）

lineStyle

罫線の種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LINE_THIN	実線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM	実線：中太
EPOS2_LINE_THICK	実線：太
EPOS2_LINE_THIN_DOUBLE	二重線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM_DOUBLE	二重線：中太
EPOS2_LINE_THICK_DOUBLE	二重線：太
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（実線：細）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ページモードでは使用できません。
- ページモードでの横罫線は、[addPageLine](#) を使用してください。

addVLineBegin

縦墨線の開始を命令バッファーに追加します。

縦墨線の描画を開始します。

構文

```
- (int) addVLineBegin:(long)x lineStyle:(int) lineStyle
lineId:(int *)lineId;
```

パラメーター

x1

縦墨線の描画開始位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	縦墨線の描画開始位置（ドット単位）

lineStyle

墨線の種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LINE_THIN	実線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM	実線：中太
EPOS2_LINE_THICK	実線：太
EPOS2_LINE_THIN_DOUBLE	二重線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM_DOUBLE	二重線：中太
EPOS2_LINE_THICK_DOUBLE	二重線：太
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（実線：細）を選択

lineId

本関数で印字する墨線の ID が整数で返ります。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ページモードでは使用できません。
- ページモードでの縦罫線は、[addPageLine](#) を使用してください。
- [addVLineEnd](#) で終了を指定するまで縦罫線の描画を行います。
- 本 API は [addVLineEnd](#) API と一緒に使用してください。

addVLineEnd

縦罫線の終了を命令バッファーに追加します。

縦罫線の描画を終了します。

構文

- (int) addVLineEnd:(int)lineId;

パラメーター

lineId

[addVLineBegin](#) で取得した lineId を指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ページモードでは使用できません。
- ページモードでの縦罫線は、[addPageLine](#) を使用してください。
- 縦罫線は、本 API で終了を指定するまで描画します。
- 本 API は [addVLineBegin](#) API と一緒に使用してください。

addPageBegin

ページモード開始を命令バッファーに追加します。
ページモードの処理が開始します。

構文

- (int) addPageBegin;

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ページモードでは、多階調印字をサポートしていません。
- 本 API は [addPageEnd](#) APIと一緒に使用してください。

addPageEnd

ページモード終了を命令バッファーに追加します。
ページモードの処理が終了します。

構文

- (int) addPageEnd;

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ページモードでは、多階調印字をサポートしていません。
- 本 API は [addPageBegin](#) APIと一緒に使用してください。

addPageArea

ページモード印字領域を命令バッファーに追加します。

ページモード印字領域（座標）を指定します。本 API に続けて、[addText API](#) など印刷データの API を指定します。

構文

```
- (int) addPageArea:(long)x y:(long)y width:(long)width
height:(long)height;
```

パラメーター

x

横方向の原点（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横方向の原点（ドット単位）

0 はプリンターの印字可能領域の左端になります。

y

縦方向の原点（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	縦方向の原点（ドット単位）

0 は紙送りをしていない位置です。

width

印字領域の幅（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
1 ~ 65535 の整数	印字領域の幅（ドット単位）

height

印字領域の高さ（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
1 ~ 65535 の整数	印字領域の高さ（ドット単位）

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 印字内容に合わせて印字領域を指定してください。印字データが印字領域をはみ出た場合、印字データが途中で切れた印字結果になります。
- 本 API は [addPageBegin API](#) と [addPageEnd API](#) に挟んで使用してください。
- 印字領域の幅と高さは、印字方向の設定に合わせて確定してください。
印字データが切れてしまう場合があります。印字方向の設定は、[addPageDirection](#) で指定します。
- スタンダードモードでは機能しません。

addPageDirection

ページモード印字方向設定を命令バッファーに追加します。

ページモードの印字方向を指定します。

構文

```
- (int) addPageDirection:(int) direction;
```

パラメーター

direction

ページモードの印字方向を指定します。

設定値	説明
EPOS2_DIRECTION_LEFT_TO_RIGHT (初期値)	回転しない（左上を始点に右方向へ印字）
EPOS2_DIRECTION_BOTTOM_TO_TOP	反時計回り 90 度回転（左下を始点に上方向へ印字）
EPOS2_DIRECTION_RIGHT_TO_LEFT	180 度回転（右下を始点に左方向へ印字）
EPOS2_DIRECTION_TOP_TO_BOTTOM	時計回り 90 度回転（右上を始点に下方向へ印字）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（回転しない）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- スタンダードモードでは機能しません。
- 本 API は [addPageBegin API](#) と [addPageEnd API](#) に挟んで使用してください。

addPagePosition

ページモード印字位置領域内の印字位置設定を命令バッファーに追加します。

[addPageArea API](#) で指定したエリア内の、印字開始位置（座標）を指定します。

構文

- (int) addPagePosition:(long)x y:(long)y;

パラメーター

x

横方向の印字位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横方向の印字位置（ドット単位）
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

y

縦方向の印字位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	縦方向の印字位置（ドット単位）
EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED	設定を変更しない

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- スタンダードモードでは機能しません。
- 本 API は [addPageBegin API](#) と [addPageEnd API](#) に挟んで使用してください。
- 印字開始位置（座標）は、印字内容に合わせて指定します。以下を参考にしてください。

印字内容	指定方法
文字列を印字する場合	最初の文字のベースライン左端を指定します。 標準の大きさで左詰めで印字する場合は省略可能です。高さが 2 倍の文字を印刷する場合は、y を 42 以上に指定します。

印字内容	指定方法
バーコードを印字する場合	シンボルの左下を指定します。y にバーコードの高さを指定します。
グラフィック / ロゴを印字する場合	グラフィックデータの左下を指定します。y にグラフィックデータの高さを指定します。
2次元シンボルを印字する場合	シンボルの左上を指定します。左上から印字する場合は、省略可能です。

- 全てのパラメーターに EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED を指定した場合、EPOS2_ERR_PARAM を返します。

addPageLine

ページモードの直線描画を命令バッファーに追加します。

ページモードで直線を描画します。

構文

```
- (int) addPageLine:(long)x1 y1:(long)y1 x2:(long)x2
y2:(long)y2 lineStyle:(int) lineStyle;
```

パラメーター

x1

横方向の描画開始位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横方向の描画開始位置（ドット単位）

y1

縦方向の描画開始位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	縦方向の描画開始位置（ドット単位）

x2

横方向の描画終了位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横方向の描画終了位置（ドット単位）

y2

縦方向の描画終了位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	縦方向の描画終了位置（ドット単位）

lineStyle

墨線の種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LINE_THIN	実線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM	実線：中太
EPOS2_LINE_THICK	実線：太
EPOS2_LINE_THIN_DOUBLE	二重線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM_DOUBLE	二重線：中太

設定値	説明
EPOS2_LINE_THICK_DOUBLE	二重線：太
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（実線：細）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- スタンダードモードでは機能しません。
- 斜線は描画できません。
- 本 API は [addPageBegin API](#) と [addPageEnd API](#) に挟んで使用してください。

addPageRectangle

ページモードの四角形描画を命令バッファーに追加します。

ページモードで四角形を描画します。

構文

```
- (int) addPageRectangle:(long)x1 y1:(long)y1 x2:(long)x2
y2:(long)y2 lineStyle:(int) lineStyle;
```

パラメーター

x1

横方向の描画開始位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横方向の描画開始位置（ドット単位）

y1

縦方向の描画開始位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	縦方向の描画開始位置（ドット単位）

x2

横方向の描画終了位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	横方向の描画終了位置（ドット単位）

y2

縦方向の描画終了位置（ドット単位）を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	縦方向の描画終了位置（ドット単位）

Style

墨線の種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LINE_THIN	実線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM	実線：中太
EPOS2_LINE_THICK	実線：太
EPOS2_LINE_THIN_DOUBLE	二重線：細
EPOS2_LINE_MEDIUM_DOUBLE	二重線：中太

設定値	説明
EPOS2_LINE_THICK_DOUBLE	二重線：太
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（実線：細）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- スタンダードモードでは機能しません。
- 本 API は [addPageBegin API](#) と [addPageEnd API](#) に挟んで使用してください。

addCut

用紙カットを命令バッファーに追加します。

用紙カットを設定します。

構文

- (int) addCut:(int)type;

パラメーター

type

用紙カット方法を指定します。

設定値	説明
EPOS2_CUT_FEED	フィードカット（紙送り後カット）
EPOS2_CUT_NO_FEED	フィード無しカット（紙送りせずにカット）
EPOS2_CUT_RESERVE	カット予約（後に続く印字を実行後、カット位置でカット）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（フィードカット（紙送り後カット））を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

ページモードでは使用できません。

addPulse

ドロアーキックを命令バッファーに追加します。

ドロアーキックを設定します。

構文

- (int) addPulse:(int)drawer time:(int)time;

パラメーター

drawer

ドロアーキックコネクターを指定します。

設定値	説明
EPOS2_DRAWER_2PIN	ドロアーキックコネクター 2 番ピン
EPOS2_DRAWER_5PIN	ドロアーキックコネクター 5 番ピン
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（ドロアーキックコネクター 2 番ピン）を選択

time

ドロアーキック信号のオン時間を指定します。

設定値	説明
EPOS2_PULSE_100	100 msec の信号
EPOS2_PULSE_200	200 msec の信号
EPOS2_PULSE_300	300 msec の信号
EPOS2_PULSE_400	400 msec の信号
EPOS2_PULSE_500	500 msec の信号
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（100 msec の信号）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

□ ページモードでは使用できません。

- ドロアーと外付けオプションブザーは同時に接続する事はできません。
- 以下のプリンターの内蔵ブザー機能付きモデルは、ドロアーキックコネクターへのパルス出力で内蔵ブザーを鳴動できます。
内蔵ブザー制御の詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
 - ・ TM-T70
 - ・ TM-T70II
 - ・ TM-T88IV
 - ・ TM-T88V
 - ・ TM-T88VI
 - ・ TM-T90II
 - ・ TM-L90

addSound

ブザーの鳴動を命令バッファーに追加します。
ブザーを設定します。

構文

```
- (int) addSound:(int)pattern repeat:(long)repeat
cycle:(long)cycle;
```

パラメーター

pattern

ブザーの音色を指定します。

設定値	説明
EPOS2_PATTERN_NONE	停止 (TM-P シリーズ)
EPOS2_PATTERN_NONE	停止。ただし鳴動中のブザーは停止しない。 (TM-P シリーズ以外)
EPOS2_PATTERN_A	パターン A (外付けオプションブザー)
EPOS2_PATTERN_B	パターン B (外付けオプションブザー)
EPOS2_PATTERN_C	パターン C (外付けオプションブザー)
EPOS2_PATTERN_D	パターン D (外付けオプションブザー)
EPOS2_PATTERN_E	パターン E (外付けオプションブザー)
EPOS2_PATTERN_ERROR	エラー鳴動パターン (外付けオプションブザー)
EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY	紙無し鳴動パターン (外付けオプションブザー)
EPOS2_PATTERN_1	パターン 1 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_2	パターン 2 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_3	パターン 3 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_4	パターン 4 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_5	パターン 5 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_6	パターン 6 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_7	パターン 7 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_8	パターン 8 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_9	パターン 9 (内蔵ブザー)
EPOS2_PATTERN_10	パターン 10 (内蔵ブザー)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (パターン A) を選択

repeat

繰り返し回数を指定します。

設定値	説明
0	無限
1 ~ 255	1 ~ 255 回
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（1回）を選択

cycle

ブザーを鳴らす周期（msec 単位）を指定します。

設定値	説明
1000 ~ 25500	1000 ~ 25500 msec
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（1000 msec）を選択

パターン1～パターン10の場合のみ有効です。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ページモードでは使用できません。
- ドロアーと外付けオプションブザーは同時に接続する事はできません。
- 本APIはプリンターにブザーが付いてなければ使用できません。
- プリンターにより [sendData](#) API のコールバックを受信するタイミングが異なります。
 - TM-P シリーズ : [sendData](#) API 実行後
 - TM-P シリーズ以外 : 鳴動終了後
- 以下のプリンターの内蔵ブザー機能付きモデルは、[addPulse](#) で内蔵ブザーを鳴動できます。
 - ・ TM-T70
 - ・ TM-T70II
 - ・ TM-T88IV
 - ・ TM-T88V
 - ・ TM-T88VI
 - ・ TM-T90II
 - ・ TM-L90

addFeedPosition

ラベル紙／ブラックマーク紙の紙送りを命令バッファーに追加します。

構文

- (int) addFeedPosition:(int)position;

パラメーター

position

紙送りする位置を指定します。

設定値	説明
EPOS2_FEED_PEELING	剥離位置まで紙送り
EPOS2_FEED_CUTTING	カット位置まで紙送り
EPOS2_FEED_CURRENT_TOF	現在のラベル頭出し位置まで紙送り
EPOS2_FEED_NEXT_TOF	次のラベル頭出し位置まで紙送り

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ラベル紙 / ブラックマーク紙の制御はスタンダードモードで行います。
- ページモードでは、本 API は使用できません。

addLayout

ラベル紙／ブラックマーク紙の用紙レイアウト情報を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addLayout:(int)type width:(long)width
height:(long)height marginTop:(long)marginTop
marginBottom:(long)marginBottom offsetCut:(long)offsetCut
offsetLabel:(long)offsetLabel;
```

パラメーター

type

用紙の種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LAYOUT_RECEIPT	レシート紙（ブラックマークなし）
EPOS2_LAYOUT_RECEIPT_BM	レシート紙（ブラックマークあり）
EPOS2_LAYOUT_LABEL	ラベル紙（ブラックマークなし）
EPOS2_LAYOUT_LABEL_BM	ラベル紙（ブラックマークあり）

width

用紙幅（0.1mm 単位）を指定します。

設定値	説明
290 ~ 800 の整数	用紙幅（0.1mm 単位）

height

印字基準から次の印字基準までの距離（0.1mm 単位）を指定します。

用紙種類	設定値	説明
レシート紙（ブラックマークなし）	0	距離の指定なし（自動）
レシート紙（ブラックマークあり）		ブラックマーク上端位置から次のブラックマーク上端位置までの距離
ラベル紙（ブラックマークなし）	0（自動） 284 ~ 1550	ラベル上端位置から次のラベル上端位置までの距離
ラベル紙（ブラックマークあり）		ブラックマーク下端位置から次のブラックマーク下端位置までの距離

marginTop

印字基準から頭出し位置までの距離（0.1mm 単位）を指定します。

用紙種類	設定値	説明
レシート紙（ブラックマークなし）	0	距離の指定なし（自動）

用紙種類	設定値	説明
レシート紙（ブラックマークあり）	-150～1500	ブラックマーク上端位置から次のブラックマーク上端位置までの距離
ラベル紙（ブラックマークなし）	0～1500	ラベル上端位置から次のラベル上端位置までの距離
ラベル紙（ブラックマークあり）	-15～1500	ブラックマーク下端位置から次のブラックマーク下端位置までの距離

marginBottom

排出基準から印刷可能領域の下端までの距離（0.1mm 単位）を指定します。

用紙種類	設定値	説明
レシート紙（ブラックマークなし）	0	距離の指定なし（自動）
レシート紙（ブラックマークあり）	0	距離の指定なし（自動）
ラベル紙（ブラックマークなし）	-15～0	ラベル下端位置からの距離 (紙送り方向が正の数)
ラベル紙（ブラックマークあり）	-15～15	ブラックマーク上端位置からの距離 (紙送り方向が正の数)

offsetCut

排出基準からカット位置までの距離（0.1mm 単位）を指定します。

用紙種類	設定値	説明
レシート紙（ブラックマークなし）	0	距離の指定なし（自動）
レシート紙（ブラックマークあり）	-290～50	ブラックマーク上端位置からカット位置までの距離
ラベル紙（ブラックマークなし）	0～50	ラベル下端位置からカット位置までの距離
ラベル紙（ブラックマークあり）	0～50	ブラックマーク上端位置からカット位置までの距離

offsetLabel

排出基準からラベル下端までの距離（0.1mm 単位）を指定します。

用紙種類	設定値	説明
レシート紙（ブラックマークなし）	0	距離の指定なし（自動）
レシート紙（ブラックマークあり）	0	距離の指定なし（自動）
ラベル紙（ブラックマークなし）	0	距離の指定なし（自動）
ラベル紙（ブラックマークあり）	0～15	ブラックマーク上端位置からラベル下端位置までの距離

戻り値

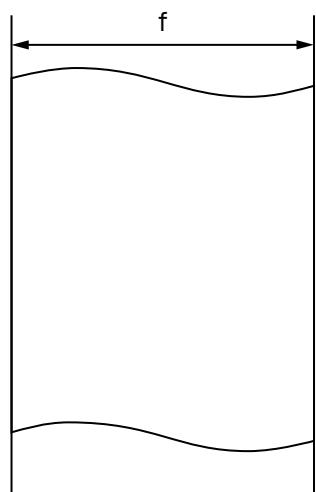
エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

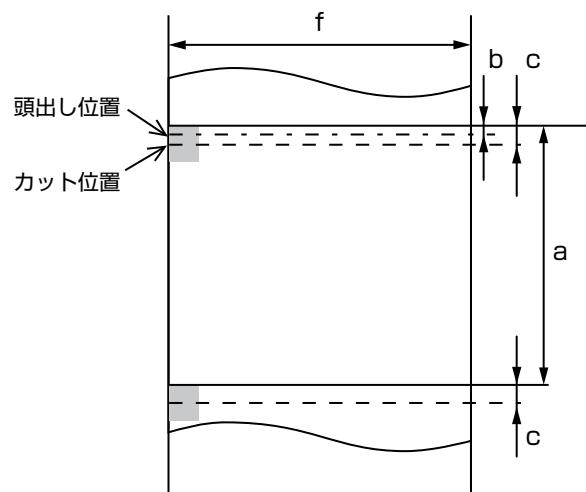
- ページモードでは機能しません。
- 用紙の種類に応じた各パラメーターの設定可能値は以下の通りです。

パラメーター	レシート (ブラック マークなし)	ラベル (ブラック マークなし)	ラベル (ブラック マークあり)	レシート紙 (ブラック マークあり)	図内記号
width	290 ~ 800				f
height	0	0, 284 ~ 1550			a
marginTop	0	-150 ~ 1500	0 ~ 1500	-15 ~ 1500	b
marginBottom	0	0	-15 ~ 0	-15 ~ 15	e
offsetCut	0	-290 ~ 50	0 ~ 50	0 ~ 50	c
offsetLabel	0	0	0	0 ~ 15	d

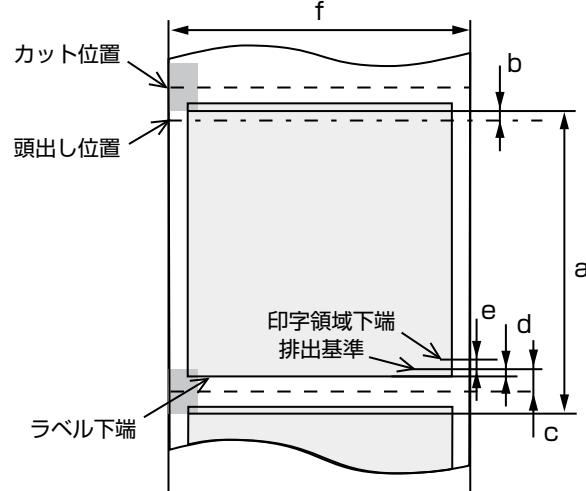
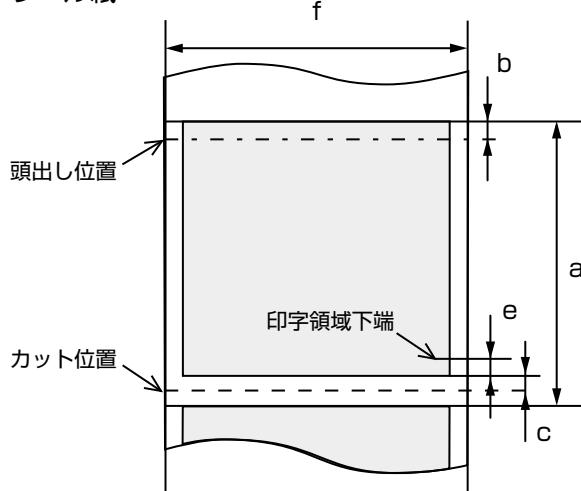
レシート紙



<ブラックマーク付>



ラベル紙



addCommand

コマンドを命令バッファーに追加します。
ESC/POS コマンドを送信します。

構文

- (int) addCommand:(NSData *)data;

パラメーター

data

ESC/POS コマンドを指定します。
バイナリーデータを指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- ESC/POS コマンドの詳細は以下の URL を参照してください。
https://reference.epson-biz.com/modules/ref_escpos_ja/
- Epson ePOS SDK は本 API で送信するコマンドをチェックしません。
Epson ePOS SDK の動作を妨げるようなコマンドを送信した場合、他の API の動作やステータスの値が不正になることがあります。
- ESC/POS コマンドやレシートプリンターの仕様を十分に理解した上で使用してください。

forceRecover

エラー状態復帰コマンドを強制送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2Printer クラスの [setReceiveEventDelegate API](#) で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

構文

- (int) forceRecover:(long) timeout;

パラメーター

timeout

コマンド送信完了までのタイムアウト時間を msec 単位で指定します。

設定値	説明
0 ~ 600000 の整数	タイムアウト時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (10000) を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

補足説明

復帰可能エラーから復帰すると、プリンタ一本体のバッファーはリセットされます。

forcePulse

ドローアーキックコマンドを強制送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2Printer クラスの [setReceiveEventDelegate API](#) で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

構文

```
- (int) forcePulse:(int)drawer pulseTime:(int)pulseTime
    timeout:(long)timeout;
```

パラメーター

drawer

ドローアーキックコネクターを指定します。

設定値	説明
EPOS2_DRAWER_2PIN	ドローアーキックコネクター 2 番ピン
EPOS2_DRAWER_5PIN	ドローアーキックコネクター 5 番ピン
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（ドローアーキックコネクター 2 番ピン）を選択

time

ドローアーキック信号のオン時間を指定します。

設定値	説明
EPOS2_PULSE_100	100 msec の信号
EPOS2_PULSE_200	200 msec の信号
EPOS2_PULSE_300	300 msec の信号
EPOS2_PULSE_400	400 msec の信号
EPOS2_PULSE_500	500 msec の信号
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（100 msec の信号）を選択

timeout

コマンド送信完了までのタイムアウト時間を msec 単位で指定します。

設定値	説明
0 ~ 600000 の整数	タイムアウト時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (10000) を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

補足説明

ドロアーと外付けオプションブザーは同時に接続する事はできません。

forceStopSound

ブザー鳴動停止コマンドを強制送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2Printer クラスの [setReceiveEventDelegate API](#) で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

構文

- (int) forceStopSound:(long)timeout;

パラメーター

timeout

コマンド送信完了までのタイムアウト時間を msec 単位で指定します。

設定値	説明
0 ~ 600000 の整数	タイムアウト時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (10000) を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

補足説明

- ドロアーと外付けオプションブザーは同時に接続する事はできません。
- 本 API はプリンターにブザーが付いてなければ使用できません。

forceCommand

ESC/POS コマンドを強制送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2Printer クラスの [setReceiveEventDelegate API](#) で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

構文

```
- (int) forceCommand:(NSData *)data timeout:(long)timeout;
```

パラメーター

data

ESC/POS コマンドを強制送信します。

バイナリーデータを指定します。

timeout

コマンド送信完了までのタイムアウト時間を msec 単位で指定します。

設定値	説明
0 ~ 600000 の整数	タイムアウト時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (10000) を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

forceReset

プリンタリリセットコマンドを強制送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2Printer クラスの [setReceiveEventDelegate API](#) で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

構文

- (int) forceReset:(long)timeout;

パラメーター

timeout

コマンド送信完了までのタイムアウト時間を msec 単位で指定します。

設定値	説明
0 ~ 600000 の整数	タイムアウト時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (10000) を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

setStatusChangeEventDelegate

ステータス変更イベントのコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void) setStatusChangeEventDelegate:  
    (id<Epos2PtrStatusChangeDelegate>)delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2PtrStatusChangeDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2PtrStatusChangeDelegate <NSObject>  
@required  
- (void) onPtrStatusChange:(Epos2Printer *)EPOS2_Obj  
eventType:(int) eventType;  
@end
```

パラメーター

printerObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

eventType

発生したイベントの種類が入ります。

イベントの種類	説明
EPOS2_EVENT_ONLINE	オンライン
EPOS2_EVENT_OFFLINE	オフライン
EPOS2_EVENT_POWER_OFF	電源オフ
EPOS2_EVENT_COVER_CLOSE	カバークローズ
EPOS2_EVENT_COVER_OPEN	カバーオープン
EPOS2_EVENT_PAPER_OK	用紙あり
EPOS2_EVENT_PAPER_NEAR_END	用紙ニアエンド
EPOS2_EVENT_PAPER_EMPTY	用紙なし
EPOS2_EVENT_DRAWER_HIGH	ドローアキックコネクター 3 番ピンの状態= "H"
EPOS2_EVENT_DRAWER_LOW	ドローアキックコネクター 3 番ピンの状態= "L"

イベントの種類	説明
EPOS2_EVENT_BATTERY_ENOUGH	バッテリー残量有り
EPOS2_EVENT_BATTERY_EMPTY	バッテリー残量無し

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

setReceiveEventDelegate

応答ドキュメント受信イベントのコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void)
setReceiveEventDelegate:(id<Epos2PtrReceiveDelegate>)delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2PtrReceiveDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2PtrReceiveDelegate <NSObject>
@required
- (void)onPtrReceive:(Epos2Printer *)printerObj
code:(int)code status:(Epos2PrinterStatusInfo *)status
printJobId:(NSString *)printJobId;
@end
```

パラメーター

printerObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

code

処理の実行結果が入ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_CODE_SUCCESS	印刷成功
EPOS2_CODE_PRINTING	印刷中
EPOS2_CODE_ERR_AUTORECOVER	自動復帰エラー発生
EPOS2_CODE_ERR_COVER_OPEN	カバーオープンエラー発生
EPOS2_CODE_ERR_CUTTER	オートカッターエラー発生
EPOS2_CODE_ERR_MECHANICAL	メカニカルエラー発生
EPOS2_CODE_ERR_EMPTY	ロール紙エンド検出器に用紙なし
EPOS2_CODE_ERR_UNRECOVERABLE	復帰不可能エラー発生
EPOS2_CODE_ERR_FAILURE	要求ドキュメントの構文に誤りがある

エラーステータス	説明
EPOS2_CODE_ERR_NOT_FOUND	デバイス ID で指定したプリンターが存在しない
EPOS2_CODE_ERR_SYSTEM	印刷システムにエラーが発生
EPOS2_CODE_ERR_PORT	通信ポートに異常を検出
EPOS2_CODE_ERR_TIMEOUT	印刷タイムアウトが発生
EPOS2_CODE_ERR_JOB_NOT_FOUND	指定の印刷ジョブ ID が存在しない
EPOS2_CODE_ERR_SPOOLER	印刷キューに空き容量が無い
EPOS2_CODE_ERR_BATTERY_LOW	バッテリー残量が無い
EPOS2_CODE_ERR_TOO_MANY_REQUESTS	印刷データ送信数が許容量を超えた
EPOS2_CODE_ERR_REQUEST_ENTITY_TOO_LARGE	印刷ジョブのデータサイズが、プリンターの許容量を超えている

status

処理実行時のステータスが PrinterStatusInfo 型で入ります。

printJobId

- スプーラー機能が有効の場合、印刷ジョブ ID が入ります。
- スプーラー機能が無効の場合、nil が入ります。

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

interval

プリンターステータスを更新する間隔を指定します。

構文

Setter

`-(int) setInterval:(long) interval`

Getter

`-(long) getInterval`

設定値

プリンターステータスを更新する間隔 (msec 単位) を指定します。初期値は 3,000。

設定値	説明
1000 ~ 60000 の整数	プリンターステータスを更新する間隔 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	規定値 (3,000) を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。

Epos2LineDisplay クラス

initWithDisplayModel

Epos2LineDisplay クラスを初期化します。

構文

- (id) initWithDisplayModel:(int) displayModel;

パラメーター

displaySeries

対象のカスタマーディスプレイの機種名を指定します。

設定値	説明
EPOS2_DM_D110	DM-D110
EPOS2_DM_D30	DM-D30

戻り値

処理に成功した場合、初期化済の Epos2LineDisplay クラスインスタンスが返ります。

処理に失敗した場合、nil が返ります。処理に失敗する原因には、以下の要因があります。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが指定された。
EPOS2_ERR_MEMORY	メモリーを確保できなかった。

connect

カスタマーディスプレイとの通信を開始します。

構文

```
- (int) connect:(NSString *)target timeout:(long)timeout;
```

パラメーター

target

プリンターとカスタマーディスプレイの組み合わせによって、接続方法が異なります。

- TM インテリジェントプリンター +DM-D110

以下の構文で指定します。

<接続形式>:<識別子>[<デバイス ID>]

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス ホスト名 	"TCP:192.168.192.168[local_disp lay]"

- TM-DT シリーズ +DM-D30

以下の構文で指定します。

<接続形式>:<識別子>[<デバイス ID>]

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス ホスト名 	"TCP:192.168.192.168[local_disp lay]"

- TM-m30+DM-D30

以下の構文で指定します。

<接続形式>:<識別子>

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス ホスト名 	"TCP:192.168.192.168"
Bluetooth® デバイス	"BT"	BD アドレス	"BT:00:22:15:7D:70:9C"

- TM-T88VI+DM-D30/DM-D110

以下の構文で指定します。

<接続形式>:<識別子>

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	• IPv4 形式の IP アドレス • MAC アドレス • ホスト名	"TCP:192.168.192.168"
Bluetooth® デバイス	"BT"	BD アドレス	"BT:00:22:15:7D:70:9C"

timeout

プリンターと通信確立するための最大待ち時間 (msec 単位) を指定します。

設定値	説明
1000 ~ 300000 の整数	エラーを返すまでの最大待ち時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (15000) を指定

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	オープンに失敗した。
EPOS2_ERR_TIMEOUT	指定時間内にデバイスと通信できなかった。 プリンターがオフライン。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	既に通信されている状態で、再度通信開始しようとした。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_NOT_FOUND	デバイスが見つからない。
EPOS2_ERR_IN_USE	デバイスが使用中。
EPOS2_ERR_TYPE_INVALID	デバイスの種類が違う。

補足説明

- プリンター以外のデバイスは排他的にロックします。
- デバイス ID は、プリンターや周辺機器を TM インテリジェントプリンターへ登録する際に設定する任意の文字列です。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
- プロジェクトの設定によっては、アプリケーションがバックグラウンドに回ると Bluetooth® 通信が切断される場合があります。
- TM インテリジェントプリンターの場合、本 API は、TM インテリジェントプリンターと周辺機器の接続状態に関わらず、成功します。

disconnect

カスタマーディスプレイとの通信を終了します。

構文

```
- (int) disconnect;
```

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信されていない状態で、通信を終了しようとした。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_DISCONNECT	デバイスの切断に失敗した。

getstatus

現在のステータス情報を取得します。

構文

```
- (DisplayStatusInfo *)getstatus;
```

戻り値

現在の状態が DisplayStatusInfo 型として返ります。

オブジェクトにはプロパティーとして以下のステータス情報が格納されます。

状態	ステータス	説明
connection : 接続状態	EPOS2_TRUE	接続中
	EPOS2_FALSE	切断中

補足説明

- ステータス用オブジェクトは、本 API 実行時のステータスが入り、更新は行いません。
- コールバック関数内で本関数を実行した場合、nil が返ります。
- DM-D30 接続時に FALSE が返った場合は、TM プリンターとの接続が切れています。

sendData

命令バッファーを送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2LineDisplay クラスの [setReceiveEventDelegate](#) API で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

add 系 API (例 [addText](#)) でバッファリングしたデータを送信します。

構文

- (int) sendData;

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	制御コマンドがバッファリングされていない。 通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

clearCommandBuffer

命令バッファーをクリアします。

構文

```
- (int) clearCommandBuffer;
```

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。

addInitialize

カスタマーディスプレイを初期化します。初期化により以下の状態となります。

- 表示文字が全て消去されて全てのウィンドウが破棄されます。
- カーソルはデフォルト状態に戻り、カスタマーディスプレイ原点に移動します。
- 表示点滅、表示輝度がデフォルト状態に戻ります。

構文

- (int)addInitialize;

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addCreateWindow

ウィンドウ設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int)addCreateWindow:(long)number x:(long)x y:(long)y
width:(long)width height:(long)height scrollMode:(int)
scrollMode;
```

パラメーター

number

ウィンドウ番号を指定します。

設定値	説明
1 ~ 4 の整数	ウィンドウ番号

x

ウィンドウ原点のカスタマーディスプレイ上での x 座標を指定します。

設定値	説明
1 ~ 20 の整数	カスタマーディスプレイ上での x 座標

y

ウィンドウ原点のカスタマーディスプレイ上での y 座標を指定します。

設定値	説明
1 ~ 2 の整数	カスタマーディスプレイ上での y 座標

width

ウィンドウの幅を指定します。

設定値	説明
1 ~ 20 の整数	ウィンドウの幅

height

ウィンドウの高さを指定します。

設定値	説明
1 ~ 2 の整数	ウィンドウの高さ

scrollMode

ウィンドウのスクロールモードを指定します。

設定値	説明
EPOS2_SCROLL_OVERWRITE	表示位置が上段右端位置にあるとき文字表示すると、表示位置を下段左端に移動し、下段右端にあるとき文字表示すると表示位置を上段左端に移動します。
EPOS2_SCROLL_VERTICAL	表示位置が上段右端位置にあるとき文字表示すると、表示位置を下段左端に移動し、下段右端にあるとき文字表示するとすでに表示してある下段の表示文字を上段にスクロールし、下段の表示をクリアします。
EPOS2_SCROLL_HORIZONTAL	表示位置が右端位置にあるとき文字表示すると、カーソルのある行にすでに表示している全ての表示文字は1文字分左へスクロールし、新たな表示文字を右端に表示します
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値(Overwrite)を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

追加でウィンドウを設定する際は、設定済みのウィンドウとカスタマーディスプレイ上の設定範囲が重ならないように注意してください。

addDestroyWindow

定義済ウィンドウの破棄設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int)addDestroyWindow:(long)number;
```

パラメーター

number

破棄するウィンドウ番号を指定します。

設定値	説明
1 ~ 4 の整数	破棄するウィンドウ番号

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addSetCurrentWindow

カレントウィンドウの変更設定を命令バッファーに追加します。

指定ウィンドウをカレントウィンドウとし、カーソルをカレントウィンドウの原点一に移動させます。

構文

```
- (int)addSetCurrentWindow:(long)number;
```

パラメーター

number

移動先のウィンドウ番号を指定します。

設定値	説明
1 ~ 4 の整数	移動先のウィンドウ番号

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addClearCurrentWindow

カレントウィンドウ内の表示消去を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int)addClearCurrentWindow;
```

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addSetCursorPosition

カーソルの位置設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int)addSetCursorPosition:(long)x y:(long)y;
```

パラメーター

x

移動先となる x 座標を指定します。

設定値	説明
1 ~ 20 の整数	移動先となる x 座標

y

移動先となる y 座標を指定します。

設定値	説明
1 ~ 2 の整数	移動先となる y 座標

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

ウィンドウ内を移動したい場合は、 [addMoveCursorPosition](#) を使用してください。

addMoveCursorPosition

カレントウィンドウ内のカーソル位置設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int)addMoveCursorPosition:(int)position;
```

パラメーター

position

カレントウィンドウ内のカーソルの移動先を指定します。

設定値	説明
EPOS2_MOVE_TOP_LEFT	移動先を左上端に設定
EPOS2_MOVE_TOP_RIGHT	移動先を右上端に設定
EPOS2_MOVE_BOTTOM_LEFT	移動先を左下端に設定
EPOS2_MOVE_BOTTOM_RIGHT	移動先を右下端に設定
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（左上端）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addSetCursorType

カーソル表示設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addSetCursorType:(int) type;
```

パラメーター

type

カーソル表示方法を指定します。

設定値	説明
EPOS2_CURSOR_NONE	カーソル表示なし
EPOS2_CURSOR_UNDERLINE	アンダーライン
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（カーソル表示なし）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addText

文字列の表示を命令バッファーに追加します。

構文

- (int) addText:(NSString *)data;
- (int) addText:(NSString *)data lang:(int)lang;
- (int) addText:(NSString *)data x:(long)x y:(long)y;
- (int) addText:(NSString *)data x:(long)x y:(long)y lang:(int)lang;

パラメーター

data

表示文字列を指定します。

lang

文字列の表示言語を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LANG_EN (初期値)	英語
EPOS2_LANG_JA	日本語
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（英語）を選択

x

表示位置の x を指定します。

設定値	説明
1 ~ 20 の整数	表示位置の x 座標

y

表示位置の y を指定します。

設定値	説明
1 ~ 2 の整数	表示位置の y 座標

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 表示位置の座標指定を省略すると、addText 実行時のカーソル位置座標が指定されます。
- パラメーター x, y は、ラインディスプレイ画面の左上を原点とした座標を指定します。

addReverseText

反転文字列の表示を命令バッファーに追加します。

構文

- (int) addReverseText:(NSString *)data;
- (int) addReverseText:(NSString *)data lang:(int)lang;
- (int) addReverseText:(NSString *)data x:(long)x y:(long)y;
- (int) addReverseText: (NSString *)data x:(long)x y:(long)y lang:(int)lang;

パラメーター

data

表示文字列を指定します。

lang

文字列の表示言語を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LANG_EN (初期値)	英語
EPOS2_LANG_JA	日本語
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（英語）を選択

x

表示位置の x を指定します。

設定値	説明
1 ~ 20 の整数	表示位置の x 座標

y

表示位置の y を指定します。

設定値	説明
1 ~ 2 の整数	表示位置の y 座標

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- 表示位置の座標指定を省略すると、[addText](#) 実行時のカーソル位置座標が指定されます。
- パラメーター x, y は、ラインディスプレイ画面の左上を原点とした座標を指定します。

addMarqueeText

マーキー表示を命令バッファーに追加します。

マーキー表示は、表示ウィンドウのスクロールモード設定とは無関係に、1行の水平スクロールモードで表示されます。

構文

```
- (int)addMarqueeText:(NSString *)data format:(int)format
unitWait:(long)unitWait repeatWait:(long)repeatWait
repeatCount:(long)repeatCount lang:(int)lang;
```

パラメーター

data

表示文字列を指定します。

format

文字列の表示方法を指定します。

設定値	説明
EPOS2_MARQUEE_WALK	ウィンドウ右端から文字列を表示する
EPOS2_MARQUEE_PLACE	ウィンドウ左端から文字列を表示する
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (Walk) を選択

unitWait

1 文字ごとの表示間隔 (msec 単位) を指定します。

設定値	説明
1 ~ 2000 の整数	1 文字ごとの表示間隔 (msec 単位)

repeatWait

文字列表示の繰り返し間隔 (msec 単位) を指定します。

設定値	説明
1 ~ 2000 の整数	文字列表示の繰り返し間隔 (msec 単位)

repeatCount

文字列表示の繰り返し回数を指定します。

設定値	説明
1 ~ 127 の整数	文字列表示の繰り返し回数
0	無制限に繰り返す

lang

文字列の表示言語を指定します。

設定値	説明
EPOS2_LANG_EN	英語
EPOS2_LANG_JA	日本語
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（英語）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- TM-m30+DM-D30 の場合、repeatCount には 0 しか指定できません。
- DM-D30 を制御する場合、搭載されている LCD の特性により、文字表示切り替え間隔が短いとマーキー表示が乱れるおそれがあります。
unitWait と repeatWait には、文字表示切り替え間隔が 600 msec 以上となる値の設定を推奨します。

addSetBlink

画面の点滅設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int)addSetBlink:(long)interval;
```

パラメーター

interval

点滅間隔 (msec 単位) を指定します。設定値は 50 msec 単位で切り上げられます。

設定値	説明
1 ~ 12700 の整数	点滅間隔 (msec 単位)
0	点灯状態になる
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（点灯状態）を指定

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addSetBrightness

カスタマーディスプレイの輝度設定を命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int)addSetBrightness:(int)brightness;
```

パラメーター

brightness

カスタマーディスプレイの輝度値を指定します。

設定値	説明
EPOS2_BRIGHTNESS_20	カスタマーディスプレイの輝度値を 20% に設定する
EPOS2_BRIGHTNESS_40	カスタマーディスプレイの輝度値を 40% に設定する
EPOS2_BRIGHTNESS_60	カスタマーディスプレイの輝度値を 60% に設定する
EPOS2_BRIGHTNESS_100	カスタマーディスプレイの輝度値を 100% に設定する
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値（輝度値 100%）を選択

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

addShowClock

時刻の表示を命令バッファーに追加します。

時刻表示を行うと、表示中の文字列は全て削除されます。また、表示中の他の命令を送信すると、時刻表示を終了します。

構文

- (int)addShowClock;

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

TM-m30+DM-D30 の場合、使用できません。

addCommand

ESC/POS コマンドを命令バッファーに追加します。

構文

```
- (int) addCommand:(NSData *)data;
```

パラメーター

data

ESC/POS コマンドを指定します。

バイナリーデータを指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- カスタマーディスプレイの ESC/POS コマンド情報の入手方法はエプソンのホームページをご覧ください。
<http://partner.epson.jp/support/details/contents038/>
- Epson ePOS SDK は本 API で送信するコマンドをチェックしません。
Epson ePOS SDK の動作を妨げるようなコマンドを送信した場合、他の API の動作やステータスの値が不正になることがあります。
ESC/POS コマンドやカスタマーディスプレイの仕様を十分に理解した上で使用してください。

setReceiveEventDelegate

応答ドキュメント受信イベントのコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void)
setReceiveEventDelegate:(id<Epos2DispReceiveDelegate>)delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2DispReceiveDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2DispReceiveDelegate <NSObject>
@required
- (void)onDispReceive:(Epos2LineDisplay *)displayObj
code:(int)code;
@end
```

パラメーター

displayObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

code

処理の実行結果が入ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	表示が完了した。
EPOS2_CODE_ERR_NOT_FOUND	デバイスが見つからない
EPOS2_CODE_ERR_INVALID_WINDOW	未登録のウィンドウが指定された
EPOS2_CODE_ERR_PORT	デバイスとの内部通信エラーが発生した
EPOS2_CODE_ERR_TIMEOUT	デバイスとの通信でタイムアウトエラーが発生した
EPOS2_CODE_ERR_TOO_MANY_REQUESTS	ディスプレイ表示データ送信数が許容量を超えた
EPOS2_CODE_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した

補足説明

□ 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。

- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

Epos2Keyboard クラス

init

Epos2Keyboard クラスを初期化します。

構文

- (id) init;

戻り値

処理に成功した場合、初期化済の Epos2Keyboard クラスインスタンスが返ります。

処理に失敗した場合、nil が返ります。処理に失敗する原因には、以下の要因があります。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_MEMORY	メモリーを確保できなかった。

connect

キーボードとの通信を開始します。

構文

```
- (int) connect:(NSString *)target timeout:(long)timeout;
```

パラメーター

target

接続形式と、接続先を指定します。

以下の構文の文字列で指定します。

<接続形式>:<識別子>[<デバイス ID>]

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス ホスト名 	"TCP:192.168.192.168[local_key board]"

timeout

プリンターと通信確立するための最大待ち時間（msec 単位）を指定します。

設定値	説明
1000 ~ 300000 の整数	エラーを返すまでの最大待ち時間（msec 単位）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (15000) を指定

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された
EPOS2_ERR_CONNECT	オープンに失敗した。
EPOS2_ERR_TIMEOUT	指定時間内にデバイスと通信できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	既に通信されている状態で、再度通信開始しようとしました。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった
EPOS2_ERR_NOT_FOUND	デバイスが見つからない。
EPOS2_ERR_IN_USE	デバイスが使用中

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_TYPE_INVALID	デバイスの種類が違う

補足説明

- デバイス ID は、プリンターや周辺機器を TM インテリジェントプリンターへ登録する際に設定する任意の文字列です。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
- TM インテリジェントプリンターの場合、本 API は、TM インテリジェントプリンターと周辺機器の接続状態に関わらず、成功します。

disconnect

キーボードとの通信を終了します。

構文

- (int) disconnect;

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信されていない状態で、通信を終了しようとした。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_DISCONNECT	デバイスの切断に失敗した。

getStatus

現在のステータス情報を取得します。

構文

```
- (KeyboardStatusInfo *)getStatus;
```

戻り値

現在の状態が KeyboardStatusInfo 型として返ります。

オブジェクトにはプロパティーとして以下のステータス情報が格納されます。

状態	ステータス	説明
connection : 接続状態	EPOS2_TRUE	接続中
	EPOS2_FALSE	切断中

補足説明

- ステータス用オブジェクトは、本 API 実行時のステータスが入り、更新は行いません。
- コールバック関数内で本関数を実行した場合、nil が返ります。

setPrefix

文字列入力の接頭辞の一覧を設定します。

構文

```
- (int)setPrefix:(NSData *)prefixes;
```

パラメーター

prefixes

キーコードの配列を指定します。

キーコードは [Key Code一覧](#)を参照します。

nil を指定した場合、setPrefix を無効にします。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	通信できなかった。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

nil または "" (空文字) を入力した場合、設定が解除されます。

getPrefix

現在設定中の接頭辞の一覧を取得します。

構文

```
- (NSData *)getPrefix;
```

戻り値

setPrefix で設定中の接頭辞の一覧が配列で返ります。

setKeyPressEventDelegate

キー押下イベントのコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void)  
setKeyPressEventDelegate:(id<Epos2KbdKeyPressDelegate>)d  
elegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2KbdKeyPressDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2KbdKeyPressDelegate <NSObject>  
@required  
- (void)onKbdKeyPress:(Epos2Keyboard *)keyboardObj  
keyCode:(int)keyCode ascii:(NSString *)ascii;  
@end
```

パラメーター

keyboardObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

keyCode

押下されたキーコードが入ります。

ascii

押下されたキーコードに対応する文字が入ります。キーコードに対応する文字がない場合、""（空文字）が入ります。

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

setReadStringEventDelegate

`setPrefix` で指定した文字列群のいずれかで始まり、Enter キーを検出するまでの間に検出した文字列入力を文字列として受け取るコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void)  
setReadStringEventDelegate:(id<Epos2KbdReadStringDelegate  
>)delegate;
```

パラメーター

delegate

`Epos2KbdReadStringDelegate` プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2KbdReadStringDelegate <NSObject>  
@required  
- (void)onKbdReadString:(Epos2Keyboard *)keyboardObj  
readString:(NSString *)readString prefix:(int)prefix;  
@end
```

パラメーター

keyboardObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

readString

検出した文字列が入ります。

prefix

文字列の開始と判断したキーコードが入ります。

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、`delegate` に `nil` を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

Epos2BarcodeScanner クラス

init

Epos2BarcodeScanner クラスを初期化します。

構文

- (id) init;

戻り値

処理に成功した場合、初期化済の Epos2BarcodeScanner クラスインスタンスが返ります。

処理に失敗した場合、nil が返ります。処理に失敗する原因には、以下の要因があります。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_MEMORY	メモリーを確保できなかった。

connect

バーコードスキャナーとの通信を開始します。

構文

```
- (int) connect:(NSString *)target timeout:(long)timeout;
```

パラメーター

target

接続形式と、接続先を指定します。

以下の構文の文字列で指定します。

<接続形式>:<識別子>[<デバイス ID>]

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス ホスト名 	"TCP:192.168.192.168[local_scanner]"

timeout

プリンターと通信確立するための最大待ち時間（msec 単位）を指定します。

設定値	説明
1000 ~ 300000 の整数	エラーを返すまでの最大待ち時間（msec 単位）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (15000) を指定

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	オープンに失敗した。
EPOS2_ERR_TIMEOUT	指定時間内にデバイスと通信できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	既に通信されている状態で、再度通信開始しようとしました。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_NOT_FOUND	デバイスが見つからない。
EPOS2_ERR_IN_USE	デバイスが使用中。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_TYPE_INVALID	デバイスの種類が違う。

補足説明

- デバイス ID は、プリンターや周辺機器を TM インテリジェントプリンターへ登録する際に設定する任意の文字列です。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
- TM インテリジェントプリンターの場合、本 API は、TM インテリジェントプリンターと周辺機器の接続状態に関わらず、成功します。

disconnect

バーコードスキャナーとの通信を終了します。

構文

- (int) disconnect;

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信されていない状態で、通信を終了しようとした。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_DISCONNECT	デバイスの切断に失敗した。

getStatus

現在のステータス情報を取得します。

構文

```
- (ScannerStatusInfo *)getStatus;
```

戻り値

現在の状態が ScannerStatusInfo 型として返ります。

オブジェクトにはプロパティーとして以下のステータス情報が格納されます。

状態	ステータス	説明
connection : 接続状態	EPOS2_TRUE	接続中
	EPOS2_FALSE	切断中

補足説明

- ステータス用オブジェクトは、本 API 実行時のステータスが入り、更新は行いません。
- コールバック関数内で本関数を実行した場合、nil が返ります。

setScanEventDelegate

バーコードデータ入力イベントのコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void) setScanEventDelegate:  
    (id<Epos2ScanDelegate>)delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2ScanDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2ScanDelegate <NSObject>  
@required  
- (void) onScanData:(Epos2BarcodeScanner *)scannerObj  
scanData:(NSString *)scanData;  
@end
```

パラメーター

scannerObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

scanData

検出した文字列が入ります。

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

Epos2SimpleSerial クラス

init

Epos2SimpleSerial クラスを初期化します。

構文

- (id) init;

戻り値

処理に成功した場合、初期化済の Epos2SimpleSerial クラスインスタンスが返ります。

処理に失敗した場合、nil が返ります。処理に失敗する原因には、以下の要因があります。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_MEMORY	メモリーを確保できなかった。

connect

シリアル通信デバイスとの通信を開始します。

構文

```
- (int) connect:(NSString *)target timeout:(long)timeout;
```

パラメーター

target

接続形式と、接続先を指定します。

以下の構文の文字列で指定します。

<接続形式>:<識別子>[<デバイス ID>]

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス ホスト名 	"TCP:192.168.192.168[local_serial]"

timeout

プリンターと通信確立するための最大待ち時間（msec 単位）を指定します。

設定値	説明
1000 ~ 300000 の整数	エラーを返すまでの最大待ち時間（msec 単位）
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (15000) を指定

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	オープンに失敗した。
EPOS2_ERR_TIMEOUT	指定時間内にデバイスと通信できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	既に通信されている状態で、再度通信開始しようとしました。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_NOT_FOUND	デバイスが見つからない。
EPOS2_ERR_IN_USE	デバイスが使用中。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_TYPE_INVALID	デバイスの種類が違う。

補足説明

- デバイス ID は、プリンターや周辺機器を TM インテリジェントプリンターへ登録する際に設定する任意の文字列です。詳細は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
- TM インテリジェントプリンターの場合、本 API は、TM インテリジェントプリンターと周辺機器の接続状態に関わらず、成功します。

disconnect

シリアル通信デバイスとの通信を終了します。

構文

- (int) disconnect;

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	既に通信されている状態で、再度通信開始しようとした。
EPOS2_ERR_MEMORY	必要なメモリーを確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_DISCONNECT	デバイスの切断に失敗した。

getStatus

現在のステータス情報を取得します。

構文

```
- (SerialStatusInfo *)getStatus;
```

戻り値

現在の状態が SerialStatusInfo 型として返ります。

オブジェクトにはプロパティーとして以下のステータス情報が格納されます。

状態	ステータス	説明
connection : 接続状態	EPOS2_TRUE	接続中
	EPOS2_FALSE	切断中

補足説明

- ステータス用オブジェクトは、本 API 実行時のステータスが入り、更新は行いません。
- コールバック関数内で本関数を実行した場合、nil が返ります。

sendCommand

任意コマンドを送信します。

本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。

本 API によるデバイスの処理結果は、Epos2SimpleSerial クラスの [setReceiveEventDelegate](#) API で設定したコールバックメソッドへ通知されます。

構文

- (int)sendCommand:(NSData *)data;

パラメーター

data

コマンドを指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

setReceiveEventDelegate

デバイスからの受信イベントのコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void)  
setReceiveEventDelegate:(id<Epos2SimpleSerialReceiveDele-  
gate>)delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2SimpleSerialReceiveDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2SimpleSerialReceiveDelegate <NSObject>  
@required  
- (void)onSimpleSerialReceive:(Epos2SimpleSerial *)serialObj  
data:(NSData *)data;  
@end
```

パラメーター

serialObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

data

受信データを受け取ります。

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

Epos2CommBox クラス

init

Epos2CommBox クラスを初期化します。

構文

- (id) init;

戻り値

処理に成功した場合、初期化済の Epos2CommBox クラスインスタンスが返ります。

処理に失敗した場合、nil が返ります。処理に失敗する原因には、以下の要因があります。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_MEMORY	メモリーを確保できなかった。

connect

コミュニケーションボックスとの通信を開始します。

構文

```
- (int)connect: (NSString *)target timeout:(long)timeout
myId:(NSString *)myId;
```

パラメーター

target

接続形式と、接続先を指定します。

以下の構文の文字列で指定します。

<接続形式>:<識別子> [<ボックス ID>]

デバイス	接続形式	識別子	例
Wi-Fi/ Ethernet デバ イス	"TCP"	<ul style="list-style-type: none"> IPv4 形式の IP アドレス MAC アドレス ホスト名 	"TCP:192.168.192.168[Box1]"

timeout

プリンターと通信確立するための最大待ち時間 (msec 単位) を指定します。

設定値	説明
1000 ~ 300000 の整数	エラーを返すまでの最大待ち時間 (msec 単位)
EPOS2_PARAM_DEFAULT	既定値 (15000) を指定

myId

コミュニケーションボックス内で自身を識別するためのメンバー ID を指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	デバイスをオープンできなかった。
EPOS2_ERR_TIMEOUT	指定時間内にデバイスと通信できなかった。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ALREADY_OPENED	既にコミュニケーションボックスがオープンし ている。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_ALREADY_USED	指定したメンバー ID は既に使用されている。
EPOS2_ERR_BOX_COUNT_OVER	コミュニケーションボックスを作成可能な最大数を超えている。
EPOS2_ERR_BOX_CLIENT_OVER	コミュニケーションボックスに所属可能な最大数を超えている。

補足説明

TM インテリジェントプリンターの場合、本 API は、TM インテリジェントプリンターと周辺機器の接続状態に関わらず、成功します。

disconnect

コミュニケーションボックスとの通信を終了します。

構文

```
- (int)disconnect;
```

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	通信できなかった。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。

getstatus

現在のステータス情報を取得します。

構文

```
- (CommBoxStatusInfo *)getstatus;
```

戻り値

現在の状態が CommBoxStatusInfo 型として返ります。

オブジェクトにはプロパティーとして以下のステータス情報が格納されます。

状態	ステータス	説明
connection : 接続状態	EPOS2_TRUE	接続中
	EPOS2_FALSE	切断中

補足説明

- ステータス用オブジェクトは、本 API 実行時のステータスが入り、更新は行いません。
- コールバック関数内で本関数を実行した場合、nil が返ります。

getCommHistory

コミュニケーションボックスの送信履歴を取得します。
 本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。
 本 API によるデバイスの処理結果は、コールバックメソッドへ通知されます。

構文

```
- (int)getCommHistory:(id<Epos2GetCommHisotoryDelegate>)
delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2GetCommHistoryDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_CONNECT	通信できなかった。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2GetCommHistoryDelegate <NSObject>
@required
- (void)onGetCommHistory:(Epos2CommBox *)commBoxObj
code:(int)code historyList:(NSArray *)historyList;
@end
```

パラメーター

commBoxObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

code

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	処理に成功した。
EPOS2_CODE_FAILURE	その他のエラーが発生した。

historyList

コミュニケーションボックスの通信履歴が入ります。

(NSDictionary *)historyList[index]	
キー	説明
(NSString *)senderId	送信元のメンバー ID が入ります。 connect メソッド実行時に、メンバー ID の指定がない場合、” ”（空文字）がセットされます。
(NSString *)receiverId	送信先のメンバー ID が入ります。 コミュニケーションボックス内のすべてのメンバーに送信した場合、” ”（空文字）がセットされます。
(NSString *)message	受信したデータがセットされます。

sendMessage

メッセージをコミュニケーションボックスに送信します。
 本 API の戻り値は、デバイスに対するデータ送信の結果です。
 本 API によるデバイスの処理結果は、コールバックメソッドへ通知されます。

構文

```
- (int)sendMessage:(NSString *)message targetId:(NSString *)
*)targetId
delegate:(id<Epos2CommBoxSendMessageDelegate>)delegate;
```

パラメーター

message

コミュニケーションボックスに送信するデータを指定します。

targetId

送信先のメンバー ID を指定します。

nil または空文字を指定した場合、送信者を除くコミュニケーションボックス内の全てのメンバーに送信します。

delegate

Epos2CommBoxSendMessageDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	通信が開始されていない状態で、本 API が呼び出された。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2CommBoxSendMessageDelegate <NSObject>
@required
- (void) onCommBoxSendMessage:(Epos2CommBox
*)commBoxObj code:(int)code count:(long)count;
@end
```

パラメーター

commBoxObject

コールバック元のオブジェクトが入ります。

code

エラーステータス	説明
EPOS2_CODE_SUCCESS	処理に成功した。
EPOS2_CODE_ERR_NOT_FOUND	指定したメンバー ID が見つからない。
EPOS2_CODE_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

count

メッセージの送信を試みたクライアント数が入ります。

setReceiveEventDelegate

コミュニケーションボックスのメッセージ受信イベントのコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void)
setReceiveEventDelegate:(id<Epos2CommBoxReceiveDelegate
>)delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2CommBoxReceiveDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2CommBoxReceiveDelegate <NSObject>
@required
- (void)onCommBoxReceive:(Epos2CommBox
*)commBoxObj senderId:(NSString *)senderId
receiverId:(NSString *)receiverId message:(NSString
*)message;
@end;
```

パラメーター

commBoxObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

senderId

送信元のメンバー ID が入ります。

connect メソッド実行時に、メンバー ID の指定がない場合、""（空文字）がセットされます。

receiverId

送信先のメンバー ID が入ります。

コミュニケーションボックス内のすべてのメンバーに送信した場合、""（空文字）がセットされます。

message

受信したメッセージが入ります。

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。

クラス共通API

getAdmin

TM-DT ソフトウェア / TM-i フームウェアに設定された管理者名を取得します。

構文

```
- (NSString *)getAdmin;
```

戻り値

管理者名の文字列。

補足説明

- 設定されていない場合、TM プリンターの場合は "" (空文字) が返ります。
- 管理者名は EPSON TMNet WebConfig で設定します。

getLocation

TM-DT ソフトウェア /TM-i フームウェアに設定された設置場所情報を取得します。

構文

```
- (NSString *)getLocation;
```

戻り値

設置場所の文字列。

補足説明

- 設定されていない場合、TM プリンターの場合は "" (空文字) が返ります。
- 設置場所情報は EPSON TMNet WebConfig で設定します。

setConnectionEventDelegate

再接続処理が開始されたことを受け取るコールバックメソッドを登録します。

構文

```
- (void)
setConnectionEventDelegate:(id<Epos2ConnectionDelegate>)
delegate;
```

パラメーター

delegate

Epos2ConnectionDelegate プロトコルに準拠しているオブジェクトを指定します。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2ConnectionDelegate <NSObject>
@required
- (void)onConnection:(id)deviceObj
eventType:(int)eventType;
@end
```

パラメーター

deviceObj

コールバック元のオブジェクトが入ります。

eventType

発生したイベントの種類が入ります。

イベントの種類	説明
EPOS2_EVENT_RECONNECTING	再接続開始イベント
EPOS2_EVENT_RECONNECT	再接続完了イベント
EPOS2_EVENT_DISCONNECT	切断イベント

補足説明

- 本 API を複数回実施した場合は、後に指定されたコールバックメソッドで上書きされます。
- 本 API 実施時、delegate に nil を指定した場合は、コールバックメソッドの登録を解除します。
- 切断発生後、切断イベントが発生するまで約 30 秒かかります。
- EPOS2_EVENT_DISCONNECT は、以下の場合に発生します。
disconnect の実行時
EPOS2_EVENT_RECONNECTING 発生後の接続処理失敗時

- EPOS2_EVENT_DISCONNECT 発生時、disconnect の呼び出しは不要です。
disconnect を呼び出した場合、ERR_ILLEGAL が戻り値として通知されます。

Epos2Discovery クラス

start

指定されたデバイス種別の検索を開始します。
検出されたデバイスは、デバイスごとにコールバックで通知されます。

構文

```
+ (int) start:(Epos2FilterOption *)filterOption  
delegate:(id<Epos2DiscoveryDelegate>)delegate;
```

パラメーター

filterOption

検索結果をフィルタリングする場合、Epos2FilterOption 型にフィルタオプションを設定し、パラメーターに指定します。nil を指定した場合、既定値の設定で検索されます。

Epos2FilterOption 型は以下の情報が格納されます。

portType

検索対象のポートを選択します。

設定値	説明
EPOS2_PORTTYPE_ALL (既定値)	TCP、Bluetooth® 経由で接続可能な全てのデバイスを検索します。
EPOS2_PORTTYPE_TCP	ネットワークに接続されたデバイスを検索します。
EPOS2_PORTTYPE_BLUETOOTH	Bluetooth® 接続可能なデバイスを検索します。

broadcast

TCP 検索する際の Broadcast Address を文字列で指定します。

設定値	説明
"255.255.255.255" (既定値)	-

deviceModel

検索するデバイスマodelを指定します。

設定値	説明
EPOS2_MODEL_ALL	全てのモデルを検索します。

deviceType

検索するデバイスの種類を指定します。

設定値	説明
EPOS2_TYPE_ALL (既定値)	全てのデバイスを検索します。
EPOS2_TYPE_PRINTER	プリンターを検索します。
EPOS2_TYPE_DISPLAY	カスタマーディスプレイを検索します。

設定値	説明
EPOS2_TYPE_KEYBOARD	キーボードを検索します。
EPOS2_TYPE_SCANNER	バーコードスキャナーを検索します。
EPOS2_TYPE_SERIAL	シリアル通信デバイスを検索します。

delegate

Epos2DiscoveryDelegate プロトコルに準拠したオブジェクトを指定します。

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	既に検索している状態で、再度検索を開始しようとした。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理が実行できなかった。

プロトコル宣言

```
@protocol Epos2DiscoveryDelegate <NSObject>
@required
- (void)onDiscovery:(Epos2DeviceInfo *)deviceInfo;
@end
```

パラメーター

deviceInfo

発見したデバイスの デバイス情報が Epos2DeviceInfo 型として格納されます。

以下のデバイス情報が格納されます。

□ deviceType

デバイスの種類が格納されます。

デバイスの種類	ステータス
プリンターの場合	EPOS2_TYPE_PRINTER
カスタマーディスプレイの場合	EPOS2_TYPE_DISPLAY
キーボードの場合	EPOS2_TYPE_KEYBOARD
バーコードスキャナーの場合	EPOS2_TYPE_SCANNER
シリアル通信デバイスの場合	EPOS2_TYPE_SERIAL

- target
connectAPI で指定可能なデバイスの接続先が文字列で格納されます。
例)
"TCP:192.168.192.168"
"BT:00:22:15:7D:70:9C"
"TCP:192.168.192.168[local_printer]"
"TCP:192.168.192.168[local_display]"
"TCP:12:34:56:78:56:78"
- deviceName
デバイスに設定されている名前が格納されます。
取得できない場合、""(空文字) が格納されます。
例)
プリンターの場合："TM-T88V"
- ipAddress
IP アドレスが格納されます。
取得できない場合、""(空文字) が格納されます。
例)
TCP の場合："192.168.192.168"
BT の場合：""(空文字)
- macAddress
MAC アドレスが格納されます。
取得できない場合、""(空文字) が格納されます。
例)
TCP の場合："12:34:56:78:56:78"
BT の場合：""(空文字)
- bdAddress
BD アドレスが格納されます。
取得できない場合、""(空文字) が格納されます。
例)
TCP の場合：""(空文字)
BT の場合："12:34:56:78:56:78"

補足説明

- 本 API の検索結果は、検出したデバイスごとにコールバック関数へ通知します。
オープン済みデバイスも通知されます。ただし、すでにオープン済みの Bluetooth® デバイスは通知されません。
- TCP デバイスの検索において、同一 IP アドレスのデバイスが複数存在する場合、デバイス情報は一つのデバイスとして扱われます。また、そのデバイス情報の一貫性は保証しません。

stop

検索を終了します。

構文

```
+ (int) stop;
```

戻り値

エラーステータス	説明
EPOS2_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	検索していない状態で、検索終了を実行した。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

検索開始をした場合は、必ず検索終了をしなければなりません。

Epos2Log クラス

setLogSettings

ログ出力機能を設定します。

構文

```
+ (int) setLogSettings:(int) period output:(int) output
    ipAddress:(NSString *)ipAddress port:(int)port
    logSize:(int)logSize logLevel:(int)logLevel;
```

パラメーター

period

ログ出力機能の設定が一時的か / 恒久的かを指定します。

一時的の場合は設定ファイルを作成せず、恒久的な場合に設定ファイルを作成します。

設定値	説明
EPOS2_PERIOD_TEMPORARY	設定を一時的に反映する
EPOS2_PERIOD_PERMANENT	設定を恒久的に反映する

output

ログ出力機能の有効 / 無効、ログの出力先を指定します。

設定値	説明
EPOS2_OUTPUT_DISABLE	ログ出力機能を無効
EPOS2_OUTPUT_STORAGE	端末ストレージに出力
EPOS2_OUTPUT_TCP	TCP で出力

ipAddress

TCP 通信用の IP アドレスを指定します。

IPv4 形式の IP アドレスを指定します。

ログ出力機能を無効にする場合と、ログ出力先を端末ストレージにする場合は nil でもよいです。

port

TCP 通信用のポート番号を指定します。

ログ出力機能を無効にする場合と、ログ出力先を端末ストレージにする場合も、範囲内の任意の値を指定します。

設定値	説明
0 ~ 65535 の整数	ポート番号

logSize

ストレージへ保存するログの最大容量を指定します。

ログ出力機能を無効にする場合と、ログ出力先を TCP にする場合も、範囲内の任意の値を指定します。

設定値	説明
1 ~ 50 の整数	保存するログの最大容量 (MB 単位)

logLevel

ログの出力レベルを指定します。

設定値	説明
EPOS2_LOGLEVEL_LOW	低レベル

戻り値

エラーステータス。

処理に成功した場合、EPOS2_SUCCESS が返ります。

処理に失敗した場合、以下の値が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

output に EPOS2_OUTPUT_STORAGE を指定する場合、iTunes のファイル共有を可能にしてください。以下の手順で設定します。

1. アプリケーションの info.plist に "UIFileSharingEnabled" を追加します。自動で "Application supports iTunes file sharing" に変更されます。
2. "Application supports iTunes file sharing" の Value を、"YES" に設定します。

SdkVersion

Epson ePOS SDK のバージョンを取得します。

構文

Getter

`- (NSString) getSdkVersion`

補足説明

使用している SDK のバージョンが文字列で取得できます。

例：“Ver.2.0.0”

Epos2BluetoothConnection クラス

connectDevice

ペアリング接続可能な Bluetooth® デバイスを表示し、選択したデバイスとペアリング接続を行います。
新規でペアリング接続したプリンターの Bluetooth® アドレスを取得します。

構文

- (int) connectDevice:(NSMutableString *) macAddress;

パラメーター

macAddress

ペアリング接続したプリンターの BD アドレスが返ります

フォーマット	説明
BT:00:11:22:33:44:55	" ":" コロン区切り

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_BT_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_BT_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_BT_ERR_UNSUPPORTED	サポートバージョン外の OS で関数を実行した。
EPOS2_BT_ERR_CANCEL	ペアリング接続のキャンセルが行われた。
EPOS2_BT_ERR_ALREADY_CONNECT	既にペアリング接続済みのプリンターが選択された。
EPOS2_BT_ERR_ILLEGAL_DEVICE	不正なデバイスが選択された。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

- [connect](#) API を呼び出す前に使用してください。
- 本 API は iOS7.0 以上のみサポートしています。
- arm64 アーキテクチャ搭載の iOS 端末で使用する際は、アプリケーションをビルドする際のアーキテクチャに arm64 を追加してください。
- Bluetooth® 通信で接続する場合には、ペアリング接続してからアプリケーションソフトを実行するか、connectDevice API を使用してペアリング接続を行ってください。

disconnectDevice

ペアリング接続状態の Bluetooth® デバイスとの接続を切断します。

構文

```
- (int) disconnectDevice:(NSString *) macAddress;
```

パラメーター

macAddress

ペアリング切断したいプリンターの BD アドレスを指定します。

フォーマット	説明
BT: 00:11:22:33:44:55	"%;" コロン区切り
BT: 00-11-22-33-44-55	"-" ハイフン区切り
BT: 001122334455	区切りなし

戻り値

API の実行結果が返ります。

エラーステータス	説明
EPOS2_BT_SUCCESS	関数を実行した。
EPOS2_BT_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。
EPOS2_BT_ERR_CONNECT	通信エラーが発生した。
EPOS2_BT_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかった。
EPOS2_BT_ERR_ILLEGAL	不適切な方法で使用された。
EPOS2_BT_ERR_UNSUPPORTED	サポートしていないプリンターで使用された。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。

補足説明

[disconnect](#) API を呼び出した後に使用してください。

EasySelect クラス

parseNFC

NFC タグのデータを解析します。

構文

```
- (NSArray<EposEasySelectInfo *> *)  
parseNFC:(NFCNDEFMessage *)message  
timeout:(long)timeout
```

パラメーター

message

取得した NFC タグの NDEF message を指定します。

解析可能 NDEF message	説明
ネットワーク用データ	ネットワーク用（独自定義データ）
BTSSP	Bluetooth® 用（NFC 標準規格）

timeout

NFC タグの解析待ち時間を指定します。

設定値	説明
0 ~ 60000 の整数	解析待ち時間（msec 単位）
PARSE_NFC_TIMEOUT_DEFAULT	規定値（500）を指定

戻り値

NFC タグの解析結果は、NSArray に格納されて EasySelectInfo クラスのメンバー変数に返ります。

解析に失敗した場合、nil が返ります。

補足説明

- 本 API を使用するには、CoreNFC.framework をインポートする必要があります。
- EasySelectInfo クラスのメンバー変数のうち、message から取得できなかった情報は、nil または ""（空文字）になります。
- 解析データの一部が nil または ""（空文字）になる場合は、以下を参照してください。

現象	原因	対処方法
EasySelectInfo.printerName が nil または ""（空文字）	NFC タグにプリンターネームの情報がない。	NFC タグにプリンターネームの情報を定義する。

現象	原因	対処方法
EasySelectInfo.macAddress が "" (空文字)	<ul style="list-style-type: none">プリンターとの通信が切れている。プリンターのMACアドレス応答待ちタイムアウト。	プリンターの電源と接続の状態に問題がないか、確認する。

parseQR

QR コードのデータを解析します。

構文

- (EposEasySelectInfo*) parseQR:(NSString *)data

パラメーター

data

iOS の API を使って読み取った QR コードのデータを指定します。

戻り値

QR コードの解析結果が EasySelectInfo クラスのメンバー変数に返ります。

解析に失敗した場合、nil が返ります。

補足説明

QR コードには、[createQR](#) API で作成したものを印刷して使用してください。

QR コードをステータスシートに印刷する製品もあります。詳細は各製品の詳細取扱説明書を参照してください。

createQR

[parseQR](#) で解析可能な QR コード用の印刷データを作成します。

構文

```
- (NSString *) createQR:(NSString *)printerName
DeviceType:(int)deviceType
MacAddress(NSString *):macAddress
```

パラメーター

printerName

プリンターナー名を指定します。

deviceType

プリンターの種類を指定します。

設定値	説明
EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_TCP	ネットワークプリンター（有線・無線）
EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_BLUETOOTH	Bluetooth® 対応プリンター

macAddress

MAC アドレス（ネットワークプリンター）または BD アドレス（Bluetooth® 対応プリンター）を指定します。アドレスの指定方法は以下の通りです。

フォーマット	説明
00:11:22:33:44:55	“：“コロン区切り
00-11-22-33-44-55	“-”ハイフン区切り
001122334455	区切りなし

戻り値

QR コードの印刷用データが返されます。このデータを [addSymbol](#) に指定することで QR コードを印刷できます。

印刷用データの作成に失敗した場合、nil が返されます。

補足説明

設定するプリンターナー名、MAC アドレス、BD アドレスはステータスシートを印刷すれば確認できます。
ステータスシートの印刷方法は各製品の詳細取扱説明書を参照してください。

parseBeacon

iBeacon の情報からプリンター情報を解析します。

構文

```
- (EposEasySelectInfo *) parseBeacon:(CLBeacon *)beacon
```

パラメーター

beacon

iOS の CLLocationManager で取得した iBeacon データを指定します。

戻り値

iBeacon データの解析結果が EasySelectInfo クラスのメンバー変数に返ります。

項目	説明
deviceType	EASY_SELECT_DEVTYPE_TCP 固定。
printerName	プリンターナン。解析失敗の場合は、空文字を返します。
macAddress	nil 固定。
target	IPv4 形式の IP アドレスを返します。IPv4 形式以外の IP アドレス、iOS デバイスがネットワークに接続していない場合は、空文字を返します。

補足説明

- 同一ネットワークに接続した iOS デバイスとプリンターに使用してください。
接続ネットワークが異なる場合、EasySelectInfo クラスの情報を利用してプリンターを選択できません。
- 本 API を使用するには、CoreLocation.framework をインポートする必要があります。

EasySelectInfo クラス

deviceType

プリンターの種類が格納されます。

格納されるデータ	説明
EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_TCP	ネットワークプリンター
EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_BLUETOOTH	Bluetooth® 対応プリンター

構文

```
int deviceType;
```

printerName

プリンターナー名が格納されます。

構文

```
NSString *printerName;
```

macAddress

MAC アドレスまたは BD アドレスが格納されます。

構文

```
NSString *macAddress;
```

target

解析結果のターゲット情報を格納します。

構文

```
NSString *macAddress;
```

Status一覧

Error Status と対処方法

エラーステータス	要因	対処方法
EPOS2_ERR_PARAM	不正なパラメーターが渡された。 <例> サポート範囲外の数値が指定された。	パラメーターの指定値を確認してください。
EPOS2_ERR_CONNECT	プリンターとの通信に失敗した。 <例> プリンターへの印刷データ送信に失敗した。	各クラスの disconnect 実行後に connect を実行し、通信を復帰させてください。 Bluetooth® モデルの場合、connectDevice でペアリング接続を確立させてから、上記処理を実施してください。
EPOS2_ERR_TIMEOUT	指定時間内にデバイスと通信できなかつた。	タイムアウト時間を確認してください。 タイムアウト時間は、印刷所要時間以上に設定してください。
EPOS2_ERR_MEMORY	処理に必要なメモリーが確保できなかつた。	不要なアプリケーションソフトを終了してください。
EPOS2_ERR_ILLEGAL	不適切な方法で使用された。 <例> 既に通信されている状態で、再度通信開始しようとした。	API を適切な方法で使用してください。
EPOS2_ERR_PROCESSING	処理を実行できなかつた。 <例> 同様の処理を他のスレッドで実行中のため、処理が実行できなかつた。	処理のタイミングが重なっていないか、確認してください。
EPOS2_ERR_UNSUPPORTED	サポートしていない機種名または言語仕様が指定された。	サポートしていない機種では使用できません。
EPOS2_ERR_NOT_FOUND	指定対象を発見できなかつた。 <例> 指定した接続先のプリンターが存在しない。	接続形式や IP アドレス等が間違っていないか、確認してください。
EPOS2_ERR_IN_USE	指定されたデバイスが使用中。 <例> 他のアプリケーションソフトで使用されている。	他のアプリケーションソフトからの使用を終了してください。

エラーステータス	要因	対処方法
EPOS2_ERR_TYPE_INVALID	デバイスのクラスが違う(Epos2Printer、Epos2LineDisplay)。	接続しているデバイスの種類を確認し、適切なデバイスクラスで接続してください。
	ESC/POS をサポートしていない TM プリンターです。	TM インテリジェントプリンターとして使用してください。
EPOS2_ERR_DISCONNECT	デバイスとの通信が切れている。	デバイスとの通信状態を確認してください。
EPOS2_ERR_ALREADY_OPENED	既にコミュニケーションボックスがオープンしている。	コミュニケーションボックスとの通信を終了してください。
EPOS2_ERR_ALREADY_USED	指定したメンバー ID は既に使用されている。	異なるメンバー ID を指定してください。
EPOS2_ERR_BOX_COUNT_OVER	コミュニケーションボックスを作成可能な最大数を超えている。	不要なコミュニケーションボックスを削除してください。
EPOS2_ERR_BOX_CLIENT_OVER	コミュニケーションボックスに所属可能な最大数を超えている。	コミュニケーションボックスを使用していないメンバーを除名してください。
EPOS2_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。	実行環境に問題がないか確認してください。

Callback Code と対処方法

コード	要因	対処方法
EPOS2_CODE_SUCCESS	処理に成功した。	-
EPOS2_CODE_ERR_TIMEOUT	処理の実行時間が、指定したタイムアウト時間を超過した。	タイムアウト時間を調整してください。
EPOS2_CODE_ERR_NOT_FOUND	<ul style="list-style-type: none"> 接続形式や IP アドレスなどの指定が間違っている。 指定したデバイスが接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続形式や IP アドレスなどの指定値を確認してください。 デバイスの接続状況を確認してください。
EPOS2_CODE_ERR_AUTORECOVER	<ul style="list-style-type: none"> ヘッド高温エラーが発生した。 モータードライバー IC 高温エラーが発生した。 バッテリー高温エラーが発生した。 	温度が下がってから処理を実行してください。
	ラベル紙の印刷基準が見つからない。	カバーを開閉してください。
EPOS2_CODE_ERR_COVER_OPEN	カバーが開いている。	プリンターのカバーを閉じてください。
EPOS2_CODE_ERR_CUTTER	オートカッターエラーが発生した。	エラー原因を取り除き、プリンターの電源を入れ直してください。
EPOS2_CODE_ERR_MECHANICAL	メカニカルエラーが発生した。	エラー原因を取り除き、プリンターの電源を入れ直してください。
EPOS2_CODE_ERR_EMPTY	用紙なし。	用紙を補充してください。
EPOS2_CODE_ERR_UNRECOVERABLE	復帰不可能エラーが発生した。	プリンターの電源を入れ直してください。 再発する場合は、購入先かサービスセンターに連絡してください。
EPOS2_CODE_ERR_SYSTEM	TM-i フームウェア、TM-DT ソフトウェアに異常が発生した。	TM インテリジェントプリンターの電源を入れ直し、OS を再起動してください。
EPOS2_CODE_ERR_PORT	オンライン状態で強制送信処理を実行した。	オフライン状態で強制送信処理を実行してください。
EPOS2_CODE_ERR_INVALID_WINDOW	未登録のウィンドウを指定した。	ウィンドウの指定先を確認してください。
EPOS2_CODE_ERR_JOB_NOT_FOUND	存在しない印刷ジョブ ID が指定された。	印刷ジョブ ID の指定先を確認してください。
EPOS2_CODE_PRINTING	印刷中の印刷ジョブ ID を指定して、 requestPrintJobStatus が実行された。	印刷完了後に処理を実行してください。
EPOS2_CODE_ERR_SPOOLER	スプーラー容量を超えて、印刷データが送信された。	プリンターとの通信が切れていないか、接続状態を確認してください。
EPOS2_CODE_ERR_BATTERY_LOW	バッテリー残量がなくなった。	バッテリーを交換するか、AC アダプターを接続してください。

コード	要因	対処方法
EPOS2_CODE_ERR_FAILURE	その他のエラーが発生した。	実行環境に問題がないか確認してください。
EPOS2_CODE_ERR_TOO_MANY_REQUESTS	プリンターファームウェアの許容量を超えて、印刷データもしくはディスプレイ表示データが送信された。	プリンターの処理がある程度進むまで時間を空けてから、再度データを送信してください。
EPOS2_CODE_ERR_REQUEST_ENTITY_TOO_LARGE	プリンターファームウェアの許容量を超えるデータサイズの印刷ジョブが送信された。	印刷ジョブの内容を確認し、データサイズを下げて再度送信してください。

Printer Status と対処方法

プリンターステータス	要因	対処方法
status.connection==EPOS2_FALSE	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンターの電源が入っていない。 ・プリンターと接続されていない。 	プリンターの電源や通信状態を確認してください。
status.online==EPOS2_FALSE	オフライン状態。	カバーオープンや用紙切れなど、オフラインとなる要因を取り除いてください。
status.online==EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.coverOpen==EPOS2_TRUE	カバーが開いている。	プリンターのカバーを閉じてください。
status.coverOpen==EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.paper==EPOS2_PAPER_NEAR_END	用紙が残り少ない。	用紙を交換してください。
status.paper==EPOS2_PAPER_EMPTY	用紙なし。	用紙を補充してください。
status.paper==EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.paperFeed==EPOS2_TRUE	紙送りボタンによる紙送り中。	紙送り停止後に処理を実行してください。
status.paperFeed==EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.panelSwitch==EPOS2_SWITCH_ON	パネルスイッチ操作中。	操作完了後に処理を実行してください。
status.panelSwitch==EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.errorStatus==EPOS2_MECHANICAL_ERR	メカニカルエラーが発生した。	エラー原因を取り除き、プリンターの電源を入れ直してください。
status.errorStatus==EPOS2_AUTOCUTTER_ERR	オートカッターエラーが発生した。	エラー原因を取り除き、プリンターの電源を入れ直してください。
status.errorStatus==EPOS2_UNRECOVER_ERR	復帰不可能エラーが発生した。	プリンターの電源を入れ直してください。 再発する場合は、購入先かサービスセンターに連絡してください。

プリンターステータス	要因	対処方法
status.errorStatus== EPOS2_AUTORECOVER_ERR	• ヘッド高温エラーが発生した。 • モータードライバー IC 高温エラーが発生した。 • バッテリー高温エラーが発生した。	温度が下がってから処理を実行してください。
	ラベル紙の印刷基準が見つからない。	カバーを開閉してください。
status.errorStatus== EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.autoRecoverError== EPOS2_HEAD_OVERHEAT	ヘッド高温エラーが発生した。	温度が下がってから処理を実施してください。
status.autoRecoverError== EPOS2_MOTOR_OVERHEAT	モーターのドライバー IC 高温エラーが発生した。	温度が下がってから処理を実施してください。
status.autoRecoverError== EPOS2_BATTERY_OVERHEAT	バッテリー高温エラーが発生した。	温度が下がってから処理を実施してください。
status.autoRecoverError== EPOS2_WRONG_PAPER	ラベル紙の印刷基準が見つからない。	カバーを開閉してください。
status.autoRecoverError== EPOS2_COVER_OPEN	カバーが開いている。	プリンターのカバーを閉じてください。
status.autoRecoverError== EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.buzzer==EPOS2_TRUE	ブザー鳴動中。	各プリンターのブザー鳴動条件を確認し、ブザー鳴動原因を取り除いてから処理を実行してください。
status.buzzer== EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.adapter== EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。
status.batteryLevel== EPOS2_BATTERY_LEVEL_1	バッテリー残量少。	バッテリーを充電するか、AC アダプターに接続してください。
status.batteryLevel== EPOS2_BATTERY_LEVEL_0	バッテリー残量なし。	バッテリーを交換するか、AC アダプターに接続してください。
status.batteryLevel== EPOS2_UNKNOWN	プリンターと接続されていない。	プリンターとの通信状態を確認してください。

Key Code一覧

定数	コード	定数	コード
EPOS2_VK_BACK	0x08	EPOS2_VK_L	0x4C
EPOS2_VK_TAB	0x09	EPOS2_VK_M	0x4D
EPOS2_VK_RETURN	0x0D	EPOS2_VK_N	0x4E
EPOS2_VK_SHIFT	0x10	EPOS2_VK_O	0x4F
EPOS2_VK_CONTROL	0x11	EPOS2_VK_P	0x50
EPOS2_VK_MENU	0x12	EPOS2_VK_Q	0x51
EPOS2_VK_CAPITAL	0x14	EPOS2_VK_R	0x52
EPOS2_VK_ESCAPE	0x1B	EPOS2_VK_S	0x53
EPOS2_VK_CONVERT	0x1C	EPOS2_VK_T	0x54
EPOS2_VK_NONCONVERT	0x1D	EPOS2_VK_U	0x55
EPOS2_VK_SPACE	0x20	EPOS2_VK_V	0x56
EPOS2_VK_PRIOR	0x21	EPOS2_VK_W	0x57
EPOS2_VK_NEXT	0x22	EPOS2_VK_X	0x58
EPOS2_VK_END	0x23	EPOS2_VK_Y	0x59
EPOS2_VK_HOME	0x24	EPOS2_VK_Z	0x5A
EPOS2_VK_LEFT	0x25	EPOS2_VK_MULTIPLY	0x6A
EPOS2_VK_UP	0x26	EPOS2_VK_ADD	0x6B
EPOS2_VK_RIGHT	0x27	EPOS2_VK_SUBTRACT	0x6D
EPOS2_VK_DOWN	0x28	EPOS2_VK_F1	0x70
EPOS2_VK_INSERT	0x2D	EPOS2_VK_F2	0x71
EPOS2_VK_DELETE	0x2E	EPOS2_VK_F3	0x72
EPOS2_VK_0	0x30	EPOS2_VK_F4	0x73
EPOS2_VK_1	0x31	EPOS2_VK_F5	0x74
EPOS2_VK_2	0x32	EPOS2_VK_F6	0x75
EPOS2_VK_3	0x33	EPOS2_VK_F7	0x76
EPOS2_VK_4	0x34	EPOS2_VK_F8	0x77
EPOS2_VK_5	0x35	EPOS2_VK_F9	0x78
EPOS2_VK_6	0x36	EPOS2_VK_F10	0x79
EPOS2_VK_7	0x37	KEPOS2_VK_F11	0x7A
EPOS2_VK_8	0x38	EPOS2_VK_F12	0x7B
EPOS2_VK_9	0x39	EPOS2_VK_OEM_1	0xBA
EPOS2_VK_A	0x41	EPOS2_VK_OEM_PLUS	0xBB
EPOS2_VK_B	0x42	EPOS2_VK_OEM_COMMA	0xBC

定数	コード	定数	コード
EPOS2.VK.C	0x43	EPOS2.VK.OEM_MINUS	0xBD
EPOS2.VK.D	0x44	EPOS2.VK.OEM_PERIOD	0xBE
EPOS2.VK.E	0x45	EPOS2.VK.OEM_2	0xBF
EPOS2.VK.F	0x46	EPOS2.VK.OEM_3	0xC0
EPOS2.VK.G	0x47	EPOS2.VK.OEM_4	0xDB
EPOS2.VK.H	0x48	EPOS2.VK.OEM_5	0xDC
EPOS2.VK.I	0x49	EPOS2.VK.OEM_6	0xDD
EPOS2.VK.J	0x4A	EPOS2.VK.OEM_7	0xDE
EPOS2.VK.K	0x4B	EPOS2.VK.OEM_ATTN	0xF0

機器仕様

プリンターや周辺機器などの機器側に依存する API 使用制限や、パラメーターの設定値についての情報を掲載します。



機器ごとの詳細仕様は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

クラス別対応プリンター

クラス別の対応プリンターは、以下の通りです。

クラス	API	対応プリンター
Epos2Printer クラス		全プリンター プリンターごとに API の使用可否や、使用制限があります。 サポート API 一覧 を参照してください。
Epos2LineDisplay クラス		以下のプリンターとカスタマーディスプレイの組み合わせで使用できます。 • TM インテリジェントプリンター +DM-D110 • TM-DT シリーズ +DM-D30 • TM-m30+DM-D30 • TM-T88VI+DM-D30/DM-D110
Epos2Keyboard クラス		TM インテリジェントプリンター
Epos2BarcodeScanner クラス		TM インテリジェントプリンター
Epos2SimpleSerial クラス		TM インテリジェントプリンター
Epos2CommBox クラス		TM インテリジェントプリンター
クラス共通 API		TM インテリジェントプリンター
Epos2Discovery クラス		全プリンター
Epos2Log クラス		全プリンター
Epos2BluetoothConnection クラス		下記プリンターの Bluetooth® モデルでのみ指定できます。 • TM-m10 • TM-m30 • TM-P20 • TM-P60II (Peeler) : ファームウェアバージョン 6.14 ESC/POS 以降 • TM-P80 • TM-T20II • TM-T70II • TM-T88V • TM-T88VI

クラス	API	対応プリンター
EasySelect クラス	parseNFC	NFC タグ内蔵プリンター
	parseQR	TM プリンター createQR で作成した印刷データを addSymbol で印刷した QR コード、 ステータスシートに印刷された QR コードの解析が可能です。
	createQR	TM プリンター QR コードを印刷できるかは addSymbol の使用制限に依存します。
	parseBeacon	TM-T88VI
EasySelectInfo クラス		TM プリンター

サポートAPI一覧

各プリンターのサポート API を一覧表で掲載します。

表内記号の意味は、以下の通りです。

- ✓ : 対応している。
- ✓* : 対応しているが、指定できるパラメーター設定値に制限がある。
- : 対応していない。

「✓*」の制限については、プリンター別サポート情報を参照してください。

Printer クラス

TM プリンター

API	TM-m10	TM-m30	TM-P20	TM-P60II (Peeler)	TM-P80	TM-T20	TM-T20II	TM-T70	TM-T70II	TM-T88V	TM-T88VI	TM-T90II
initWithPrinterSeries	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*
connect	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
disconnect	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
startMonitor	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
stopMonitor	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
getStatus	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
sendData	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
beginTransaction	✓	✓	-	-	-	-	-	-	-	-	✓	-
endTransaction	✓	✓	-	-	-	-	-	-	-	-	✓	-
requestPrintJobStatus	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
clearCommandBuffer	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addTextAlign	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addLineSpace	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addTextRotate	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addText	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addTextLang	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addTextFont	✓*	✓*	✓	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*
addTextSmooth	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addTextSize	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

API	TM-m10	TM-m30	TM-P20	TM-P60II (Peeler)	TM-P80	TM-T20	TM-T20II	TM-T70	TM-T70II	TM-T88V	TM-T88VI	TM-T90II
addTextStyle	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*
addHPosition	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addFeedUnit	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addFeedLine	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addImage	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*
addLogo	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addBarcode	✓*	✓*	✓	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*
addSymbol	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*
addHLine	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
addVLineBegin	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
addVLineEnd	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
addPageBegin	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addPageEnd	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addPageArea	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addPageDirection	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addPagePosition	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addPageLine	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	-	-	-	-	-	✓*	-
addPageRectangle	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	-	-	-	-	-	✓*	-
addCut	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*
addPulse	✓	✓	-	-	-	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
addSound	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	✓*	-	✓*	✓*	✓*
addFeedPosition	-	-	✓*	✓	✓*	-	-	-	-	-	-	-
addLayout	-	-	✓*	✓	✓*	-	-	-	-	-	-	-
addCommand	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
forceRecover	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
forcePulse	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
forceStopSound	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
forceCommand	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
forceReset	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
setStatusChangeEventDelegate	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
setReceiveEventDelegate	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

API	TM-m10	TM-m30	TM-P20	TM-P60II (Peeler)	TM-P80	TM-T20	TM-T20II	TM-T70	TM-T70II	TM-T88V	TM-T88VI	TM-T90II
interval	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

TM インテリジェントプリンター

API	TM-T70-I	TM-T70II-DT	TM-T88V-I	TM-T88V-DT
initWithPrinterSeries	✓*	✓*	✓*	✓*
connect	✓	✓	✓	✓
disconnect	✓	✓	✓	✓
startMonitor	✓	✓	✓	✓
stopMonitor	✓	✓	✓	✓
getStatus	✓	✓	✓	✓
sendData	✓	✓	✓	✓
beginTransaction	-	-	-	-
endTransaction	-	-	-	-
requestPrintJobStatus	✓	✓	✓	✓
clearCommandBuffer	✓	✓	✓	✓
addTextAlign	✓	✓	✓	✓
addLineSpace	✓	✓	✓	✓
addTextRotate	✓	✓	✓	✓
addText	✓	✓	✓	✓
addTextLang	✓	✓	✓	✓
addTextFont	✓*	✓*	✓*	✓*
addTextSmooth	✓	✓	✓	✓
addTextSize	✓	✓	✓	✓
addTextStyle	✓*	✓*	✓*	✓*
addHPosition	✓	✓	✓	✓
addFeedUnit	✓	✓	✓	✓
addFeedLine	✓	✓	✓	✓
addImage	✓*	✓*	✓*	✓*

API	TM-T70-i	TM-T70II-DT	TM-T88V-i	TM-T88V-DT
addLogo	✓	✓	✓	✓
addBarcode	✓*	✓*	✓*	✓*
addSymbol	✓*	✓*	✓*	✓*
addHLine	-	-	-	-
addVLineBegin	-	-	-	-
addVLineEnd	-	-	-	-
addPageBegin	✓	✓	✓	✓
addPageEnd	✓	✓	✓	✓
addPageArea	✓	✓	✓	✓
addPageDirection	✓	✓	✓	✓
addPagePosition	✓	✓	✓	✓
addPageLine	-	-	-	-
addPageRectangle	-	-	-	-
addCut	✓*	✓*	✓*	✓*
addPulse	✓	✓	✓	✓
addSound	-	✓*	✓*	✓*
addFeedPosition	-	-	-	-
addLayout	-	-	-	-
addCommand	✓	✓	✓	✓
forceRecover	✓	✓	✓	✓
forcePulse	✓	✓	✓	✓
forceStopSound	-	✓	✓	✓
forceCommand	✓	✓	✓	✓
forceReset	✓	✓	✓	✓
setStatusChangeEventDelegate	✓	✓	✓	✓
setReceiveEventDelegate	✓	✓	✓	✓
interval	✓	✓	✓	✓

ネットワークプリンター

API	TM-T88IV	TM-T90	TM-T90KP	TM-L90
initWithPrinterSeries	✓*	✓*	✓*	✓*
connect	✓	✓	✓	✓
disconnect	✓	✓	✓	✓
startMonitor	✓	✓	✓	✓
stopMonitor	✓	✓	✓	✓
getStatus	✓	✓	✓	✓
sendData	✓	✓	✓	✓
beginTransaction	-	-	-	-
endTransaction	-	-	-	-
requestPrintJobStatus	-	-	-	-
clearCommandBuffer	✓	✓	✓	✓
addTextAlign	✓	✓	✓	✓
addLineSpace	✓	✓	✓	✓
addTextRotate	✓	✓	✓	✓
addText	✓	✓	✓	✓
addTextLang	✓	✓	✓	✓
addTextFont	✓*	✓*	✓*	✓*
addTextSmooth	✓	✓	✓	✓
addTextSize	✓	✓	✓	✓
addTextStyle	✓*	✓*	✓*	✓*
addHPosition	✓	✓	✓	✓
addFeedUnit	✓	✓	✓	✓
addFeedLine	✓	✓	✓	✓
addImage	✓*	✓*	✓*	✓*
addLogo	✓	✓	✓	✓
addBarcode	✓*	✓*	✓*	✓*
addSymbol	✓*	✓*	✓*	✓*
addHLine	-	-	✓	-
addVLineBegin	-	-	✓	-
addVLineEnd	-	-	✓	-
addPageBegin	✓	✓	✓	✓

API	TM-T88IV	TM-T90	TM-T90KP	TM-L90
addPageEnd	✓	✓	✓	✓
addPageArea	✓	✓	✓	✓
addPageDirection	✓	✓	✓	✓
addPagePosition	✓	✓	✓	✓
addPageLine	-	-	✓	-
addPageRectangle	-	-	✓	-
addCut	✓*	✓*	✓	✓*
addPulse	✓	✓	✓	✓
addSound	-	-	✓*	-
addFeedPosition	-	-	-	✓
addLayout	-	-	-	-
addCommand	✓	✓	✓	✓
forceRecover	-	-	-	-
forcePulse	-	-	-	-
forceStopSound	-	-	-	-
forceCommand	-	-	-	-
forceReset	-	-	-	-
setStatusChangeEventDelegate	✓	✓	✓	✓
setReceiveEventDelegate	✓	✓	✓	✓
interval	✓	✓	✓	✓

プリンター別サポート情報

TM-m10

プリンター仕様

項目	仕様
初期改行量	30 ドット
ページモード初期領域	420 x 2400 ドット
ページモード最大領域	420 x 2400 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font C のベースライン	文字の上端から 16 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_M10
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_ STACKED • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_FULLRANGE • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_COMPACT • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_SQUARE • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 8 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 12 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 16
addPageLine	lineStyle	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addPageRectangle	Style	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none">• EPOS2_PATTERN_NONE• EPOS2_PATTERN_A• EPOS2_PATTERN_B• EPOS2_PATTERN_C• EPOS2_PATTERN_D• EPOS2_PATTERN_E• EPOS2_PATTERN_ERROR• EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY• EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none">• 1 ~ 255• EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-m30

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	420 x 2400 ドット	576 x 2400 ドット
ページモード最大領域	420 x 2400 ドット	576 x 2400 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font C のベースライン	文字の上端から 16 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_M30
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_ STACKED • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_FULLRANGE • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_COMPACT • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_SQUARE • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 8 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 12 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 16
addPageLine	lineStyle	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addPageRectangle	Style	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none">• EPOS2_PATTERN_NONE• EPOS2_PATTERN_A• EPOS2_PATTERN_B• EPOS2_PATTERN_C• EPOS2_PATTERN_D• EPOS2_PATTERN_E• EPOS2_PATTERN_ERROR• EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY• EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none">• 1 ~ 255• EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-P20

プリンター仕様

項目	仕様
初期改行量	30 ドット
ページモード初期領域	384 x 2400 ドット
ページモード最大領域	384 x 2400 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font C のベースライン	文字の上端から 16 ドット目
Font D のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font E のベースライン	文字の上端から 15 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_P20
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_ STACKED • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_FULLRANGE • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_COMPACT • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_SQUARE • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 8 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 12 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 16
addPageLine	lineStyle	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addPageRectangle	Style	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_1 • EPOS2_PATTERN_2 • EPOS2_PATTERN_3 • EPOS2_PATTERN_4 • EPOS2_PATTERN_5 • EPOS2_PATTERN_6 • EPOS2_PATTERN_7 • EPOS2_PATTERN_8 • EPOS2_PATTERN_9 • EPOS2_PATTERN_10 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 255 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addFeedPosition	position	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FEED_CUTTING • EPOS2_FEED_CURRENT_TOF • EPOS2_FEED_NEXT_TOF
addLayout	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LAYOUT_RECEIPT • EPOS2_LAYOUT_RECEIPT_BM
	height	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	marginTop	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	marginBottom	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	offsetCut	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	offsetLabel	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）

TM-P60II (Peeler)

プリンター仕様

項目	レシート仕様	ダイカットラベル仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	432 x 1624 ドット	400 x 1624 ドット
ページモード最大領域	432 x 1624 ドット	400 x 1624 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 16 ドット目	
Font C のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_TM_P60II
addTextFont	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_ STACKED • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_FULLRANGE • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_COMPACT • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_SQUARE • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 8 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 12 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 16
addPageLine	lineStyle	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addPageRectangle	Style	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none">• EPOS2_PATTERN_NONE• EPOS2_PATTERN_1• EPOS2_PATTERN_2• EPOS2_PATTERN_3• EPOS2_PATTERN_4• EPOS2_PATTERN_5• EPOS2_PATTERN_6• EPOS2_PATTERN_7• EPOS2_PATTERN_8• EPOS2_PATTERN_9• EPOS2_PATTERN_10• EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none">• 1 ~ 255• EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-P80

プリンター仕様

項目	仕様
初期改行量	30 ドット
ページモード初期領域	576 x 1662 ドット
ページモード最大領域	576 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font C のベースライン	文字の上端から 15 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_P80
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_ STACKED • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_FULLRANGE • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_COMPACT • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_SQUARE • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 8 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 12 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 16
addPageLine	lineStyle	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addPageRectangle	Style	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_1 • EPOS2_PATTERN_2 • EPOS2_PATTERN_3 • EPOS2_PATTERN_4 • EPOS2_PATTERN_5 • EPOS2_PATTERN_6 • EPOS2_PATTERN_7 • EPOS2_PATTERN_8 • EPOS2_PATTERN_9 • EPOS2_PATTERN_10 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 255 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addFeedPosition	position	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FEED_CUTTING • EPOS2_FEED_CURRENT_TOF • EPOS2_FEED_NEXT_TOF
addLayout	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LAYOUT_RECEIPT • EPOS2_LAYOUT_RECEIPT_BM
	height	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	marginTop	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	marginBottom	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	offsetCut	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）
	offsetLabel	<ul style="list-style-type: none"> • レシート紙（ブラックマークなし） • レシート紙（ブラックマークあり）

TM-T20

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	420 x 831 ドット	576 x 831 ドット
ページモード最大領域	420 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 16 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T20
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 255 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T20II

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	420 x 831 ドット	576 x 831 ドット
ページモード最大領域	420 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 16 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T20
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O_MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 255 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T70

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
ページモード最大領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T70
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addBarcode	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_BARCODE_UPC_A • EPOS2_BARCODE_UPC_E • EPOS2_BARCODE_EAN13 • EPOS2_BARCODE_JAN13 • EPOS2_BARCODE_EAN8 • EPOS2_BARCODE_JAN8 • EPOS2_BARCODE_CODE39 • EPOS2_BARCODE_ITF • EPOS2_BARCODE_CODABAR • EPOS2_BARCODE_CODE93 • EPOS2_BARCODE_CODE128
	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T70II

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
ページモード最大領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T70
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 255 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T88V

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	360 x 831 ドット	512 x 831 ドット
ページモード最大領域	360 x 1662 ドット	512 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	ANK	文字の上端から 16 ドット目
	漢字	文字の上端から 15 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T88
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O_MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 255 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T88VI

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	360 x 831 ドット	512 x 831 ドット
ページモード最大領域	360 x 1662 ドット	512 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	ANK	文字の上端から 16 ドット目
	漢字	文字の上端から 15 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T88
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_ STACKED • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_FULLRANGE • EPOS2_SYMBOL_AZTECCODE_COMPACT • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_SQUARE • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 8 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 12 • EPOS2_SYMBOL_DATAMATRIX_RECTANGLE_ 16
addPageLine	lineStyle	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addPageRectangle	Style	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LINE_THIN • EPOS2_LINE_MEDIUM • EPOS2_LINE_THICK • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none">• EPOS2_PATTERN_NONE• EPOS2_PATTERN_A• EPOS2_PATTERN_B• EPOS2_PATTERN_C• EPOS2_PATTERN_D• EPOS2_PATTERN_E• EPOS2_PATTERN_ERROR• EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY• EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none">• 1 ~ 255• EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T90II

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	モノクロ印字	420 x 738 ドット
	2 色印字	420 x 369 ドット
ページモード最大領域	モノクロ印字	420 x 1476 ドット
	2 色印字	420 x 738 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font C のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	<ul style="list-style-type: none"> EPOS2_TM_T90
addTextFont	font	<ul style="list-style-type: none"> EPOS2_FONT_A (初期値) EPOS2_FONT_B EPOS2_FONT_C EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	<ul style="list-style-type: none"> EPOS2_COLOR_NONE EPOS2_COLOR_1 (初期値) EPOS2_COLOR_2 EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	<ul style="list-style-type: none"> EPOS2_COLOR_NONE EPOS2_COLOR_1 EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	<ul style="list-style-type: none"> EPOS2_FONT_A (初期値) EPOS2_FONT_B EPOS2_FONT_C EPOS2_PARAM_DEFAULT EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_ STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T70-i

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
ページモード最大領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T70
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addBarcode	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_BARCODE_UPC_A • EPOS2_BARCODE_UPC_E • EPOS2_BARCODE_EAN13 • EPOS2_BARCODE_JAN13 • EPOS2_BARCODE_EAN8 • EPOS2_BARCODE_JAN8 • EPOS2_BARCODE_CODE39 • EPOS2_BARCODE_ITF • EPOS2_BARCODE_CODABAR • EPOS2_BARCODE_CODE93 • EPOS2_BARCODE_CODE128
	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T70II-DT

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
ページモード最大領域	416 x 1662 ドット	576 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T70
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T88V-i

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	360 x 831 ドット	512 x 831 ドット
ページモード最大領域	360 x 1662 ドット	512 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	ANK	文字の上端から 16 ドット目
	漢字	文字の上端から 15 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T88
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T88V-DT

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	360 x 831 ドット	512 x 831 ドット
ページモード最大領域	360 x 1662 ドット	512 x 1662 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	ANK	文字の上端から 16 ドット目
	漢字	文字の上端から 15 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_TM_T88
addTextFont	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addBarcode	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED

API	パラメーター	指定可能な設定値
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6 • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_STACKED_O MNIDIRECTIONAL • EPOS2_SYMBOL_GS1_DATABAR_EXPANDED_STACKED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T88IV

プリンター仕様

項目		58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット		
ページモード初期領域	モノクロ印字	360 x 831 ドット	512 x 831 ドット
	2色印字	360 x 415 ドット	512 x 415 ドット
ページモード最大領域	モノクロ印字	360 x 1662 ドット	512 x 1662 ドット
	2色印字	360 x 831 ドット	512 x 831 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目		
Font B のベースライン	文字の上端から 16 ドット目		

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T88
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_COLOR_2 • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_COLOR_2 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addBarcode	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_BARCODE_UPC_A • EPOS2_BARCODE_UPC_E • EPOS2_BARCODE_EAN13 • EPOS2_BARCODE_JAN13 • EPOS2_BARCODE_EAN8 • EPOS2_BARCODE_JAN8 • EPOS2_BARCODE_CODE39 • EPOS2_BARCODE_ITF • EPOS2_BARCODE_CODABAR • EPOS2_BARCODE_CODE93 • EPOS2_BARCODE_CODE128
	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T90

プリンター仕様

項目	58mm 仕様	80mm 仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	モノクロ印字	420 x 738 ドット
	2 色印字	420 x 369 ドット
ページモード最大領域	モノクロ印字	420 x 1476 ドット
	2 色印字	420 x 738 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font C のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T90
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_COLOR_2 • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_COLOR_2 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addBarcode	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_BARCODE_UPC_A • EPOS2_BARCODE_UPC_E • EPOS2_BARCODE_EAN13 • EPOS2_BARCODE_JAN13 • EPOS2_BARCODE_EAN8 • EPOS2_BARCODE_JAN8 • EPOS2_BARCODE_CODE39 • EPOS2_BARCODE_ITF • EPOS2_BARCODE_CODABAR • EPOS2_BARCODE_CODE93 • EPOS2_BARCODE_CODE128
	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-T90KP

プリンター仕様

項目	仕様
初期改行量	30 ドット
ページモード初期領域	576 x 738 ドット
ページモード最大領域	576 x 1476 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目
Font C のベースライン	文字の上端から 15 ドット目

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_T90KP
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	mode	• EPOS2_MODE_MONO • EPOS2_MODE_MONO_HIGH_DENSITY • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addBarcode	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_BARCODE_UPC_A • EPOS2_BARCODE_UPC_E • EPOS2_BARCODE_EAN13 • EPOS2_BARCODE_JAN13 • EPOS2_BARCODE_EAN8 • EPOS2_BARCODE_JAN8 • EPOS2_BARCODE_CODE39 • EPOS2_BARCODE_ITF • EPOS2_BARCODE_CODABAR • EPOS2_BARCODE_CODE93 • EPOS2_BARCODE_CODE128
	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addSound	pattern	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_PATTERN_NONE • EPOS2_PATTERN_A • EPOS2_PATTERN_B • EPOS2_PATTERN_C • EPOS2_PATTERN_D • EPOS2_PATTERN_E • EPOS2_PATTERN_ERROR • EPOS2_PATTERN_PAPER_EMPTY • EPOS2_PARAM_DEFAULT
	repeat	<ul style="list-style-type: none"> • 1 ~ 255 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

TM-L90

プリンター仕様

項目	レシート仕様	ダイカットラベル仕様
初期改行量	30 ドット	
ページモード初期領域	モノクロ印字	576 x 738 ドット
	2色印字	576 x 369 ドット
ページモード最大領域	モノクロ印字	576 x 1476 ドット
	2色印字	576 x 738 ドット
Font A のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font B のベースライン	文字の上端から 21 ドット目	
Font C のベースライン	文字の上端から 15 ドット目	

パラメーター制限

API	パラメーター	指定可能な設定値
initWithPrinterSeries	printerSeries	• EPOS2_TM_L90
addTextFont	font	• EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addTextStyle	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 (初期値) • EPOS2_COLOR_2 • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED • EPOS2_PARAM_DEFAULT
addImage	color	• EPOS2_COLOR_NONE • EPOS2_COLOR_1 • EPOS2_COLOR_2 • EPOS2_PARAM_DEFAULT

API	パラメーター	指定可能な設定値
addBarcode	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_BARCODE_UPC_A • EPOS2_BARCODE_UPC_E • EPOS2_BARCODE_EAN13 • EPOS2_BARCODE_JAN13 • EPOS2_BARCODE_EAN8 • EPOS2_BARCODE_JAN8 • EPOS2_BARCODE_CODE39 • EPOS2_BARCODE_ITF • EPOS2_BARCODE_CODABAR • EPOS2_BARCODE_CODE93 • EPOS2_BARCODE_CODE128
	font	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_FONT_A (初期値) • EPOS2_FONT_B • EPOS2_FONT_C • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addSymbol	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_SYMBOL_PDF417_STANDARD • EPOS2_SYMBOL_PDF417_TRUNCATED • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_1 • EPOS2_SYMBOL_QRCODE_MODEL_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_2 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_3 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_4 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_5 • EPOS2_SYMBOL_MAXICODE_MODE_6
	level	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_LEVEL_0 • EPOS2_LEVEL_1 • EPOS2_LEVEL_2 • EPOS2_LEVEL_3 • EPOS2_LEVEL_4 • EPOS2_LEVEL_5 • EPOS2_LEVEL_6 • EPOS2_LEVEL_7 • EPOS2_LEVEL_8 • EPOS2_LEVEL_L • EPOS2_LEVEL_M • EPOS2_LEVEL_Q • EPOS2_LEVEL_H • EPOS2_PARAM_DEFAULT • EPOS2_PARAM_UNSPECIFIED
addCut	type	<ul style="list-style-type: none"> • EPOS2_CUT_FEED • EPOS2_CUT_NO_FEED • EPOS2_PARAM_DEFAULT

ファームウェアバージョンによる使用制限

TM インテリジェントプリンターに搭載されている TM-DT ソフトウェア、TM-i ファームウェアのバージョンによって、使用できる API やパラメーターなどに制限があります。

TM-DT ソフトウェア、TM-i ファームウェアのバージョン確認やバージョンアップの方法は、各プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。

- TM-DT ソフトウェア Ver.2.5、TM-i ファームウェア Ver.4.0 以降で対応

クラス	API	パラメーター	値
Epos2CommBox クラス	-	-	-

- TM-DT ソフトウェア Ver.2.5、TM-i ファームウェア Ver.4.1 以降で対応

クラス	API	パラメーター	値
Epos2Printer クラス	requestPrintJobStatus	-	-
Epos2Printer クラス	addSymbol	data	QR Code Micro
Epos2Printer クラス	addSymbol	type	Printer.SymbolType.QRCode Micro
Epos2Printer クラス	setReceiveEventDelegate	args	printJobId

- TM-DT ソフトウェア Ver.3.02、TM-i ファームウェア Ver.4.4 以降で対応

クラス	API	パラメーター	値
Epos2Discovery クラス	-	-	-

サンプルプログラム

Epson ePOS SDK for iOS が提供するサンプルプログラムは、iOS アプリケーションソフト開発者向けの実装サンプルです。

Objective-C ソースファイルを含む Xcode 用 iOS アプリケーションプロジェクトを提供します。



- [ePOS2Printer](#)では、Swift ソースファイルを含む Xcode 用 iOS アプリケーションプロジェクトも提供します。
- [ePOS2EasySelection](#) の parseNFC は、Swift 4.0 で開発しています。

機能

サンプルプログラムは、以下の機能を実装しています。

ePOS2Printer

- プリンターの検索、指定
 - 接続形式の指定
 - 検索結果一覧の表示
 - 検索結果から選択された接続に必要な target 情報を取得
- サンプルレシートの印刷
- サンプルクーポンの印刷
- プリンター状態確認
 - 印刷前にプリンターのステータスを確認する。
 - プリンターが印刷不可状態の場合、印刷不可原因の対処メッセージを通知する。
- 印刷結果、プリンターステータスの表示
 - 印刷終了後に、印刷結果を通知する。
 - プリンターの検索中、サンプルレシートの印刷中、サンプルクーポンの印刷中に API のエラーが発生した場合、エラーの発生をユーザーに通知する。
- ログ出力機能の設定
 - メイン画面起動時、端末ストレージへのログ出力を有効に設定する。

ePOS2Discovery

- Filter Option の設定
- プリンター、周辺機器の検索
- 検索の開始
- 検索結果の表示
- 検索の停止
- エラーの通知
 - 検索の開始時、検索中、検索の停止時に API のエラーが発生した場合、エラーの発生をユーザーに通知する。

ePOS2LineDisplay

- 指定したテキストをカスタマーディスプレイに表示
- エラーの通知
 - カスタマーディスプレイとの接続に失敗した場合、接続失敗をユーザーに通知する。
 - カスタマーディスプレイへの表示データ送信時に API のエラーが発生した場合、エラーの発生をユーザーに通知する。

ePOS2Keyboard

- TM インテリジェントプリンターへの接続結果を通知
 - アプリケーションソフト起動時に、ソースファイル内で指定されたキーボードへ接続する。
 - キーボードとの接続に失敗した場合、接続失敗をユーザーに通知する。
- キーボードで入力した文字をアプリケーションソフトのテキストボックスに表示
- エラーの通知
 - キーボードで文字入力中に API のエラーが発生した場合、エラーの発生をユーザーに通知する。

ePOS2BarcodeScanner

- TM インテリジェントプリンターへの接続結果を通知
 - アプリケーションソフト起動時に、ソースファイル内で指定されたバーコードスキャナーへ接続する。
 - バーコードスキャナーとの接続に失敗した場合、接続失敗をユーザーに通知する。
- バーコードスキャナーで読み取ったデータを、アプリケーションソフトのテキストボックスに表示
- エラーの通知
 - バーコードスキャナーでの読み取り中に API のエラーが発生した場合、エラーの発生をユーザーに通知する。

ePOS2SimpleSerial

- TM インテリジェントプリンターへの接続結果を通知
 - アプリケーションソフト起動時に、ソースファイル内で指定されたシリアル通信デバイスへ接続する。
 - シリアル通信デバイスとの接続に失敗した場合、接続失敗をユーザーに通知する。
- アプリケーションソフトで指定したデータを、シリアル通信デバイスへ送信
- シリアル通信デバイスからの応答コマンドを、アプリケーションソフトに表示
- エラーの通知
 - シリアル通信デバイスへデータ送信中に API のエラーが発生した場合、エラーの発生をユーザーに通知する。

ePOS2CommBox

- TM インテリジェントプリンターへの接続結果を通知
 - アプリケーションソフト起動時に、ソースファイル内で指定されたコミュニケーションボックスへ接続する。
 - コミュニケーションボックスとの接続に失敗した場合、接続失敗をユーザーに通知する。
- アプリケーションソフトで指定したメンバー ID にメッセージを送信
- エラーの通知
 - メッセージ送信時に API のエラーが発生した場合、エラーの発生をユーザーに通知する。

ePOS2EasySelection

- NFC タグ /QR コードを使用してプリンターに簡単接続
 - NFC タグからプリンター情報の取得
 - QR コードからプリンター情報の取得
 - 取得したプリンター情報からのポートオープン
- 簡単選択可能な QR コードの印刷
 - プリンターの検索結果からプリンター情報の QR コード作成
- iBeacon データを使用してプリンターに簡単接続
 - iBeacon データからプリンター情報の取得
 - 取得したプリンター情報からのポートオープン

使用環境

Epson ePOS SDK for iOS の開発環境、アプリケーションソフトの動作環境を参照してください。



開発環境に応じて、Xcode プロジェクトの設定を変更してください。

インストール手順

- 1** サンプルプログラムの zip ファイルを展開し、展開したファイルを任意の位置に置きます。
- 2** 展開したファイル内の ePOS2_xxx.xcodeproj をダブルクリックします。
- 3** Xcode 起動後、「Scheme」としてターゲットデバイスを選択します。
- 4** 左上の [Run] をクリックします。
- 5** ターゲットデバイスにサンプルプログラムがインストールされ、サンプルプログラムが起動します。



ePOS2EasySelection の parseNFC を使用する場合は、Xcode project の "Near Field Communication Tag Reading" の capability を有効にしてください。

活用ガイド

プリンターを検索するには

検索開始

```
Epos2FilterOption *filterOption = nil;  
filterOption = [[Epos2FilterOption alloc] init];  
  
filterOption.porttype = EPOS2_PORTTYPE_ALL;  
filterOption.broadcast = @"255.255.255.255"  
filterOption.deviceModel = EPOS2_MODEL_ALL;  
filterOption.deviceType = EPOS2_TYPE_ALL;
```

検索を開始する

```
result = [Epos2Discovery start:filterOption Delegate:self];  
if (result != EPOS2_CODE_SUCCESS) {  
    // エラーメッセージを表示する  
}
```

検知されたデバイスを通知する

```
- (void)onDiscovery:(Epos2DeviceInfo *)deviceInfo  
{  
    // 検知されたデバイスをアプリケーションソフトに表示する  
}
```

検索を停止する

```
- (void)stopDiscovery  
{  
    int result = EPOS2_SUCCESS;  
    result = [Epos2Discovery stop];  
    if (result != EPOS2_CODE_SUCCESS) {  
        // エラーメッセージを表示する  
    }  
}
```

常時監視するには

```
アプリケーションソフト起動時
int result = EPOS2_SUCCESS;
Epos2Printer printer_ = nil
printer_ = [[Epos2Printer alloc] initWithPrinterModel:EPOS2_TM_T88
lang:EPOS2_MODEL_ANK];
[printer_ setStatusChangeEventDelegate:self]

result = [printer_ connect:@"TCP:192.168.192.168" timeout:EPOS2_PARAM_DEFAULT];

[printer_ setInterval:3000];

result = [printer_ startMonitor];
if (result != EPOS2_CODE_SUCCESS) {
    // エラーメッセージを表示する
}

// 印字データをバッファリングする (addText..)
// 印字データを送信する (sendData)

// 印字データをバッファリングする (addText..)
// 印字データを送信する (sendData)

// 印字データをバッファリングする (addText..)
// 印字データを送信する (sendData)

アプリケーションソフト終了時
result = [printer_ stopMonitor];
if (result != EPOS2_CODE_SUCCESS) {
    // エラーメッセージを表示する
}

result = [printer_ disconnect];
if (result != EPOS2_CODE_SUCCESS) {
    // エラーメッセージを表示する
}
```

```
(void) onPtrStatusChange:(Epos2Printer *)printerObj EventType:(int)eventType
{
    switch (eventType) {
        case EPOS2_EVENT_ONLINE:
            break;
        case EPOS2_EVENT_OFFLINE:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_POWER_OFF:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_COVER_CLOSE:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_COVER_OPEN:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_PAPER_OK:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_PAPER_NEAR_END:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_PAPER_EMPTY:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_DRAWER_HIGH:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_DRAWER_LOW:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_BATTERY_ENOUGH:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        case EPOS2_EVENT_BATTERY_EMPTY:
            // 対処メッセージ表示
            break;
        default:
            break;
    }
}
```



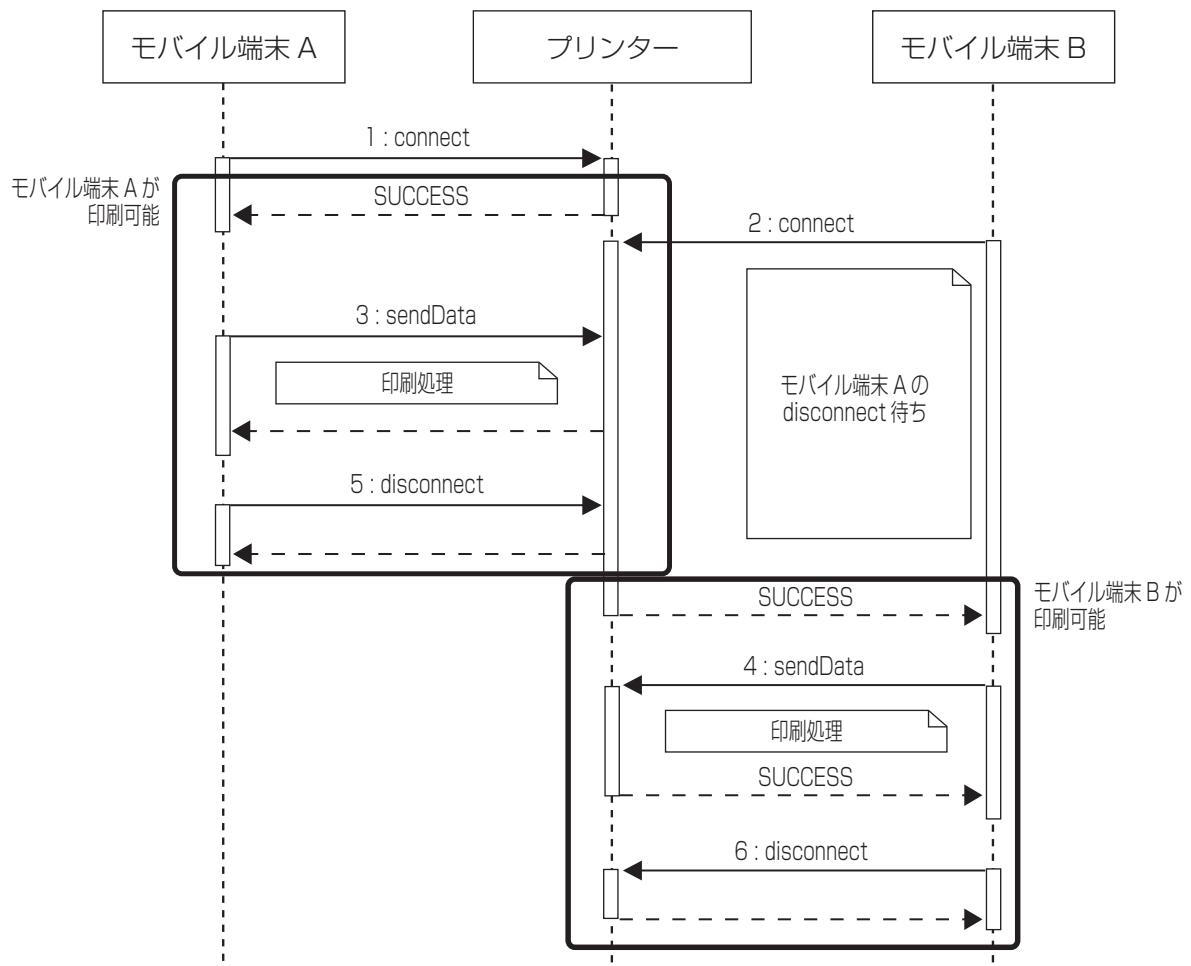
「対処メッセージ表示」に表示するメッセージは、[Error Status](#)と対処方法を参照してください。

一台のプリンターを複数のモバイル端末から使用するには

モバイル端末 A とモバイル端末 B から、1 台のプリンターを使用する場合の処理の流れを以下に示します。

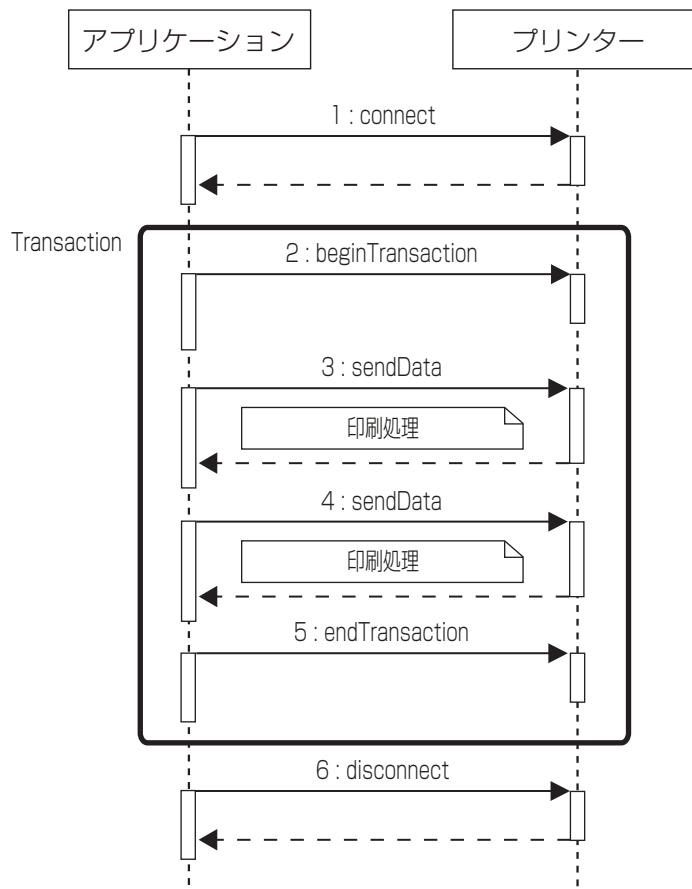


以下の図は、TM プリンターを制御する場合の処理の流れを説明しています。



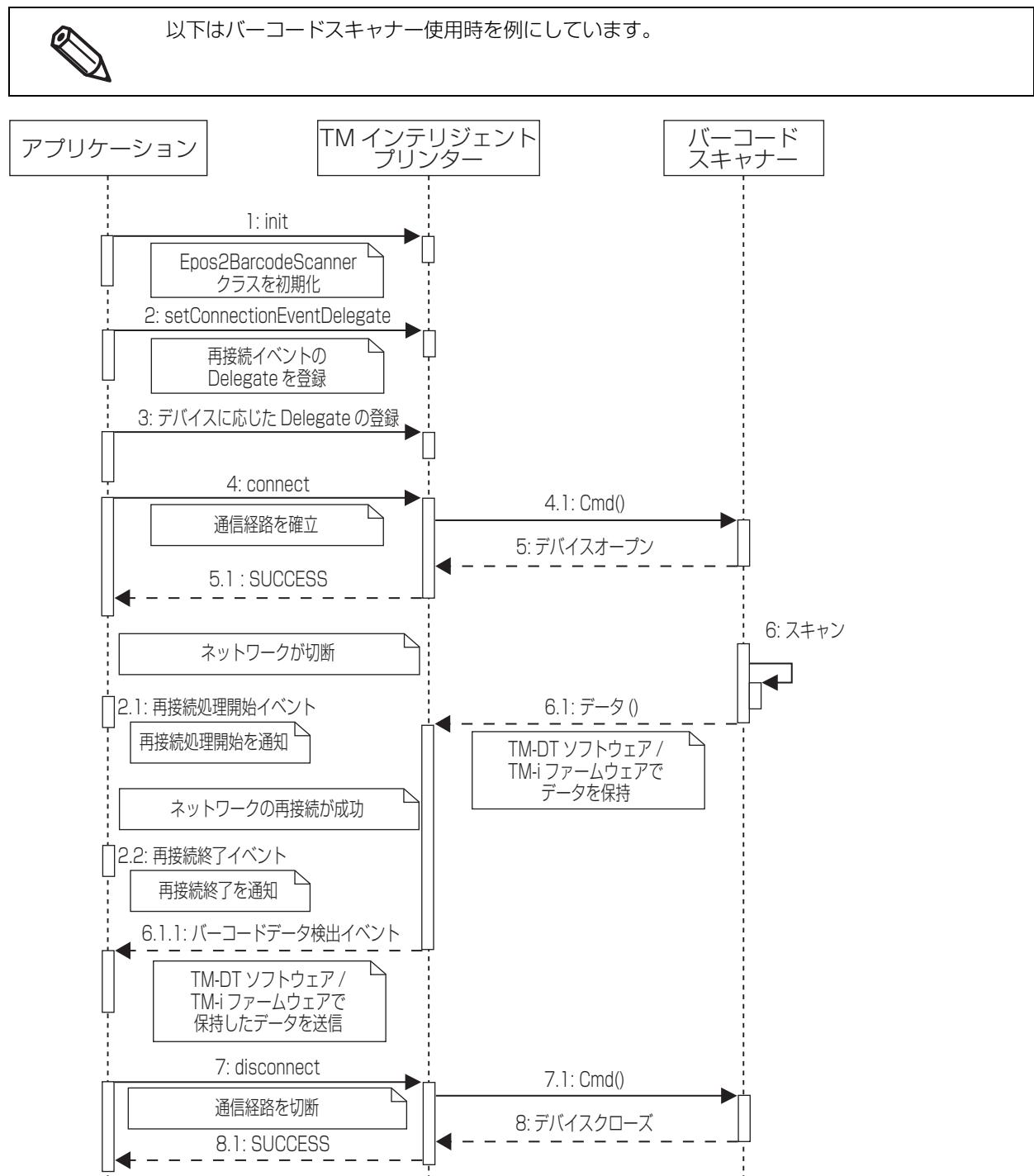
トランザクションを指定するには

連続して行うひとまとめの印刷処理（一枚のレシートや一枚のクーポンなど）を `beginTransaction` と `endTransaction` で囲んでください。



ネットワークを自動で再接続するには

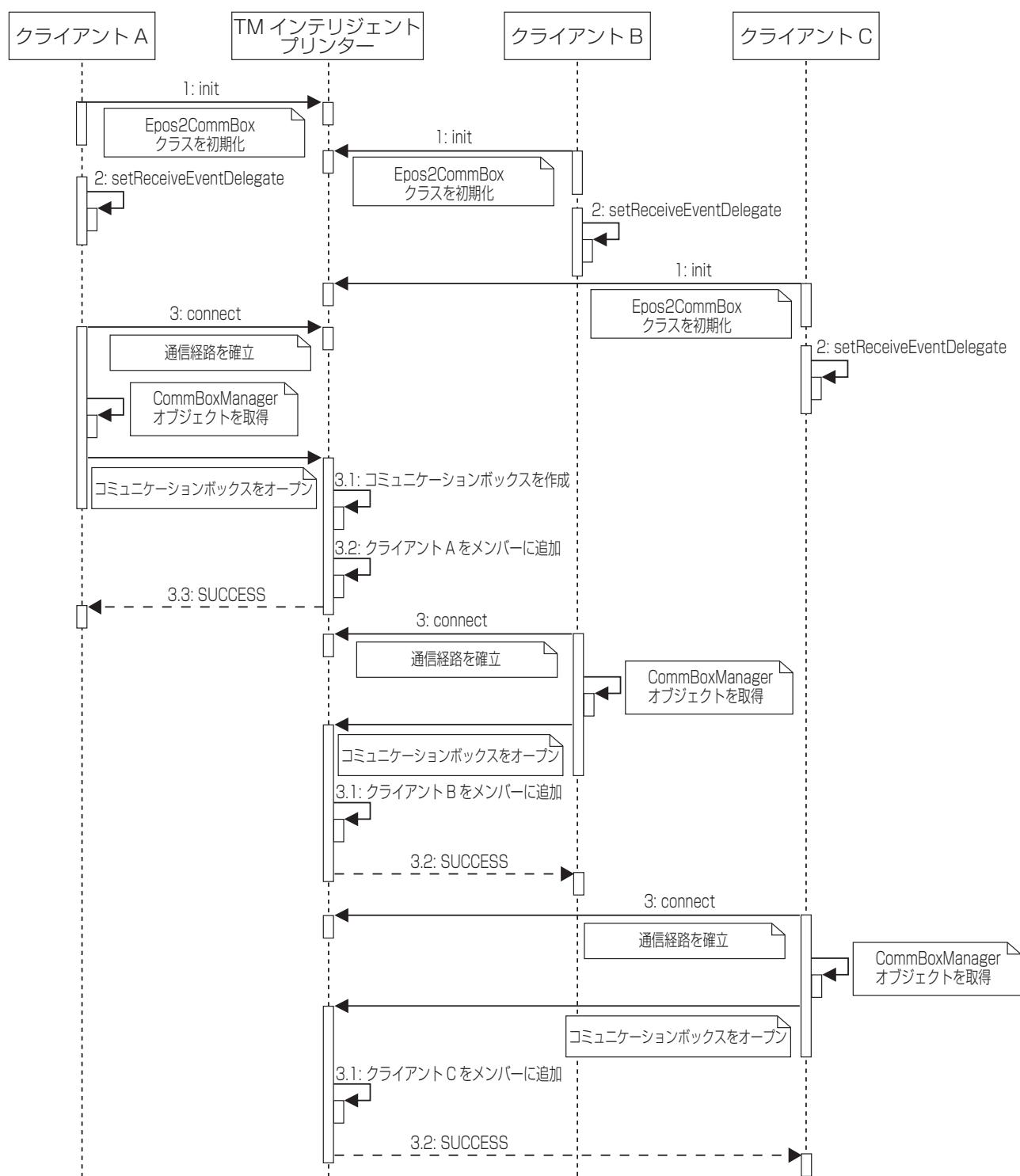
TM インテリジェントプリンターとのネットワーク通信が切断された場合、自動で再接続するシーケンスは、以下の通りです。

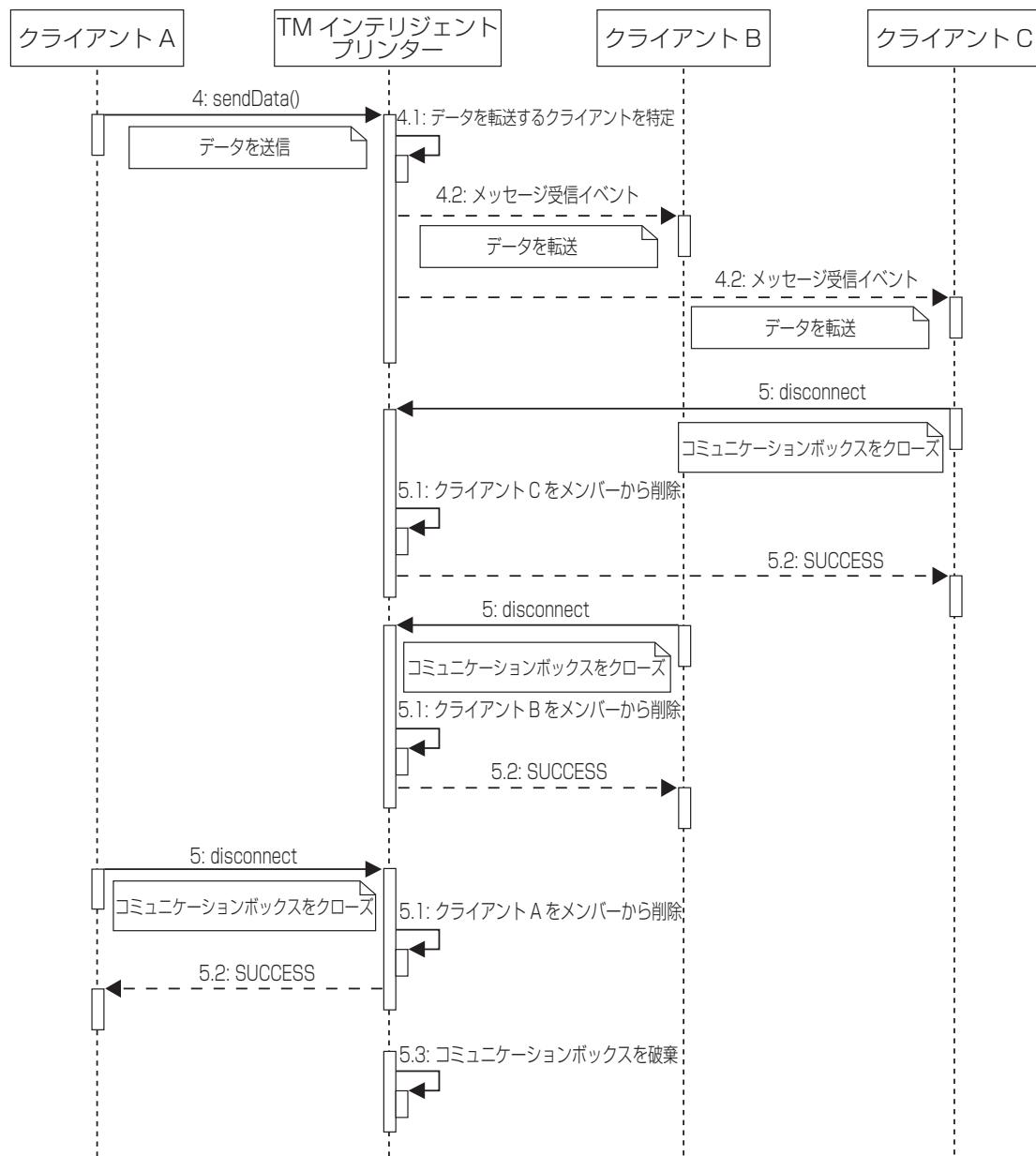


アプリケーション間でデータを送受信するには

TM インテリジェントプリンターのコミュニケーションボックス機能を使用します。

コミュニケーションボックス使用した基本的なプログラミングのシーケンスは、以下の通りです。シーケンス図中の「クライアント」は、アプリケーションを指しています。





迂回印刷するには

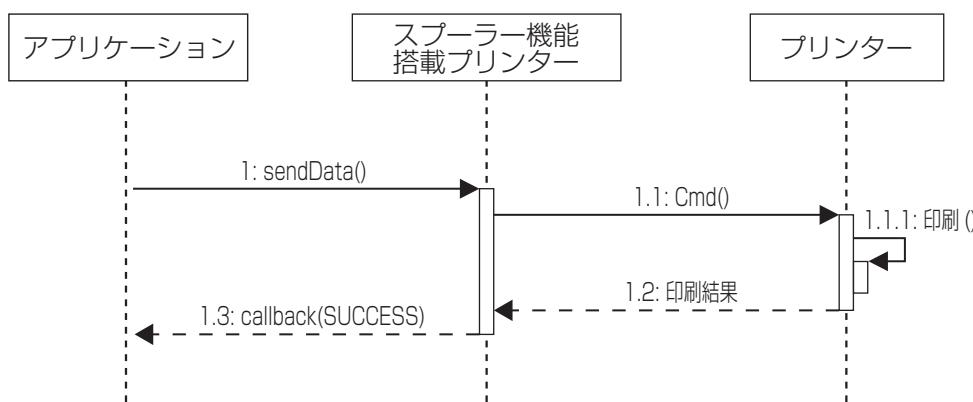
プリンターのスプーラー機能を使用します。



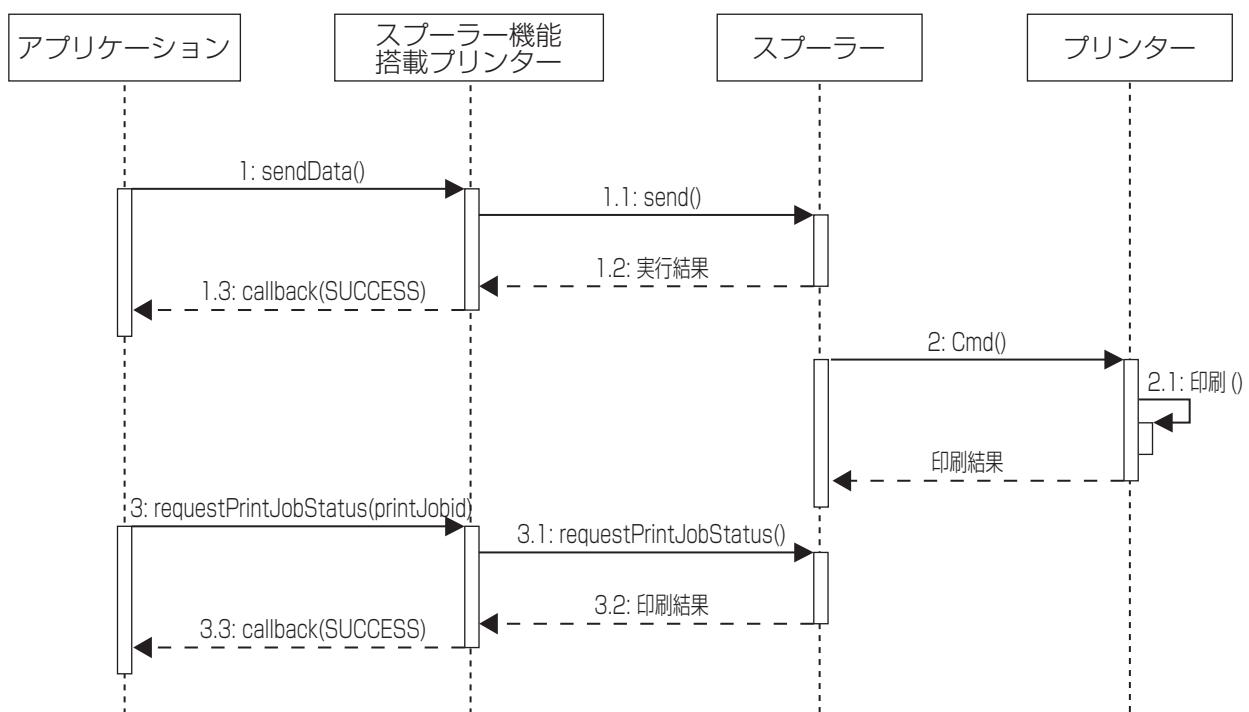
スプーラー機能搭載プリンター

- TM-T70-i
- TM-T88V-i
- TM-T70II-DT
- TM-T88V-DT

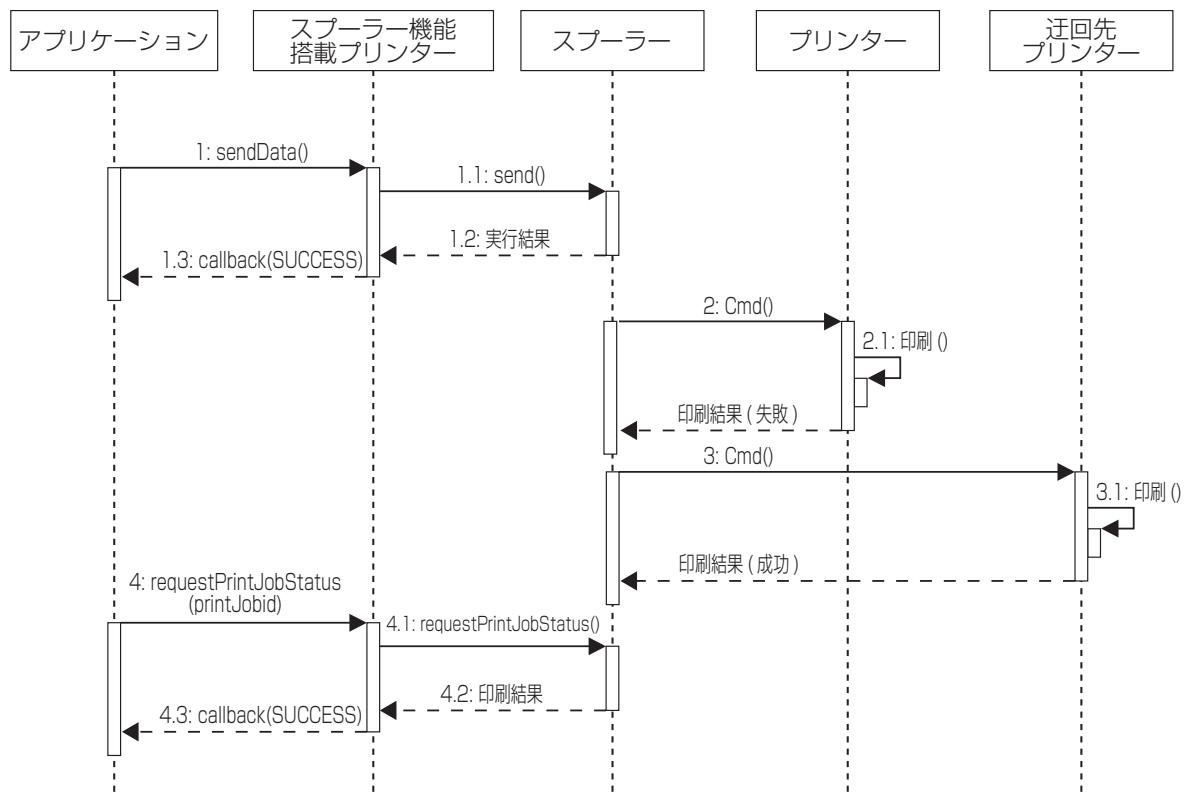
スプーラー機能を無効にした場合、アプリケーションからスプーラー機能搭載プリンターにリクエストを送信すると、印刷を直ちに実行し、印刷完了後にレスポンスをアプリケーションに返します。



スプーラー機能を有効にした場合、アプリケーションからスプーラー機能搭載プリンターにリクエストを送信すると、印刷データをキューに入れ、印刷完了を待たずにレスポンスをアプリケーションに返します。



この時、出力先のプリンターが印刷できない場合、スプーラー機能搭載プリンターは、アプリケーションにエラーを返しません。迂回印刷を有効にすると、代替プリンターで印刷でき、アプリケーションは、印刷結果も後で取得できます。以下のシーケンス図を参照してください。



QRコードを使ってプリンターを選択するには

EasySelect クラスの `parseQR` を使って QR コードを解析します。解析した結果に基づいて `connect` API を呼び出すことでプリンターと接続できます。

```
@interface Sample()
{
    Epos2Printer *printer_;
}

(BOOL) ConnectPrinterByQRCode
{
    // QR コードの解析
    EposEasySelect* easySelect = [[EposEasySelect alloc] init];
    EposEasySelectInfo *easySelectInfo = [easySelect parseQR:result];

    if(!easySelectInfo){
        // 簡単選択用の QR コードでは無かった場合
        return NO;
    }

    // プリンタ名から PrinterSeries への変換
    int printerSeries = [self convertPrinterNameToPrinterSeries:easySelectInfo.printerName];

    // Epos2Printer の初期化
    printer_ = [[Epos2Printer alloc] initWithPrinterSeries:printerSeries
lang:EPOS2_MODEL_ANK];
    if(!printer_){
        return NO;
    }

    // connect パラメーターの生成
    NSString *targetText = [self convertEasySelectInfoToTargetString:easySelectInfo];
    if([targetText isEqualToString:@""]){
        return NO;
    }

    // プリンタとの接続
    int result = [printer_ connect:targetText timeout:EPOS2_PARAM_DEFAULT];
    if(result != EPOS2_SUCCESS){
        return NO;
    }

    return YES;
}
```

```

- (int) convertPrinterNameToPrinterSeries:(NSString*)printerName
{
    int printerSeries = EPOS2_TM_T88;

    if([printerName isEqualToString:@"TM-T88V"]){
        printerSeries = EPOS2_TM_T88;
    }else if([printerName isEqualToString:@"TM-m10"]){
        printerSeries = EPOS2_TM_M10;
    }else if([printerName isEqualToString:@"TM-m30"]){
        printerSeries = EPOS2_TM_M30;
    }else if([printerName isEqualToString:@"TM-P20"]){
        printerSeries = EPOS2_TM_P20;
    }else if([printerName isEqualToString:@"TM-P60II"]){
        printerSeries = EPOS2_TM_P60II;
    }else if([printerName isEqualToString:@"TM-P80"]){
        printerSeries = EPOS2_TM_P80;
    }else{
        // 利用するプリンターに合わせて変換処理を追加
    }

    return printerSeries;
}

- (NSString*) convertEasySelectInfoToTargetString:(EposEasySelectInfo*)easySelectInfo
{
    NSString *connectionTypeString = @"";
    switch(easySelectInfo.deviceType){
        case EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_TCP:
            connectionTypeString = @"TCP:";
            break;
        case EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_BLUETOOTH:
            connectionTypeString = @"BT:";
            break;
    }

    return [NSString stringWithFormat:@"%@%@", connectionTypeString,easySelectInfo.macAddress];
}

```

プリンター選択用の QR コードの印刷方法

ステータスシートに QR コードを印刷可能な製品

ステータスシートに QR コードを印刷できる製品があります。ステータスシートの印刷方法は各製品の詳細取扱説明書を参照してください。

ステータスシートに QR コードを印刷できない製品

`createQR` を使用して QR コードを作成します。それを `addSymbol` に指定して印刷します。

サンプルプログラムの「簡単選択可能な QR コードの印刷」を参照してください。

NFC タグを使ってプリンターを選択するには

EasySelect クラスの `parseNFC` を使って NFC タグを解析します。解析した結果に基づいて `connect` API を呼び出すことでプリンターと接続できます。



以下のサンプルコードは、Swift でコーディングしています。

```
// NFC タグ情報は、下記の NFCNDEFReaderSessionDelegate メソッドで受け取る
func readerSession(
    _ session: NFCNDEFReaderSession,
    didDetectNDEFs messages: [NFCNDEFMessage]) {

    // NFC タグの解析
    guard let targetList = EposEasySelect().parseNFC(
        messages,
        timeout: Int(PARSE_NFC_TIMEOUT_DEFAULT.rawValue)),
        !targetList.isEmpty else {
        // 簡単選択用の NFC ではなかった場合
        return
    }

    // 一つ目の NFC データを取得する
    let easySelectInfo: EposEasySelectInfo = targetList[0]

    guard let printerName = easySelectInfo.printerName, !printerName.isEmpty else {
        // printerName を取得できなかった場合
        return
    }

    // プリンターネームから PrinterSeries への変換
    let printerSeries: CInt = convertPrinterNameToPrinterSeries(printerName: printerName)

    guard let macAddress = easySelectInfo.macAddress, !macAddress.isEmpty else {
        // macAddress を取得できなかった場合
        return
    }

    // Epos2Printer の初期化
    guard let printer = Epos2Printer(
        printerSeries: printerSeries,
        lang: EPOS2_MODEL_ANK.rawValue) else {
        return
    }

    // connect パラメータの生成
    let targetString = convertEasySelectInfoToTargetString(info: easySelectInfo)
    guard !targetString.isEmpty else {
        return
    }

    // プリンターとの接続
    var result = printer.connect(
        targetString,
        timeout: CLong(EPOS2_PARAM_DEFAULT))
    guard result == EPOS2_SUCCESS.rawValue else {
        // エラー処理を記述する
        return
    }
}
```

```
func convertPrinterNameToPrinterSeries(printerName: String) -> CInt {
    var printerSeries: CInt = EPOS2_TM_T88.rawValue

    if printerName == "TM-T88V" || printerName == "TM-T88VI" {
        printerSeries = EPOS2_TM_T88.rawValue
    } else if printerName == "TM-m10" {
        printerSeries = EPOS2_TM_M10.rawValue
    } else if printerName == "TM-m30" {
        printerSeries = EPOS2_TM_M30.rawValue
    } else if printerName == "TM-P20" {
        printerSeries = EPOS2_TM_P20.rawValue
    } else if printerName == "TM-P60II" {
        printerSeries = EPOS2_TM_P60II.rawValue
    } else if printerName == "TM-P80" {
        printerSeries = EPOS2_TM_P80.rawValue
    } else {
        // if you use other printer , add convert printerSeries
    }

    return printerSeries
}

func convertEasySelectInfoToTargetString(info: EposEasySelectInfo?) -> String {
    guard let deviceType = info?.deviceType, let macAddress = info?.macAddress else {
        return ""
    }

    var connectionTypeString = ""

    switch deviceType {
    case EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_TCP.rawValue:
        connectionTypeString = "TCP"
    case EPOS_EASY_SELECT_DEVTYPE_BLUETOOTH.rawValue:
        connectionTypeString = "BT"
    default:
        break
    }

    return "\(connectionTypeString):\\"(macAddress)"
}
```

付録

オープンソースソフトウェアライセンス

Epson ePOS SDK for iOS が提供するサンプルプログラムとライブラリーには、以下のオープンソースソフトウェアを使用しています。

サンプルプログラム

ZXing(<https://github.com/zxing/zxing>)

ZXing is licensed based on Apache 2.0 license (<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0.html>).

ライブラリー

zlib

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.2.8, April 28th, 2013

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://tools.ietf.org/html/rfc1950> (zlib format), rfc1951 (deflate format) and rfc1952 (gzip format).

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts.

OpenSSL License

```
/*
=====
 * Copyright (c) 1998-2016 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 *    notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 *    the documentation and/or other materials provided with the
 *    distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 *    software must display the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 *    endorse or promote products derived from this software without
 *    prior written permission. For written permission, please contact
 *    openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 *    nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 *    permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 *    acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 *    for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
```

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
 * EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
 * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
 * PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
 * ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
 * SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
 * NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
 * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
 * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
 * STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
 * ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
 * OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 *

*
 * This product includes cryptographic software written by Eric Young
 * (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
 * Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 */

Original SSLeay License

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
 * All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written
 * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 *
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
 * the following conditions are aheared to. The following conditions
 * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
 * Ihash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
 * included with this distribution is covered by the same copyright terms
 * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 *
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
 * the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
 * as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or
 * in documentation (online or textual) provided with the package.
 *

```

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
* being used are not cryptographic related :).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/